

2022年7月新聞書評に掲載された本



朽ちゆく庭

伊岡 瞬 著

集英社

会社でトラブルを抱える父、上司と密会を続ける母。不登校の中学生・真佐也は近所の「訳アリ」少女と言葉を交わすようになり…。壊れゆく家庭を描く“危険”なサスペンス長編。『小説すばる』連載を改題、加筆・修正。

産経新聞 2022/07/03

2022:6./ 322p

978-4-08-771794-5

¥1,980〔税込〕



マイ修行映画

みうらじゅん 著

文藝春秋

映画館は僕にとって日常からの逃避であり、己の常識ってやつを疑ってみる修行道場でもある。みうらじゅんがエッセイ×マンガでたどる、7年間の「修行映画」鑑賞記。『映画秘宝』連載を書籍化。

産経新聞 2022/07/03

2022:6./ 317p

978-4-16-391551-7

¥1,650〔税込〕



仰天・俳句断

夢枕 猿 著

文藝春秋

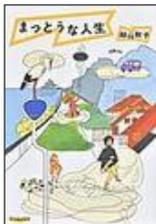
俳句の話から、縄文、仏教、懐かしのプロレス話に、瀬戸内寂聴、野田知佑らとの逸話まで。ガンになったことを契機に縦横無尽に綴ったエッセイ集。『オール讀物』連載を加筆し単行本化。

産経新聞 2022/07/03

2022:6./ 351p

978-4-16-391556-2

¥1,760〔税込〕



まっとうな人生

絲山 秋子 著

河出書房新社

名古屋出身の「なごやん」と繰り広げた九州縦断の脱走劇から十数年後、富山県でなごやんと偶然再会した「花ちゃん」。富山県を舞台に新たな冒険が幕を開ける! 「逃亡くそたわけ」の続編。『文藝』掲載を単行本化。

産経新聞 2022/07/03

2022:5./ 251p

978-4-309-03036-4

¥1,892〔税込〕



- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2022年8月時点での税込み価格です。



アカメとすごしたグレ坊

桂浜水族館 スタッフ・ひな／桂浜水族館 スタッフ・ひな 著
光文社

高知県の景勝地・桂浜にある小さな水族館、桂浜水族館。あるとき、巨大怪魚・アカメの水槽に生き餌として入れられた小さなグレたちは…。親子で“生きることと食べること”を語り合うきっかけとなる、実話をもとにした絵本。

産経新聞 2022/07/03

2022:3./ 1冊(ページ
付なし)
978-4-334-90293-3
¥1,980〔税込〕



寝ても覚めてもアザラシ救助隊

岡崎 雅子 著
実業之日本社

幼いころに出会ったぬいぐるみがきっかけで、あっという間にアザラシ沼へ。日本で唯一のアザラシ保護施設で働く飼育員が、保護活動とアザラシが抱えている問題などを綴る、アザラシ愛溢れる自然科学エッセイ。

産経新聞 2022/07/03

2022:6./ 245p
978-4-408-65013-5
¥1,650〔税込〕



居場所なき革命～フランス 1968年とドゴール主義～

吉田徹 著
みすず書房

世界中の学生と労働者が異を唱え、現代政治の諸問題を提起し、社会と国家が正面から衝突した1968年。各国で起きた運動は何だったのか。その本拠地フランス五月革命の意味を、反革命としてのドゴール政治を通して探り出す。

産経新聞 2022/07/03

2022:4./ 231p,49p
978-4-622-09081-6
¥4,180〔税込〕



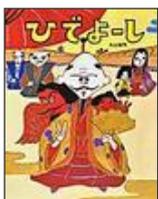
現代文学風土記

酒井信 著
西日本新聞社

気鋭の批評家、酒井信が土地から小説を読み解くブックガイド。47都道府県、純文学からエンタメ小説までを網羅し、読書感想文向けや文学賞受賞作などの分類も表示する。掲載作品年表も収録。

産経新聞 2022/07/03

2022:5./ 415p
978-4-8167-1001-8
¥1,980〔税込〕



ひでよーし

丸山 誠司 著
絵本館

わしは、ひでよーし。見回り、いこみゃー。よーし、しゅっぱーつ! 空飛ぶ白馬で町の見回りに出かけたお殿様ですが、町には問題がいっぱいで...!? 名古屋弁が楽しい、「ノブーナガ」に続く武将絵本第2弾。

産経新聞 2022/07/03

2022:6./ 32p
978-4-87110-477-7
¥1,540〔税込〕





広重ぶるう

梶 よう子 著
新潮社

武家に生まれた歌川広重は浮世絵師を志す。しかし、彼が描く美人画や役者絵は酷評ばかり。鳴かず飛ばずの貧乏暮らしに甘んじていた広重だが、ある日舶来の高価な顔料「ペロ藍」に出会い…。『小説新潮』連載を単行本化。

産経新聞 2022/07/03、朝日新聞 2022/07/23、日本経済新聞 2022/07/23

2022:5./ 359p
978-4-10-336854-0
¥2,310〔税込〕



生きもの毛事典

保谷彰彦 著
文一総合出版

ヒトから単細胞生物まで、さまざまな生きものたちの命を支える「毛」。断熱する、身を守る、感じとる、移動するなど、大切な役割を果たしている「毛」にかくされたヒミツを、イラストとともに紹介する。

産経新聞 2022/07/03、読売新聞 2022/07/10

2022:6./ 143p
978-4-8299-7238-0
¥1,650〔税込〕



沖縄美ら海水族館はなぜ役に立たない研究をするのか?〜サメ博士たちの好奇心まみれな毎日〜

佐藤 圭一／富田 武照／松本 瑠偉 著
産業編集センター

なぜサメ博士たちは沖縄美ら海水族館に集結し、一見すると社会の役に立たないように見える研究に情熱を注いでいるのか。サメ博士たちの毎日を通して、沖縄美ら海水族館の社会的な役割や研究することの意義などを紹介する。

産経新聞 2022/07/03、日本経済新聞 2022/07/23

2022:6./ 239p
978-4-86311-335-0
¥1,980〔税込〕



棘の家

中山 七里 著
KADOKAWA

小6の娘がイジメを苦に飛び降り自殺を図った。加害者への復讐を誓う母親。中学教師の父親を責める息子。崩壊する家庭を守るため、父親は学校と闘うことを決意する…。『小説野性時代』連載を書籍化。

産経新聞 2022/07/09

2022:5./ 301p
978-4-04-112258-7
¥1,815〔税込〕



絵巻で読む方丈記

鴨長明／田中幸江 著
東京美術

鎌倉時代初期に鴨長明が人間にとっての理想の住まいと環境について述べた随筆「方丈記」の本文を、江戸時代に制作された「方丈記絵巻」の絵画部分、現代語訳とともに収録する。「方丈記」および絵巻の解説も掲載。

産経新聞 2022/07/09

2022:6./ 111p
978-4-8087-1250-1
¥2,530〔税込〕





リリアンと燃える双子の終わらない夏

ケヴィン・ウィルソン／芹澤 恵 著
集英社

リリアン 28 歳、人間嫌い。自己肯定感はかなり低め、将来への希望もない。そんな彼女が旧友から世話を頼まれた 10 歳の双子は、興奮すると“発火”する特異体質だった!? ほろ苦い愛情と友情を、涙と笑いでリアルに描く。

産経新聞 2022/07/10

2022:6./ 389p
978-4-08-773520-8

¥2,750〔税込〕



夜に星を放つ

窪 美澄 著
文藝春秋

もう何も失いたくない。でもまた人と関わりたいと思った-。「真夜中のアボカド」「銀紙色のアンタレス」など、心の揺らぎが輝きを放つ全 5 編を収録した短編集。『オール讀物』掲載を書籍化。

産経新聞 2022/07/10

2022:5./ 220p
978-4-16-391541-8

¥1,540〔税込〕



凍る草原に鐘は鳴る

天城 光琴 著
文藝春秋

草原に額縁を立て、その中で演奏たちが物語を繰り広げる遊牧民アゴールの伝統「生き絵」。マールは若くして部族長たちの前で生き絵を披露する役目に大抜擢される。だが、その矢先に“動くもの”が全ての人々に見えなくなり…。

産経新聞 2022/07/10

2022:7./ 333p
978-4-16-391566-1

¥1,650〔税込〕



老いて今日も上機嫌!〜病気知らず 86 歳名医の健康習慣 77〜

石川 恭三 著
河出書房新社

人生 100 年時代を明るく楽しく! 年齢を気にしない、数手先まで読む、怠けてもいい、身近な人の声に耳を傾ける、運動と食事に関心をもち続ける…。医者人生 60 年の名医が、老い方上手の心がけを紹介する。

産経新聞 2022/07/10

2022:5./ 188p
978-4-309-03040-1

¥1,562〔税込〕



92 歳総務課長の教え〜世界一仕事が楽しくなる!〜

玉置 泰子 著
ダイヤモンド社

92 歳で現役、ギネス世界記録に認定された「世界最高齢の総務部員」が、66 年の社歴で身につけた仕事への向き合い方、失敗を恐れずにチャレンジを続けるための心構え、上司と部下がわかまえるべき作法などを伝える。

産経新聞 2022/07/10

2022:5./ 182p
978-4-478-11521-3

¥1,540〔税込〕





吸血鬼ラスヴァン〜英米古典吸血鬼小説傑作集〜

夏来 健次／平戸 懐古 編

G・G・バイロン／J・W・ポリドリ 著

東京創元社

「吸血鬼ドラキュラ」に先駆けて発表された英米の吸血鬼小説に焦点を当てたアンソロジー。「カンパーニヤの怪」「魔王の館」など、本邦初紹介の作品を中心に全 10 編を収録する。

産経新聞 2022/07/10

2022:5./ 443p
978-4-488-01115-4

¥3,300〔税込〕



日本書紀の鳥(学術選書 104)

山岸 哲、宮澤 豊穂 著

京都大学学術出版会

「日本書紀」「万葉集」には数多くの鳥が登場する。その種と頻度に注目すると両者に違いがあるのは何故か？ 文理双方の視点で古代人と鳥との関わり方を考察し、政治史の中に現れる生き物の謎に迫る。

産経新聞 2022/07/10

2022:5./ 8p,285p
978-4-8140-0405-8

¥2,420〔税込〕



老〜い、どん!<2> どっこい生きてる 90 歳

樋口 恵子 著

婦人之友社

米寿を過ぎ、90 代という本格的な高齢期に入りつつ著者が、衰えながらもできることはないか、喜びはないか、考える日々を綴る。人生相談コラム、坂東眞理子との対談も収録。『明日の友』連載に書下ろしを加えて単行本化。

産経新聞 2022/07/10

2022:4./ 159p
978-4-8292-0974-5

¥1,540〔税込〕



ジョンズ・ホプキンス〜世界最強の研究大学〜

黒瀬 悦成 著

新潮社

医療や生化学等の分野における世界最高級の研究機関、ジョンズ・ホプキンス大学。専門家を育てながら専門分野の横断を奨励するホプキンス・モデルの真価を、内部資料とキーパーソンへのインタビューから浮き彫りにする。

産経新聞 2022/07/10、日本経済新聞 2022/07/23

2022:5./ 178p,5p
978-4-10-354631-3

¥1,650〔税込〕



「歴史の終わり」の後で

マチルデ・ファスティング 編

フランシス・フクヤマ 著

中央公論新社

世界に衝撃を与えたベストセラー「歴史の終わり」刊行から 30 年。著者のフランシス・フクヤマがマチルデ・ファスティングのインタビューに応え、「自由」と「民主主義」の危機を前に自ら<歴史の終わり>を再考する。

産経新聞 2022/07/10、毎日新聞 2022/07/16

2022:5./ 341p
978-4-12-005535-5

¥2,530〔税込〕





桂文我上方落語全集<第5巻>

桂 文我 著
パンローリング

桂文我が満を持して世に放つ上方落語の集大成。第5巻は、「お盆」「湯文字誉め」「蜷売り」「道具屋」など15席をテキストに起こし、解説付きで収録する。貴重な演芸資料、師匠との思い出話を綴ったコラムも掲載。

産経新聞 2022/07/16

2022:6./ 285p
978-4-7759-4268-0

¥2,750〔税込〕



87歳、古い団地で愉しむひとりの暮らし

多良美智子 著
すばる舎

料理はとにかく簡単に、好きなお皿に盛って。ウォーキングで摘んだ草花を窓辺に飾る…。孫の撮るYouTube「Earth おばあちゃんねる」で大反響の著者が、生き方の秘訣を公開する。希望に満ちたひとり老後の指南書。

産経新聞 2022/07/16

2022:3./ 217p
978-4-7991-1035-5

¥1,430〔税込〕



喜怒哀楽のお経を読む(朝日選書 1029)

釈徹宗 著
朝日新聞出版

恐れ、怒り、笑い、悲哀、老・病・死…。現代人のかかえる悩みをめぐって、多様な思想をたくわえるお経のエッセンスを紹介。「日本霊異記」「薔薇の名前」などもひもとき、問いかけと答えでやさしく伝える。

産経新聞 2022/07/17

2022:6./ 208p
978-4-02-263120-6

¥1,650〔税込〕



レーターの大河

齊藤 詠一 著
講談社

終戦間際の混乱で親を失った、三人の満州引き揚げ孤児。関東軍の秘密物資を日本に運んだ、二人の陸軍中尉。日銀の現金輸送担当者の死を合図に、二度と交わるはずのない人生が再び交差し…。ノンストップ・サスペンス。

産経新聞 2022/07/17

2022:5./ 325p
978-4-06-527542-9

¥1,980〔税込〕



水の月

中江有里 著
潮出版社

両親の離婚で離ればなれになった姉妹が、30年振りに連絡を取り合う。共有できない母との思い出、途切れた時間は再び繋がるのか。全編メール形式で紡ぐ、家族の物語。『潮』連載を加筆修正。

産経新聞 2022/07/17

2022:5./ 316p
978-4-267-02343-9

¥1,980〔税込〕





神々の歩法(創元日本 SF 叢書 19)

宮澤 伊織 著
東京創元社

一面の砂漠と化した北京に、米軍の最新鋭戦争サイボーグ部隊が降り立った。標的は高次元生命体が憑依した“超人”。なす術もなく倒れてゆく隊員たちの眼前に、突如ひとり少女が現れ…。アクション SF 連作長編。

産経新聞 2022/07/17

2022:6./ 301p
978-4-488-01846-7
¥1,980〔税込〕



稀書探訪

鹿島 茂 著
平凡社

19 世紀ロマン主義時代のイラストレーターによる挿絵本、地誌・風俗画、風刺画の入った新聞、モードのグラフィック資料…。近代ヨーロッパの稀少な書籍や資料の魅力を紹介する。ANA の機内誌『翼の王国』連載を書籍化。

産経新聞 2022/07/17

2022:5./ 331p
978-4-582-83899-2
¥4,400〔税込〕



思い出のとしまえん

練馬区立石神井公園ふるさと文化館 編
小宮 佐知子／内田 弘／小林 克 著

文学通信

94 年の歴史に幕を閉じた遊園地「としまえん」のあゆみを、ポスターや写真など、さまざまな資料からたどる。2021 年 9 月～11 月に練馬区立石神井公園ふるさと文化館で開催された同名展覧会の内容を主体に書籍化。

産経新聞 2022/07/17

2022:5./ 195p
978-4-909658-76-0
¥2,090〔税込〕



小さな家の思想～方丈記を建築で読み解く～(文春新書 1281)

長尾 重武 著
文藝春秋

一辺約 3m のモバイル住宅「方丈庵」を自ら設計した鴨長明。「世の無常」を描いた古典であり、終の棲家・方丈庵を作るまでの物語でもある「方丈記」を読み解き、本当に必要なもので形づくる「小さな家」の可能性を探る。

産経新聞 2022/07/17、日本経済新聞 2022/07/23

2022:6./ 253p
978-4-16-661281-9
¥1,045〔税込〕



CF

吉村 萬壱 著
徳間書店

罪を犯しても責任を取る必要がない“無化”を行う企業・Central Factory(CF)。加害者と被害者の苦しみを取り除き、世を平穏へと導く企業に疑問を持つ男が現れて…。罪とは何か。責任の取り方を問う群像劇。

産経新聞 2022/07/23

2022:6./ 270p
978-4-19-865478-8
¥1,870〔税込〕





メランコリーの文化史～古代ギリシアから現代精神医学へ～(講談社選書メチエ 766)

谷川 多佳子 著
講談社

古代ギリシア以来、メランコリーは芸術・医学・哲学により、狂気・病理・天才など、さまざまな価値と表現を与えられてきた。人類とメランコリーの絡まり合う系譜を辿り、災厄の時代を生き抜く叡智を示す。

産経新聞 2022/07/23、読売新聞 2022/07/31

2022:6./ 213p
978-4-06-528014-0

¥1,760〔税込〕



セカンドチャンス

篠田 節子 著
講談社

長い介護の末、母親を見送った麻里、51歳。婚期も逃し、この先は坂を下っていくだけと思っていた。そんなある日、親友のひと言で一発発起した麻里は、水泳教室に通いはじめ…。『小説現代』掲載を単行本化。

産経新聞 2022/07/24

2022:6./ 252p
978-4-06-527951-9

¥1,815〔税込〕



空をこえて七星のかなた

加納 朋子 著
集英社

「南の島へ行くぞ」というパパの言葉で石垣島へ旅することに。でもあまり気が進まなくて…。「南の十字に会いに行く」をはじめ、星を愛し、星に導かれた人々が紡ぐ7つのミステリー。『小説すばる』掲載に加筆修正し単行本化。

産経新聞 2022/07/24

2022:5./ 281p
978-4-08-771797-6

¥1,760〔税込〕



ハル、色～竹本義太夫伝～

岡本 貴也 著
幻冬舎

届け、この声。あのひとの、胸の奥深くまで。江戸中期、百姓だった若者が、恋する女性のために人生すべてを芸事に捧げ、「新浄瑠璃」なる芸術を作り上げた。竹本義太夫の七転八倒の人生を描く。

産経新聞 2022/07/24

2022:7./ 298p
978-4-344-03956-8

¥1,760〔税込〕



人生が変わる紙片づけ!～お金が貯まる!時間も増える!～

石阪 京子 著
ダイヤモンド社

家にいるのにくつろげない、モヤモヤ・イライラの原因は紙だった!紙を片づけるとお金が貯まる!人生が変わる!金融機関の書類、クーポン、郵便物、レシート、健診結果、写真など、家の中の紙の片づけ方を伝授する。

産経新聞 2022/07/24

2022:4./ 258p
978-4-478-11554-1

¥1,430〔税込〕





祖父が見た日中戦争～東大卒の文学青年は兵士になった～

早坂 隆 著
育鵬社

戦前に東京帝国大学を出た文学青年の祖父が、応召して派兵された中国戦線で見たものは。戦時下において隠された祖父の秘密、嘘と真実、血と絶叫、そして迎えた戦後社会への思いとは。祖父の体験を聞き書きした戦争論。

産経新聞 2022/07/24

2022:7./ 263p
978-4-594-09110-1
¥1,980〔税込〕



がんばりすぎない家事の時短図鑑～暮らしのムダをなくす～

田中 ナオミ 著
エクスナレッジ

料理、洗たく、そうじ、収納など、すべての家事は「正しい時短動線」が分かれば効率化できる。貯まった時間で、諦めてきたことができるようになる。建築士が設計的視点で、家事と住まいの時短術を紹介する。

産経新聞 2022/07/24

2022:2./ 159p
978-4-7678-2984-5
¥1,760〔税込〕



ダマして生きのびる虫の擬態

海野 和男 著
草思社

葉っぱや枝のふりをするコノハムシ、カレハカマキリ、背景に溶け込むキノカワガ、ベニシタバ、メダマ模様で驚かせて逃げるクスサン…。擬態する虫を豊富なカラー写真とともに紹介する。動画が視聴できる QR コード付き。

産経新聞 2022/07/24

2022:6./ 119p
978-4-7942-2580-1
¥2,640〔税込〕



人生で一番素敵な片づけ～50代から味わえる!最高のご褒美～

小野 めぐみ 著
三笠書房

「残す物の基準」「執着心を捨てる考え方」「大切な思い出を一生残しておける方法」を確立した、50代からの新しい片づけ法を具体的に伝授する。物の種類別「仕分けのヒント」も収録。

産経新聞 2022/07/24

2022:4./ 204p
978-4-8379-2898-0
¥1,430〔税込〕



金魚酒

深堀隆介 著
芸術新聞社

枡の中に液体状の透明樹脂を流し込み、固まった表面に金魚をパーツごとに描いていく。何回も繰り返す独特な積層絵画により、生きている金魚がいるような「金魚酒」20年分の作品を、写真で振り返る。

産経新聞 2022/07/24

2022:7./ 239p
978-4-87586-646-6
¥2,750〔税込〕





ウクライナ侵攻に至るまで～誰も知らないウクライナの素顔～

小野 元裕 著

ドニエプル出版

天理大学外国語学部ロシア学科卒業後、ウクライナへ渡航し、日本ウクライナ文化交流協会を設立した著者が、2014年マイダン革命から2022年ウクライナ侵攻までをリアルタイムに綴った小説。『東大阪新聞』連載を書籍化。

産経新聞 2022/07/24

2022:4./ 283p
978-4-88269-921-7

¥3,300〔税込〕



鈴木敏文のCX入門～モノを売るな、体験価値を売れ!～

鈴木敏文／勝見明 著

プレジデント社

モノではなくコト(体験価値)を売る時代。CX経営にはどんな発想法が必要なのか。顧客の求める体験価値をどのように生み出すのか。50年前からデータと顧客心理の知られざる関係を見抜いていた著者が、問答形式で解説する。

産経新聞 2022/07/30

2022:6./ 287p
978-4-8334-2449-3

¥1,870〔税込〕



ナゾトキ・ジパング

青柳 碧人 著

小学館

「ミヨーデス。武士がイノチを絶つときは、腹を切るときいてイマス」東京で富士登山、茶室で入浴、スコップですき焼き!? 留学生ケビンが日本文化への愛と知識で事件に挑む! 『STORY BOX』連載に加筆し書籍化。

産経新聞 2022/07/31

2022:6./ 301p
978-4-09-386646-0

¥1,650〔税込〕



明日へのペダル

熊谷 達也 著

NHK出版

50代半ばの男性が健康を理由にロードバイクを始めた。折しもコロナ禍、会社の業績不振という息苦しい状況が訪れる中、会社では部下、自転車では師匠となる女性と共に新しい扉を開いていき…。『河北新報』等連載に加筆修正。

産経新聞 2022/07/31

2022:6./ 315p
978-4-14-005726-1

¥1,870〔税込〕



言葉の還る場所で～谷川俊太郎x俵万智対談集～

谷川俊太郎／俵万智 著

春陽堂書店

言葉の達人、詩人・谷川俊太郎と歌人・俵万智が、詩と短歌の表現上の相違点、言葉と社会のつながり、音楽の必要性などについて語り合う。『Web新小説』連載のオンライン対談を書籍化。

産経新聞 2022/07/31

2022:6./ 115p
978-4-394-90417-5

¥1,760〔税込〕





東京の古墳を探る(歴史文化ライブラリー 551)

松崎 元樹 著
吉川弘文館

都心から多摩地域を含む古代武蔵野には、多様な古墳墓が存在した。石室墳や横穴墓の構造・副葬品・埋葬の実態から、造墓集団の性格や地域社会の変容・文化の交流に迫る。

産経新聞 2022/07/31

2022:7./ 6p,257p
978-4-642-05951-0

¥1,980〔税込〕



科学は「ツキ」を証明できるか〜「ホットハンド」をめぐる大論争〜

ベン・コーエン 著
白揚社

「ツキが続く」絶好調な状態は実在するのか、ただのバイアスなのか。心理学・統計学・経済学の見地から、それまでの常識を覆す「ツキ」の正体を、豊富なエピソードとともに解き明かす。

産経新聞 2022/07/31

2022:6./ 325p,9p
978-4-8269-0238-0

¥2,970〔税込〕



まっくら〜女坑夫からの聞き書き〜(岩波文庫 31-226-1)

森崎 和江 著
岩波書店

筑豊の炭鉱で働いた女性たちの声を聞き取り、その生き様を記録。自らへの誇りを失わず、真っ暗な地の底で過酷な採炭労働に従事した彼女たちの逞しさを生き生きと描く。

朝日新聞 2022/07/02

2021:10./ 329p
978-4-00-312261-7

¥814〔税込〕



花と龍<上>(岩波現代文庫)

火野 葦平 著
岩波書店
朝日新聞 2022/07/02

2006:2./ 447p
978-4-00-602100-9

¥1,540〔税込〕



花と龍<下>(岩波現代文庫)

火野 葦平 著
岩波書店
朝日新聞 2022/07/02

2006:3./ 377p
978-4-00-602101-6

¥1,386〔税込〕



お柳、一途〜アラミスと呼ばれた女〜(朝日文庫 朝日時代小説文庫 う 17-7)

宇江佐真理 著
朝日新聞出版

肥前長崎。出島は女人禁制。しかし、お柳(アラミス)はフランス語通詞への憧憬をひそかに抱いていく…。榎本武揚と共に幕末を生き抜いた男装の通詞の数奇な運命を描く。

朝日新聞 2022/07/02

2022:6./ 346p
978-4-02-265044-3

¥814〔税込〕





博多さっばそうらん記

三崎 亜記 著

KADOKAWA

博多の裏の世界、「羽片世界」に迷い込んだ、かなめと博。そこには福岡市の転覆を狙う者たちがいて...!? RKB 創立 70 周年記念連続ラジオ朗読劇として放送され、『シティ情報ふくおかナビ』で連載された作品を加筆修正。

朝日新聞 2022/07/02

2021:11./ 253p
978-4-04-110986-1
¥1,760〔税込〕



女の子がいる場所は(BEAM COMIX)

やまじえびね 著

KADOKAWA

「ここに描かれている遠い国の少女と 私たちは一緒だ。 そう、私たちは差別される側。 認めるのはつらいけど、事実を知れば知るほど『ぶち破ってやるぞ!』と力が湧いてくる」 山内マリコ(作家) 「こんな世界が情けなくてやるせないけど 知らないままの方がよっぽど恥ずかしいから ページをめくる手を止めない 冷笑的な態度に負けたりするもんか 生まれついた性別で 育った場所で 奪われる夢があるなんて 絶対に間違ってる」 宇垣美里(フリーアナウンサー) 「わたしたちは結婚しないと生きていけないの?」 一夫多妻が認められているサウジアラビアに暮らす 10 歳の少女サルマ。 同級生の姉は、顔も見たことのない 8 年上の人と結婚する。 外ではヴェールが必要で、大好きだったサッカーはもうできない。 モロッコ、インド、アフガニスタン、そして日本.....国も宗教も文化も違う 10 歳の少女たちの物語。 ◎同時発売『かわいそうなミーナ』 幽霊となって彷徨う少女に、どうか一縷の涙を。 ダークでファニー、ドキドキ哀しいお伽噺。 若き日の初恋と切なき運命を追想する青春文学『みずうみ』(原作:テオドール・シュトルム)も収録。 ◎やまじえびね ビームコミックス好評既刊 『レッド・シンプル』全 3 巻『ナイト・ワーカー』『アム・ノット・ヒア やまじえびね作品集』『女神たちと』(共著:河井克夫他) ◎コミックビーム 公式ツイッター @COMIC_BEAM

朝日新聞 2022/07/02

2022:6./ 199p
978-4-04-737096-8
¥814〔税込〕



青春の門<筑豊篇> 改訂新版(講談社文庫)

五木 寛之 著

講談社

青春のあり方を雄大な構想で描く大河小説。荒々しい気風の中にも、人間味が息づく筑豊に生を享けた伊吹信介。躍動する民衆の侠気の中に目覚めゆく少年の愛と性、そして人生への希望を描く大河小説第一巻。

朝日新聞 2022/07/02

1989:12./ 559p
978-4-06-184595-4
¥1,056〔税込〕



現代思想入門(講談社現代新書 2653)

千葉 雅也 著

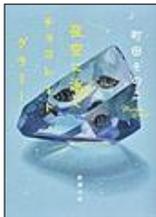
講談社

デリダは「概念の脱構築」、ドゥルーズは「存在の脱構築」、フーコーは「社会の脱構築」。人生を変える現代思想の真髄を、かつてない仕方でも書き尽くした、俊英による現代思想の入門書。

朝日新聞 2022/07/02

2022:3./ 245p
978-4-06-527485-9
¥990〔税込〕





夜空に泳ぐチョコレートグラミー(新潮文庫 ま-60-21)

町田 そのこ 著

新潮社

抜けてしまった歯が思い起こさせるのは、一生に一度の恋。もう共には生きられない、あの人のこと。どんな場所でも生きると決めた人々の強さをしなやかに描き出す5編の連作短編集。

朝日新聞 2022/07/02

2021.4./ 328p
978-4-10-102741-8

¥693〔税込〕



東京タワー〜オカンとボクと、時々、オトン〜(新潮文庫)

リリー・フランキー 著

新潮社

オカン。ボクの一番大切な人。ボクのために自分の人生を生きただけの人。四歳のときにオトンと別居、筑豊の小さな炭鉱町で、ボクとオカンは一緒に暮らした。やがてボクは上京し、東京でボロボロの日々。還暦を過ぎたオカンは、ひとりガンと闘っていた。「東京でまた一緒に住もうか?」。ボクが一番恐れていたことが、ぐるぐる近づいて来る。大切な人との記憶、喪失の悲しみを綴った傑作。

朝日新聞 2022/07/02

2010.6./ 522p
978-4-10-127571-0

¥880〔税込〕



コンビニ兄弟〜テンダネス門司港こがね村店〜(新潮文庫 nex ま-60-1)

町田 そのこ 著

新潮社

九州だけに展開するコンビニチェーン「テンダネス」の名物店「門司港こがね村店」。魔性のフェロモン店長・志波三彦の元には超個性的な常連客(兄含む)たちと、悩みを抱えた人がやってきて…。心温まるお仕事小説。

朝日新聞 2022/07/02

2020.8./ 348p
978-4-10-180196-4

¥737〔税込〕



怪虫ざんまい〜昆虫学者は今日も挙動不審〜

小松 貴 著

新潮社

凄絶ホラーな寄生虫、マニア垂涎のカミキリ、碧く輝く希少ゴミムシ、井戸底の絶滅危惧種…。日々虫たちを追いかけて東奔西走している昆虫学者が、近所に棲む超極小、超マニアックな虫の魅力を紹介する。『波』連載を書籍化。

朝日新聞 2022/07/02

2022.4./ 254p
978-4-10-351792-4

¥1,650〔税込〕



大英帝国の歴史<上> 膨張への軌跡

ニール・ファーガソン、山本 文史 著

中央公論新社

およそ400年におよぶ「最初のグローバル帝国」イギリス帝国の歴史を肯定的に捉え、一次史料を基に多角的観点から分析。上は、通商・略奪・入植・布教により世界帝国へと変貌するまでを描く。

朝日新聞 2022/07/02

2018.6./ 357p
978-4-12-005087-9

¥3,190〔税込〕





大英帝国の歴史<下> 絶頂から凋落へ

ニール・ファーガソン、山本 文史 著
中央公論新社

およそ 400 年におよぶ「最初のグローバル帝国」イギリス帝国の歴史を肯定的に捉え、一次史料を基に多角的観点から分析。下は、植民地統治の破綻、自由主義の高揚、2 度の世界大戦を経て帝国が終焉を迎えるまでを描く。

朝日新聞 2022/07/02

2018:6./ 285p 図版

16p
978-4-12-005088-6
¥3,190〔税込〕



52 ヘルツのクジラたち

町田 そのこ 著
中央公論新社

自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれた少年。孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会う時、新たな魂の物語が生まれる。

朝日新聞 2022/07/02

2020:4./ 260p
978-4-12-005298-9

¥1,760〔税込〕



星を掬う

町田 そのこ 著
中央公論新社

千鶴が夫から逃げるために向かった「さざめきハイツ」には、自分を捨てた母・聖子がいた。他の同居人は、娘に捨てられた彩子と、聖子を「母」と呼び慕う恵真。4 人の共同生活は、思わぬ気づきと変化を迎え…。

朝日新聞 2022/07/02

2021:10./ 327p
978-4-12-005473-0

¥1,760〔税込〕



地下鉄のザジ 新版(中公文庫 ク 1-2)

レーモン・クノー 著
中央公論新社

地下鉄に乗ることを楽しみにパリを訪れたお転婆少女ザジ。ストで念願かなわず、街へ出たザジは、奇妙な大人たちと 2 日間を過ごし…。フランス前衛文学の名作。植草甚一による映画評、千野帽子による解説を付した新版。

朝日新聞 2022/07/02

2021:9./ 283p
978-4-12-207120-9

¥990〔税込〕



世論政治としての江戸時代

平川 新 著
東京大学出版会

政治はいかに民意を反映するのか。江戸時代の世論を読み取ることにより、戦後歴史学が描きだしてきた近世日本のイメージを再検証。新しい江戸時代像を描き、戦後歴史学のパラダイムの変遷を整理し、歴史学の現在を模索する。

朝日新聞 2022/07/02

2022:5./ 5p,331p,6p
978-4-13-020160-5

¥7,150〔税込〕





三体

劉 慈欣、大森 望、光吉 さくら、ワン チャイ、立原 透耶 著

早川書房

物理学者の父を文化大革命で亡くし、人類に絶望した中国人エリート科学者・葉文潔。ある日、彼女は謎めいた軍事基地にスカウトされる。そこでは、人類の運命を左右するかもしれないプロジェクトが極秘裏に進行して...

朝日新聞 2022/07/02

2019:7./ 447p
978-4-15-209870-2

¥2,090 [税込]



孤剣の涯て

木下 昌輝 著

文藝春秋

大御所・徳川家康に「2年後に死ぬ」呪いがかけられた。その呪いを解くには、妖刀村正で呪詛者の首を刎ねなければならない。世を捨てると決めていた武蔵の元にその依頼が...。『別冊文藝春秋』連載を加筆し書籍化。

朝日新聞 2022/07/02

2022:5./ 326p
978-4-16-391536-4

¥1,980 [税込]



宇喜多の捨て嫁(文春文庫 き 44-1)

木下 昌輝 著

文藝春秋

娘の嫁ぎ先を攻め滅ぼすことも厭わず、権謀術数を駆使して戦国時代を駆け抜けた戦国大名・宇喜多直家。裏切りと策謀にまみれた男の真実の姿とは一体...。ピカレスク歴史小説。高校生直木賞ルボも収録。

朝日新聞 2022/07/02

2017:4./ 399p
978-4-16-790826-3

¥847 [税込]



仕立屋お竜(文春文庫 お 81-1)

岡本 さとる 著

文藝春秋

八百蔵長屋で仕立屋を営むお竜。それは表の顔。ろくでなしの父親の元で育ち極道な夫に翻弄された女が、武芸の師匠と出会ったことで、裏の仕事を請け負う「仕立屋お竜」となったのだ。情けを縫って、悪を裁く痛快時代小説。

朝日新聞 2022/07/02

2022:6./ 282p
978-4-16-791889-7

¥759 [税込]



文体練習

レーモン・クノー、朝比奈 弘治 著

朝日出版社

他愛もないひとつの出来事が、99通りものヴァリエーションによって変幻自在に書き分けられてゆく。20世紀フランス文学の急進的な革命を率いたクノーによる究極の言語遊戯が遂に完全翻訳された。前人未到のことば遊び。

朝日新聞 2022/07/02

1996:10./ 195p
978-4-255-96029-6

¥3,737 [税込]





災祥(潮文庫 こ-1)

小島 環 著
潮出版社

泰昌元年(1620年)、皇帝の息子・朱由検は何者かに井戸へ突き落され生死を彷徨う。暗がりて目を覚ました時、この世のものではない女性と出会う。朱由検は敵か味方かわからない謎の美女・懐允に次第に惹かれてゆき-

朝日新聞 2022/07/02

2022:6./ 221p
978-4-267-02345-3

¥880〔税込〕



花祭り(幻冬舎文庫 は-22-1)

花房 観音 著
幻冬舎

和菓子は、男を悦ばす女の身体に似ている。こんな官能的な食べ物はない-。京都に息づく秘めやかな悦楽。京和菓子をモチーフに男と女、女と女が綾なす、至福の官能小説。

朝日新聞 2022/07/02

2013:2./ 293p
978-4-344-41980-3

¥628〔税込〕



愛国の起源～パトリオティズムはなぜ保守思想となったのか～(ちくま新書 1658)

将基面 貴巳 著
筑摩書房

「愛国」思想は、いかにして現在の形となったのか。西洋思想史における紆余曲折の議論を振り返り、尊王思想と結びついた明治日本の愛国受容を分析し、グローバルな視点からパトリオティズムの新しい可能性を模索する。

朝日新聞 2022/07/02

2022:6./ 223p,9p
978-4-480-07484-3

¥946〔税込〕



教室マルトリートメント

川上康則 著
東洋館出版社

事情を踏まえない頭ごなしの叱責、忘れ物をした子どもを一定時間許さないなど、違法ではないが適切ではない指導が学校を支配するのはなぜか。その要因を教育界の構造的な問題から検討し、改善プランを提示する。

朝日新聞 2022/07/02

2022:4./ 303p
978-4-491-04262-6

¥2,200〔税込〕



東京貧困女子。～彼女たちはなぜ躓いたのか～

中村 淳彦 著
東洋経済新報社

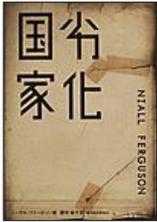
女子大生、派遣社員、シングルマザー...貧困に喘ぐ東京暮らしの女性たちの心の叫びを、「個人の物語」として紹介。問題解決の糸口を探る。『東洋経済オンライン』連載をもとに単行本化。

朝日新聞 2022/07/02

2019:4./ 350p
978-4-492-26113-2

¥1,650〔税込〕





劣化国家

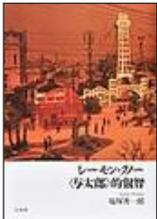
ニール・ファーガソン、櫻井 祐子 著
東洋経済新報社

アメリカ、イギリス、日本。先進国が心停止する日が来る-。「いま最もすぐれた知性」と目されるハーバード大歴史学教授が示す先進国の未来像。BBCが当代最高の識者を選び講義をオンエアする「リースレクチャー」を書籍化。

朝日新聞 2022/07/02

2013:8./ 186p,15p
978-4-492-31439-5

¥1,760〔税込〕



レーモン・クノー<与太郎>的叡智

塩塚 秀一郎 著
白水社

遊園地や映画、占いと戯れながら“世の中ついでに生きている”ような、のんきな男たち。クノーの「知恵の小説」三部作に描かれる<与太郎>たちを通し、彼らのズレた行動や含蓄の豊かさを味わいながら「知」や「真実」を問う。

朝日新聞 2022/07/02

2022:5./ 230p
978-4-560-09898-1

¥3,080〔税込〕



八幡炎炎記

村田 喜代子 著
平凡社

炎々と天を焦がす製鉄の町・北九州八幡で繰り上げられる少女の物語。敗戦の年に生を受けたヒナ子は、複雑な家庭事情のなかで、祖父母のもと、焼け跡に遅しく、土筆のように育ってゆく…。『こころ』連載を単行本化。

朝日新聞 2022/07/02

2015:2./ 263p
978-4-582-83683-7

¥1,760〔税込〕



応仁悪童伝

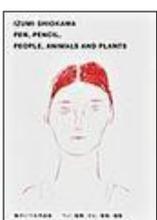
木下昌輝 著
角川春樹事務所

妖しいほどの美貌をもつ稚児と、両刃の剣を操る能役者。山名宗全、細川勝元らが激突する応仁の京で、ふたりは業と知恵と美貌を武器に、命を賭して戦い…。書下ろし長編歴史エンターテインメント。

朝日新聞 2022/07/02

2021:1./ 415p
978-4-7584-1369-5

¥1,980〔税込〕



塩川いづみ作品集〜ペン、鉛筆、ひと、動物、植物〜

塩川 いづみ 著
玄光社

イラストレーター、塩川いづみの作品集。在学中から近年までに手がけたイラストレーションの仕事やそのラフスケッチ、個展で発表した作品など約 200 点と、描き下ろしの作品 8 点を収録。本体は背表紙なし糸綴じ。

朝日新聞 2022/07/02

2022:5./ 207p
978-4-7683-1568-2

¥3,300〔税込〕





ルポ池袋アンダーワールド

中村淳彦／花房観音 著
大洋図書

SDGs と再開発の裏で起きる怪異と殺人事件。路上の闇に立つ娼婦と異常性愛者たち。ここは暗黒街か、それとも黄泉の国か。気鋭の作家ふたりが紡ぐ、東京・池袋の妖しくも猥褻な実話集。

朝日新聞 2022/07/02

2022:5./ 255p
978-4-8130-2287-9
¥1,650〔税込〕



子どもの心の受け止め方～発達につまずきのある子を伸ばすヒント～

川上康則 著
光村図書出版

発達につまずきがある子どもへの関わり方や伸ばし方、子どもたちの心に届くほめ方・叱り方・認め方を紹介する。教師のあり方についてのテーマも収録。『みつむらweb magazine』連載を再構成。

朝日新聞 2022/07/02

2020:3./ 143p
978-4-8138-0267-9
¥1,430〔税込〕



キッシンジャー～1923-1968|理想主義者～<1>

ニール・ファーガソン、村井 章子 著
日経BP社

不世出の学者・政治家キッシンジャーの思想と行動の原点となる前半生を、私信・メモを含む膨大な資料から浮き彫りにする。1は、米国に移住して第二次世界大戦末期に従軍、復員後ハーバード大学で学び頭角を現すまでを収録。

朝日新聞 2022/07/02

2019:2./ 582p
978-4-8222-5594-7
¥4,620〔税込〕



キッシンジャー～1923-1968|理想主義者～<2>

ニール・ファーガソン、村井 章子 著
日経BP社

不世出の学者・政治家キッシンジャーの思想と行動の原点となる前半生を、私信・メモを含む膨大な資料から浮き彫りにする。2は、ベトナム戦争の秘密和平交渉に関与、国家安全保障問題担当大統領補佐官に指名されるまでを収録。

朝日新聞 2022/07/02

2019:2./ 710p
978-4-8222-5595-4
¥4,950〔税込〕



煙滅(フィクションの楽しみ)

ジョルジュ・ペレック 著
水声社

「い段(いきしちにひみりる)」がない!?失踪した男と失踪した文字をめぐる、前代未聞のミステリー。E抜きで執筆され、翻訳不可能と言われた、ペレックの代表作。

朝日新聞 2022/07/02

2010:1./ 372p
978-4-89176-750-1
¥3,520〔税込〕





レーモン・クノー・コレクション<5> わが友ピエロ

レーモン・クノー 著

水声社

レーモン・クノーの幅広い知識と技巧をこらした多様な作品群を、全て新訳および改訳で紹介。5は、遊園地ユニ・パークで巻き起こる謎の事件を描いた、「わが友ピエロ」を収録。

朝日新聞 2022/07/02

2012:8./ 267p
978-4-89176-865-2

¥2,750〔税込〕



レーモン・クノー・コレクション<6> ルイユから遠くはなれて

レーモン・クノー 著

水声社

レーモン・クノーの幅広い知識と技巧をこらした多様な作品群を、全て新訳および改訳で紹介。6は、ありえたかもしれない他の人生を夢見、白昼夢にふけるジャック・ロモーヌの奇想天外な冒険「ルイユから遠くはなれて」を収録。

朝日新聞 2022/07/02

2012:1./ 225p
978-4-89176-866-9

¥2,420〔税込〕



レーモン・クノー・コレクション<9> 人生の日曜日

レーモン・クノー、芳川 泰久 著

水声社

レーモン・クノーの幅広い知識と技巧をこらした多様な作品群を、全て新訳および改訳で紹介。9は、俗世ばなれた、とぼけた主人公が味わい深い、クノーらしさ溢れるドタバタ喜劇「人生の日曜日」を収録。

朝日新聞 2022/07/02

2012:3./ 281p
978-4-89176-869-0

¥2,750〔税込〕



新疆ウイグル自治区～中国共産党支配の70年～(中公新書 2700)

熊倉 潤 著

中央公論新社

習近平政権のもと、深刻な人権侵害が指摘されている新疆ウイグル自治区。自治区の成立当初は「解放」を謳った中国共産党は、なぜ過酷な統治姿勢に転じたのか。新疆地域の歴史を丁寧にたどり、その現在と未来を考察。

朝日新聞 2022/07/02、産経新聞 2022/07/17

2022:6./ 6p,252p
978-4-12-102700-9

¥946〔税込〕



宙ごはん

町田 そのこ 著

小学館

育ての母と産みの母。ふたりの母親に育てられた宙は、産みの母親と暮らすことになるが…。ごはんを作って食べることを通して成長していく姿を描く。『WEB きらら』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

朝日新聞 2022/07/02、産経新聞 2022/07/31

2022:6./ 365p
978-4-09-386645-3

¥1,760〔税込〕





ルネサンス情報革命の時代(ちくま新書 1655)

桑木野 幸司 著

筑摩書房

新大陸やアジア諸国からの珍花奇葉・工芸品、宗教改革、宇宙や身体内部の発見…。情報の大洪水に見舞われた西欧のルネサンスを、メディア革命が徐々に進展していく時代ととらえ、斬新なルネサンス像を追求する。

朝日新聞 2022/07/02、日本経済新聞 2022/07/16

2022:5./ 349p
978-4-480-07474-4

¥1,100〔税込〕



ルネサンス庭園の精神史～権力と知と美のメディア空間～

桑木野 幸司 著

白水社

ポッティチェリ<春>に描かれたのは、実在の庭だったのか。初期近代イタリアを彩る数々の名苑奇園の内に、当時の自然観や美学、哲学、科学、工学が混淆する創造的瞬間を見る、新しい文化史。図版も多数収録。

朝日新聞 2022/07/02、日本経済新聞 2022/07/16

2019:7./ 352p,35p
978-4-560-09711-3

¥5,280〔税込〕



パール・ハイビスカス

チママンダ・ンゴズィ・アディーチェ 著

河出書房新社

厳格な父に育てられた少女カンビリ。軍事クーデタに備えて預けられたおばの家で、自由な価値観を知り…。苛烈な現実の中で自己を肯定していく少女の鮮烈な物語。世界文学の新たな旗手によるデビュー長編を邦訳。

朝日新聞 2022/07/02、日本経済新聞 2022/07/23

2022:5./ 315p
978-4-309-20851-0

¥3,410〔税込〕



アメリカーナ<上>(河出文庫 ア10-2)

チママンダ・ンゴズィ・アディーチェ 著

河出書房新社

高校時代に永遠の愛を約束したイフェメルとオビンゼ。アメリカに渡ったイフェメルを待っていたのは、階級、イデオロギー、人種で色分けされた、想像すらしたことがない世界で…。三つの大陸を舞台に描く長篇。

朝日新聞 2022/07/02、日本経済新聞 2022/07/23

2019:12./ 404p
978-4-309-46703-0

¥1,540〔税込〕



アメリカーナ<下>(河出文庫 ア10-3)

チママンダ・ンゴズィ・アディーチェ 著

河出書房新社

人種問題を扱う先鋭的なブログの書き手として注目を集めるイフェメル。一方、オビンゼは不動産取引で巨万の富を得て、美しい妻や娘と優雅に暮らしている。別々の道を歩んだかつての恋人たちに、再会の時が訪れ…。

朝日新聞 2022/07/02、日本経済新聞 2022/07/23

2019:12./ 424p
978-4-309-46704-7

¥1,650〔税込〕





憎悪の世紀～なぜ20世紀は世界的殺戮の場となったのか～<上巻>

ニール・ファーガソン、仙名 紀 著

早川書房

2度の世界大戦、凄絶な内戦、民族殲滅、大粛清-前世紀は空前の殺し合いの100年だった。進歩の時代に人類を凶行に駆りたてた3つの要素とは？ 世界が注目する歴史学者が独自の「帝国」論で検証する。

朝日新聞 2022/07/02、日本経済新聞 2022/07/30

2007.12./ 476p
978-4-15-208883-3

¥3,080 [税込]



大惨事の人類史

ニール・ファーガソン 著

東洋経済新報社

戦争・ウイルス・自然災害・経済危機…。この世界の次なる「破滅」とは？「いま、もっともすぐれた知性」と目される歴史学者が、ネットワーク化し、複雑化した世界の危機と回復力を読み解く。

朝日新聞 2022/07/02、日本経済新聞 2022/07/30

2022.5./
9p,521p,109p
978-4-492-37131-2

¥3,520 [税込]



ソロ沼のものがたり

館野 鴻 著

岩波書店

かつて沼には大きなかえるがたくさん住んでいた。だが、かえるたちは虫も小魚も食べ尽くし…。あげは、やんま、おさむし。絵本作家・館野鴻が小さきものたちの生きざまを紡ぐ、驚きとはげましに満ちたりアルファンタジー。

朝日新聞 2022/07/09

2022.5./ 178p
978-4-00-116037-6

¥2,200 [税込]



ウィタ・セクスアリス 改版(岩波文庫 31-005-3)

森 鷗外 著

岩波書店

浅草の楊弓場、吉原の廓、男子寮…。ひとりの哲学者が6歳からの性にまつわる様々な記憶を、淡々としたユーモアをもって語る自伝体小説。詳細な注・解題を新たに付す。

朝日新聞 2022/07/09

2022.3./ 173p
978-4-00-360040-5

¥528 [税込]



悪役レスラーは笑う～「卑劣なジャップ」グレート東郷～ 増補版(岩波現代文庫 社会 331)

森 達也 著

岩波書店

第二次大戦後のアメリカ・プロレス界で「卑劣な日本人」を演じて観客の憎悪を煽り、巨万の富を築いた伝説の悪役レスラー・グレート東郷。謎に満ちた男の正体に迫る。新たな取材・資料による書き下ろしを追加した増補版。

朝日新聞 2022/07/09

2022.5./ 3p,341p,3p
978-4-00-603331-6

¥1,364 [税込]





隠居すごろく(角川文庫 時-さ 76-2)

西條 奈加 著

KADOKAWA

巢鴨の糸問屋の店主・徳兵衛は、還暦を機に隠居生活に入った。人生を双六にたとえれば隠居は「上がり」のようなもの。だが、孫の千代太が隠居家を訪れたことで、予想外に忙しい日々が始まった!

朝日新聞 2022/07/09

2022:2./ 461p

978-4-04-111900-6

¥836〔税込〕



朝鮮大学校物語(角川文庫 や 71-1)

ヤン ヨンヒ 著

KADOKAWA

全寮制、日本語禁止、無断外出厳禁。大阪下町育ちのミヨンが飛びこんだ「大学」は、高い塀の中だった。東京に実在するもうひとつの<北朝鮮>を舞台に、恋と出会い、挫折、卒業を描いた、本当の自由をめぐる物語。

朝日新聞 2022/07/09

2022:6./ 254p

978-4-04-112677-6

¥880〔税込〕



銀河鉄道の父(講談社文庫 か 126-2)

門井 慶喜 著

講談社

岩手県をイーハトヴにし、銀河に鉄道を走らせた宮沢賢治。生涯夢を追い続けた賢治と、父でありすぎた父・政次郎との対立と慈愛の月日を、父の視点から描く。

朝日新聞 2022/07/09

2020:4./ 520p

978-4-06-518381-6

¥1,012〔税込〕



阿部一族・舞姫 改版(新潮文庫)

森 鷗外 著

新潮社

許されぬ殉死に端を発する阿部一族の悲劇を通して、高揚した人間精神の軌跡をたどり、権威と秩序への反抗と自己救済を主題とする歴史小説の逸品『阿部一族』。ドイツ留学中に知り合った女性への恋情をふりきって官途を選んだ主人公を描いた自伝的色彩の強いロマン『舞姫』ほか『うたかたの記』『鶏』『かのように』『堺事件』『余興』『じいさんばあさん』『寒山拾得』を収録。

朝日新聞 2022/07/09

2006:4./ 377p

978-4-10-102004-4

¥572〔税込〕



インディオの聖像

立花 隆 著

文藝春秋

立花隆が見た南米「神の王国」とは。1986~87年に南米現地取材をした著者がキリスト教徒と異文化の衝突の歴史を読み解いた、自身のキリスト教観を示す幻の原稿を収録。彫像・板絵のカラー写真70点も掲載する。

朝日新聞 2022/07/09

2022:5./ 166p 図版

32p

978-4-16-391547-0

¥2,970〔税込〕





アマゾンの倉庫で絶望し、ウーバーの車で発狂した～潜入・最低賃金労働の現場～(光文社未来ライブラリー Mフ1-1)

ジェームズ・ブラッドワース 著
光文社

何気ないワンクリックに翻弄される労働者たちの現場から見えてきたのは、資本主義、管理社会の極地だった-。アマゾンの倉庫からウーバーのタクシーまで、英国で“最底辺”の労働に就いたジャーナリストがその体験を報告する。

朝日新聞 2022/07/09

2022:6./ 386p
978-4-334-77056-3

¥1,210〔税込〕



チベット幻想奇譚

星泉／三浦順子／海老原志穂 編
春陽堂書店

時代も、現実と異界も、生と死も越える-。チベットの現代作家たちが、読む者を摩訶不思議な世界に誘う 13 の短編。伝統的な口承文学や、仏教、民間信仰を背景としつつ、チベットの人々の生活や世界観を描き出す。

朝日新聞 2022/07/09

2022:4./ 270p
978-4-394-19027-1

¥2,640〔税込〕



カレーの時間

寺地 はるな 著
実業之日本社

ゴミ屋敷のような家で祖父・義景と暮らすことになった孫息子・桐矢。カレーを囲む時間だけは打ち解ける祖父が、半世紀の間、抱えてきた秘密とは-。終戦後と現在、ふたつの時代を「カレー」がつなぐ絶品“からうま”長編小説。

朝日新聞 2022/07/09

2022:6./ 296p
978-4-408-53806-8

¥1,760〔税込〕



弱者に仕掛けた戦争～アメリカ優生学運動の歴史～

エドウィン・ブラック 著
人文書院

アメリカ優生思想が暴走した背景には、「超越人種」の存在を信じた科学者たちと、彼らに莫大な資金を投資する財団や研究所があった-。診療記録から書簡まで膨大な資料をもとに、人種改良・人間改良の全貌を明らかにする。

朝日新聞 2022/07/09

2022:4./ 702p
978-4-409-51092-6

¥8,800〔税込〕



ビオレタ(ポプラ文庫 て3-1)

寺地 はるな 著
ポプラ社

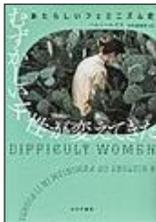
婚約者と別れた妙は、雑貨屋「ビオレタ」で働くことに。そこは「棺桶」なる美しい箱を売る、少々風変わりな店で...。人生を自分の足で歩くことの豊かさを描く、温かな物語。『asta*』掲載の短篇「夢の種」を加え文庫化。

朝日新聞 2022/07/09

2017:4./ 291p
978-4-591-15435-9

¥726〔税込〕





むずかしい女性が変わってきた～あたらしいフェミニズム史～

ヘレン・ルイス 著
みすず書房

女性が劣位に置かれている状況を変えてきた女性のなかには、危険な思想に傾く者や暴力に訴える者もいた。こうした「むずかしい女性」たちがつくってきた歴史の複雑さを描き出す、あたらしいフェミニズム史。

朝日新聞 2022/07/09

2022:5./ 407p,14p
978-4-622-09088-5

¥4,400〔税込〕



動物行動学者、モモンガに怒られる～身近な野生動物たちとの共存を全力で考えた!～

小林 朋道 著
山と溪谷社

目をあけて眠るアカネズミ、公衆トイレをつくるタヌキ…。9種類の野生動物の生息環境や、それに適応した彼らの習性を、著者との係わりも交えて紹介し、動物行動学からの「野生動物たちとの共存」の在り方について考察する。

朝日新聞 2022/07/09

2022:4./ 300p
978-4-635-06314-2

¥1,925〔税込〕



だから私はここにいる～世界を変えた女性たちのスピーチ～

アンナ・ラッセル、カミラ・ピニエイロ、堀越 英美 著
フィルムアート社

エリザベス1世、マリー・キュリー、ミシェル・オバマ…。性差だけでなく人種、民族、宗教、障害の壁も乗り越え、多様な分野で権利と尊厳のために声を上げてきた女性たち54人の力強い言葉をまとめたアンソロジー。

朝日新聞 2022/07/09

2022:5./ 183p
978-4-8459-2023-5

¥2,200〔税込〕



枢密院～近代日本の「奥の院」～(講談社現代新書 2665)

望月 雅士 著
講談社

大日本帝国憲法にだけ存在し、新憲法では廃棄された枢密院とは何か。いまだ謎多きその存在の創設から廃止までの60年の軌跡をたどり、その全体像を検証。近代日本の歴史のなかに枢密院を位置づける。

朝日新聞 2022/07/09、日本経済新聞 2022/07/16

2022:6./ 342p
978-4-06-528591-6

¥1,320〔税込〕



帝国日本のプロパガンダ～「戦争熱」を煽った宣伝と報道～(中公新書 2703)

貴志 俊彦 著
中央公論新社

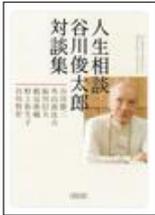
なぜ国民は戦勝神話にとりつかれたのか? 錦絵、版画、絵葉書、戦況写真、軍事映画など、戦争熱を喚起したビジュアル・メディアから帝国日本のプロパガンダ史を描きだす。

朝日新聞 2022/07/09、毎日新聞 2022/07/16、日本経済新聞 2022/07/23、朝日新聞 2022/07/30

2022:6./ 4p,209p
978-4-12-102703-0

¥924〔税込〕





人生相談 谷川俊太郎対談集(朝日文庫 た 46-4)

谷川俊太郎 著
朝日新聞出版

ひとりでね、うまい具合にスルスルと生きてきたところがあるわけです。自らを平凡な生活者だという詩人が、谷川徹三、外山滋比古らと自我、家族、性、日本語について語り合った壮年期の対談集。内田也哉子の解説付き。

朝日新聞 2022/07/16

2022:5./ 317p
978-4-02-262065-1

¥935〔税込〕



銃座のウルナ<1>(BEAM COMIX)

伊図透 著
KADOKAWA

彼女の名はウルナ・トロップ・ヨック。遠い村から、辺境の地に赴任したスナイパー。彼女は、初めての戦場で、なにを知るのか…。第49回ちばてつや賞大賞受賞、第5回漫画アクション新人賞入賞を経て、『ミツバチのキス』『エイズ』など、漫画シーンから熱い注目を浴びる意欲作を発表し続ける鬼才・伊図透が、そのすべての才能を込めて解き放つ、マージナルなイマジネーションに溢れたSF巨篇。新しい物語の始まりを“目撃”せよ！

朝日新聞 2022/07/16

2016:2./ 184p
978-4-04-734008-4

¥759〔税込〕



オール・ザ・マーブルズ!<1>(BEAM COMIX)

伊図透 著
KADOKAWA

女が野球をすることに、まだ世間があまり興味を示さなかった頃。リトルリーグで男子に交じりエースを務めるほどの圧倒的な才能を持った草吹恵と、女性離れした体力を誇るスラッガー結城愛。ふたりの“めぐみ”は、ともに大好きな白球を追って、青春のすべてをグラウンドに懸けることを誓う。その出逢いは、女性にとっての野球の未来を、世界を変えるほどの、大いなるストーリーの始まり。『銃座のウルナ』で第21回文化庁メディア芸術祭優秀賞を受賞した鬼才・伊図透が挑む、真っ向勝負のガールズ・ベースボール・ロマン、満を持してのスタート。 ※“(go for) all the marbles”は「いちかばちかやってみる」「すべてを懸ける」の意。月刊コミックビーム連載『全速力の。』改題

朝日新聞 2022/07/16

2022:7./ 232p
978-4-04-735771-6

¥836〔税込〕





オール・ザ・マーブルズ!<2>(BEAM COMIX)

伊図透 著
KADOKAWA

男子にだって負けないという強烈なプライドに振り回される天才ピッチャー草吹恵と、ひたむきにボールを追う好守のスラッガー結城愛。神北高校女子硬式野球部の一年生ふたりは、仲間たちとともに、灼熱の全国大会に挑む。女子野球の聖地で、心も体も傷だらけになりながら、一瞬で永遠の夏を、ただひたすらに、闘う。『銃座のウルナ』（第21回文化庁メディア芸術祭優秀賞）など際立つ世界を描き出し、漫画読みから熱い注目を集める伊図透が、全力投球で放つ、“彼女たち”の野球ドラマ、魂が震える第2巻。 ※“(go for) all the marbles”は「いちかばちかやってみる」「すべてを懸ける」の意。月刊コミックビーム連載『全速力の。』改題

朝日新聞 2022/07/16

2022:7./ 214p
978-4-04-737128-6

¥836〔税込〕



昭和維新試論(講談社学術文庫 2193)

橋川 文三 著
講談社

忌まわしい日本ファシズムへとつながった昭和維新思想の起源は、明治の国家主義が帝国主義へと転じた時代の不安と疎外感にある。昭和維新思想の系譜をたどり、悲哀にみちた「維新者」の肖像を描く。

朝日新聞 2022/07/16

2013:9./ 316p
978-4-06-292193-0

¥1,100〔税込〕



高架線(講談社文庫 た 130-2)

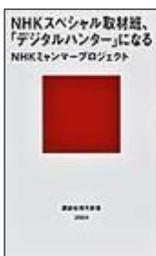
滝口 悠生 著
講談社

古アパート「かたばみ荘」では、出るときに次の入居者を自分で探してくるようになっていた。部屋を引き継いだ住人がある日失踪して…。住人と関係者の記憶と語りで綴られていく16年間の物語。

朝日新聞 2022/07/16

2022:5./ 269p
978-4-06-528006-5

¥715〔税込〕



NHK スペシャル取材班、「デジタルハンター」になる(講談社現代新書 2664)

NHK ミャンマープロジェクト 著
講談社

19歳女性は軍に銃殺されたのか？ ミャンマー軍はなぜ暴走したのか？ 新型コロナ禍で現場に行けなくなったNHKスペシャル取材班が、デジタル調査報道で「真相」を突き止めるまでを描く。

朝日新聞 2022/07/16

2022:6./ 254p
978-4-06-528604-3

¥1,034〔税込〕





あたしたち、海へ(新潮文庫 い-79-8)

井上 荒野 著
新潮社

楽しいことはいつでも、三人一緒のはずだった。クラスでいじめが始まるまでは…。大人の視点からも浮かび上がる理不尽な社会の「仕組み」。心を削る暴力の輪に組み込まれ、もがく全ての人に、一筋の光を照らす長編小説。

朝日新聞 2022/07/16

2022:6./ 282p
978-4-10-130258-4
¥649〔税込〕



老いの福袋～あっぱれ!ころばぬ先の知恵 88～

樋口 恵子 著
中央公論新社

老年よ、大志とサイフを抱け! 「調理定年」してもいい! 介護され上手になろう! 老いの時期を楽しく快適にするアイデアや、ちょっぴり怖い現実、超高齢社会の課題を乗り越える知恵などを綴った書き下ろし痛快エッセイ。

朝日新聞 2022/07/16

2021:4./ 229p
978-4-12-005428-0
¥1,540〔税込〕



昭和史発掘<1>(文春文庫)

松本 清張 著
文芸春秋

清張にかかると昭和史はこんなにも生々しく、面白い。第1巻は、「陸軍機密費問題」「石田検事の怪死」「朴烈大逆事件」他、全5篇

朝日新聞 2022/07/16

2005:3./ 417p
978-4-16-710699-7
¥990〔税込〕



平安貴族サバイバル

木村 朗子 著
笠間書院

優雅なイメージとは裏腹に、セルフプロデュース力やコミュニケーションスキルが厳しく求められていた平安貴族。弱肉強食の世界に翻弄されながらも、意外とアグレッシブに生きた人々の軌跡を、史実と文学作品をもとに解説する。

朝日新聞 2022/07/16

2022:5./ 196p
978-4-305-70956-1
¥1,650〔税込〕



くるまの娘

宇佐見 りん 著
河出書房新社

車で祖母の葬儀に向かう、17歳のかんこと家族。思い出の景色や車中泊の密なる空気が、家族のままならなさの根源にあるものを引きずりだしていき…。『文藝』掲載を単行本化。

朝日新聞 2022/07/16

2022:5./ 157p
978-4-309-03035-7
¥1,650〔税込〕





その規約、読みますか?~義務的情報開示の失敗~

オムリ・ベン=シャハー／カール・E・シュナイダー 著
勁草書房

ウェブサービス、保険、カード…。様々な契約に伴う長大な注意書きをきちんと把握することは可能なのか。人間の情報処理能力に関する科学的知見をもとに、契約社会の限界について議論し考える上での材料を提供する。

朝日新聞 2022/07/16

2022:5./ 6p,266p
978-4-326-40406-3

¥3,520〔税込〕



データ管理は私たちに幸福にするか?~自己追跡の倫理学~(光文社新書 1207)

堀内進之介 著
光文社

スマホなどを通じた利己的な自己管理はどのように利他や社会へと接続可能か。さまざまな事柄を測量する技術センシングと、それによって新たな洞察と解決策を生み出そうとするトラッキングという実践について論じる。

朝日新聞 2022/07/16

2022:6./ 252p
978-4-334-04579-1

¥968〔税込〕



ヤバイ神~不都合な記事による旧約聖書入門~

トーマス・レーマー 著
新教出版社

旧約聖書には、神が残酷で好戦的で横暴だという印象を与える記述が少なくない。多くの人が疑問を抱くテキストを旧約聖書学の第一人者が取り上げ、それらの表現の意味と理由を考察し、神の真の「人柄」に迫る。

朝日新聞 2022/07/16

2022:3./ 252p
978-4-400-11908-1

¥2,420〔税込〕



モーセの生涯(「知の再発見」双書)

トーマス・レーメル、矢島 文夫、遠藤 ゆかり 著
創元社

海が割れる「紅海の奇跡」、神から「十戒」を与えられる場面など、よく知られているモーセの物語。モーセの物語とその起源、モーセの実像、さまざまなモーセ像等を、多数の写真や図を用いてビジュアルで解説する。

朝日新聞 2022/07/16

2003:7./ 141p
978-4-422-21168-8

¥1,540〔税込〕



ポラリスが降り注ぐ夜(ちくま文庫 り 9-1)

李 琴峰 著
筑摩書房

多様な性的アイデンティティを持つ女たちが集う二丁目のバー「ポラリス」。冴え冴えと輝く星に手を伸ばすように、魂の、身体の、触れあいを求めて二丁目を訪れる女たちの7つの物語。気鋭の台湾人日本語作家による純恋小説。

朝日新聞 2022/07/16

2022:6./ 296p
978-4-480-43824-9

¥858〔税込〕





沙飛～<中国のキャパ>と呼ばれた戦場写真の先駆者～

加藤 千洋 著
平凡社

カメラで日中戦争を戦った中国報道写真の先駆者・沙飛はなぜ銃殺刑に処せられたのか。彼の生涯と画期的な仕事、日本人医師の射殺事件とその後を、現地取材も含めて丹念に辿った評伝。

朝日新聞 2022/07/16

2022:4./ 222p
978-4-582-23132-8

¥3,080〔税込〕



テロル(紙礫 4)

鈴木 邦男 編
皓星社

朝日平吾「死の叫び声」、和田久太郎「後事頼み置く事ども」、中浜哲「杉よ!眼の男よ!」、三島由紀夫「檄」など全 15 編を収録した「テロル」をめぐるアンソロジー。編者による解説付き。

朝日新聞 2022/07/16

2016:5./ 365p
978-4-7744-0611-4

¥1,980〔税込〕



その後の震災後文学論

木村 朗子 著
青土社

私たちは何を記憶し、忘れてしまったのか? 不安、崇高、憑在論(ホントロジー)で読み解く、未来への文学論。震災後の文学をどのように読むか、震災後文学が問題にしていることは何なのかをさまざまな角度から見極める。

朝日新聞 2022/07/16

2018:1./ 254p,4p
978-4-7917-7044-1

¥2,200〔税込〕



女子大で和歌をよむ～うたを自由によむ方法～

木村朗子 著
青土社

あらゆる気持ちの高ぶりを記した和歌。「源氏物語」「伊勢物語」「和泉式部日記」、さらには現代短歌にも立ち寄りながら、三十一文字の「ことば」が育んできた文化の魅力をあますところなく伝える。津田塾大学の講義を書籍化。

朝日新聞 2022/07/16

2022:2./ 443p
978-4-7917-7454-8

¥2,640〔税込〕



申命記史書～旧約聖書の歴史書の成立～

トーマス・C. レーマー、山我 哲雄 著
日本キリスト教団出版局

旧約学者マルティン・ノートが提唱した「申命記史書」理論。さまざまな形で修正が試みられてきたこの理論をめぐる多様な仮説を批判的に吟味し、相互に対話させ、旧約聖書の申命記から列王記に至る歴史書の成立の核心に迫る。

朝日新聞 2022/07/16

2008:2./ 320p
978-4-8184-0670-4

¥7,040〔税込〕





老〜い、どん!〜70〜90代あなたにも「ヨタヘ口期」がやってくる〜

樋口 恵子 著
婦人之友社

人生の最終段階の幸福のために何をなすべきか。满身創痕ならぬ满身疼痛の「ヨタヘ口期」をよろめきながら直進している 87 歳の著者が、老いの現実と覚悟を伝える。『明日の友』連載を単行本化。

朝日新聞 2022/07/16

2019.12./ 158p
978-4-8292-0914-1

¥1,485〔税込〕



ある愚直な人道主義者の生涯〜弁護士布施辰治の闘い〜

森正 著
旬報社

正しくして弱きもののために、余を強からしめよ。民衆のために、そして民衆と共にあり続けた民衆の弁護士であり、戦闘的民主主義者であった布施辰治の生涯を描く。

朝日新聞 2022/07/16

2022.5./ 269p
978-4-8451-1759-8

¥1,980〔税込〕



ゲルハルト・リヒター

青幻舎

画家ゲルハルト・リヒターの 60 年にわたる深遠なる思索を紐解く作品集。初期の「フォト・ペインティング」から 2021 年の最新作までの約 140 点を、書き下ろしテキストと共に収録。「ゲルハルト・リヒター展」の公式図録。

朝日新聞 2022/07/16

2022.6./ 343p
978-4-86152-891-0

¥3,899〔税込〕



昭和の仕事

澤宮優 著
弦書房

忘れられた仕事の言い分から見えてくるほんとうの豊かさや貧しさ。放浪詩人・高木護の就いた仕事をきっかけとして、「失われてしまった庶民の仕事」を一つ一つ洗い出し、今の時代の根源的な問題を問う。

朝日新聞 2022/07/16

2010.6./ 190p
978-4-86329-041-9

¥2,090〔税込〕



自動車の社会的費用・再考

上岡 直見 著
緑風出版

宇沢弘文は 1974 年刊の「自動車の社会的費用」でクルマ社会の負の側面を指摘し警鐘を鳴らしたが、その後も自動車と道路の増加は止まらなかった。半世紀が経過したいま、自動車に依存した社会の転換について改めて考える。

朝日新聞 2022/07/16、東京・中日新聞 2022/07/24

2022.5./ 273p
978-4-8461-2208-9

¥2,970〔税込〕





推し、燃ゆ

宇佐見 りん 著

河出書房新社

ままならない人生を引きずり、祈るようにアイドル上野真幸を推すあかり。ある日、真幸がファンを殴って炎上し…。デビュー作「かか」が三島賞候補になった21歳の第2作。『文藝』掲載を単行本化。

朝日新聞 2022/07/16、日本経済新聞 2022/07/23

2020:9./ 125p
978-4-309-02916-0
¥1,540〔税込〕



戦火に散った巨人軍最強の捕手〜吉原正喜・炎の生涯〜(河出文庫 さ 27-3)

澤宮 優 著

河出書房新社

プロ野球創世期、沢村栄治やスタルヒンをリードし、ファンから愛された「炎のキャッチャー」吉原正喜。25年の短い生涯を、川上哲治や千葉茂ら僚友、遺族の証言や昭和初期の世相などとあわせて綴るノンフィクション。

朝日新聞 2022/07/16、日本経済新聞 2022/07/30

2014:6./ 217p
978-4-309-41297-9
¥726〔税込〕



暴れ川と生きる〜筑後川流域の生活史〜

澤宮 優 著

忘羊社

「日本三大暴れ川」のひとつとして知られる大河・筑後川。阿蘇・九重の源流から国内有数のクリーク地帯を経て有明海に至るまで、川との闘いと共生を続けてきた流域4県の歴史と文化を描く。

朝日新聞 2022/07/16、日本経済新聞 2022/07/30

2022:7./ 255p
978-4-907902-29-2
¥2,090〔税込〕



ペアレントクラシー〜「親格差時代」の衝撃〜(朝日新書 871)

志水宏吉 著

朝日新聞出版

家庭環境の違いが子どもの人生を大きく変える“親ガチャ”社会の現状とは？新自由主義と共依存の関係にあるペアレントクラシー(親の影響力が強い社会)化が進む日本。分極化する公教育の様相を、学校現場からレポートする。

朝日新聞 2022/07/23

2022:7./ 253p
978-4-02-295182-3
¥891〔税込〕



本格王<2022>(講談社文庫 ほ 31-24)

本格ミステリ作家クラブ 編

道尾 秀介/大山 誠一郎/芦沢 央/方丈 貴恵/浅倉 秋成/森川 智喜 著

講談社

街で50年ぶりに発生した殺人事件。刑事はペット探偵とともに、被害者宅の犬を探し…。道尾秀介「眠らない刑事と犬」をはじめ、全6編を収録。ミステリのプロが厳選した、本格ミステリアンソロジー。

朝日新聞 2022/07/23

2022:6./ 363p
978-4-06-528273-1
¥924〔税込〕





「黒い雨」訴訟(集英社新書 1122)

小山 美砂 著
集英社

なぜ国は広島原爆による「黒い雨」の被爆者を切り捨てたのか。当事者の歩みをたどるとともに、米軍の被害軽視に追従した国の怠慢、非科学的な態度をあぶり出し、訴訟の全容と真実に迫るノンフィクション。

朝日新聞 2022/07/23

2022:7./ 251p
978-4-08-721222-8

¥1,056〔税込〕



遠の眠りの

谷崎 由依 著
集英社

女工として働く絵子は、百貨店の支配人と知り合う。百貨店には専属の「少女歌劇団」があり、絵子は「お話係」として雇ってもらうことに。看板女優・キヨと仲良くなるが、実は彼女は…。『すばる』連載を加筆修正して単行本化。

朝日新聞 2022/07/23

2019:12./ 274p
978-4-08-771687-0

¥1,980〔税込〕



陽だまりの彼女(新潮文庫 こ52-1)

越谷 オサム 著
新潮社

朝日新聞 2022/07/23

2011:6./ 342p
978-4-10-135361-6

¥649〔税込〕



藁の王

谷崎 由依 著
新潮社

なぜ私は小説を書くのか、それをどう教えるのか。教師としての経験を元に、小説と格闘する人々を描いた表題作など全4編を収録した、女性と世界との葛藤を浮き彫りにする作品集。『新潮』掲載を単行本化。

朝日新聞 2022/07/23

2019:3./ 254p
978-4-10-352371-0

¥1,980〔税込〕



母親になって後悔してる

オルナ・ドーナト 著
新潮社

もし時間を巻き戻せたら、再び母になることを選びますか？この質問に「ノー」と答えた23人の女性にインタビュー。母親になることで経験する多様な感情を明らかにし、社会に背負わされる重荷に苦しむ切実な思いを伝える。

朝日新聞 2022/07/23

2022:3./ 304p,10p
978-4-10-507271-1

¥2,200〔税込〕





暗殺者グレイマン～映画「グレイマン」原作～ 新版(ハヤカワ文庫 NV 1498)

マーク・グリーニー 著

早川書房

グレイマンと呼ばれる凄腕の暗殺者ジェントリー。彼がナイジェリアの大臣を暗殺したため、兄の大統領が復讐を決意。暗殺チームがグレイマンを標的とする死のレースを開始した! Netflix 映画の原作。

朝日新聞 2022/07/23

2022:7./ 550p
978-4-15-041498-6

¥1,254 [税込]



波 新訳版

ヴァージニア・ウルフ 著

早川書房

遠い太陽の光が海辺の一日に降り注ぎ、生まれては消える波のうねりを情感豊かに描きだす。男女6人の独白が物語るのは、幻想のように過ぎた半生の思い出。清冽な言葉がつらなり輝く、ヴァージニア・ウルフの傑作の新訳。

朝日新聞 2022/07/23

2021:6./ 372p
978-4-15-210027-6

¥2,750 [税込]



日本の昔話と伝説～民間伝承の民俗学～

柳田 国男 著

河出書房新社

あまのじゃく、産女の怪、鬼ヶ島、たけくらべ、文福茶釜…。柳田民俗学の中心をなす、昔話と伝説。その中に秘められた、日本人の精神風土を掘り下げ、なつかしさの根源にある、日本人の心のふるさとを探る。

朝日新聞 2022/07/23

2014:9./ 178p
978-4-309-24675-8

¥2,530 [税込]



アウシュヴィッツのお針子

ルーシー・アドリントン 著

河出書房新社

ナチス幹部家族らの服を仕立てることで、地獄を生き延びたユダヤ人女性たちがいた。彼女たちは針と糸、そして強い友情の絆で抵抗し、逃亡の計画まで立てていて…。絶滅収容所のファッションサロンをめぐる衝撃の記録。

朝日新聞 2022/07/23

2022:5./ 361p
978-4-309-25445-6

¥2,475 [税込]



十三角関係～山田風太郎傑作選 推理篇～(河出文庫 や 4-25)

山田 風太郎 著

河出書房新社

娼館のマダムが無惨なバラバラ死体で発見された。夫、息子、従業員、記者、麻薬取締官、謎のマスクの男ら十二人の誰が彼女を十字架にかけたのか? 酔いどれ医者の名探偵・荊木歓喜が衝撃の真相に迫る長編ミステリ。

朝日新聞 2022/07/23

2022:7./ 323p
978-4-309-41902-2

¥1,155 [税込]





挑発する少女小説(河出新書 033)

斎藤 美奈子 著
河出書房新社

大人になって読む少女小説は、新たな発見に満ちている。あの名作には、いったい何が書かれていたのか? 「小公女」「若草物語」「ハイジ」「赤毛のアン」「あしながおじさん」など、翻訳少女小説 9 冊を読み直す。

朝日新聞 2022/07/23

2021.6./ 273p
978-4-309-63134-9
¥946 [税込]



たんぼぼ球場の決戦

越谷 オサム 著
幻冬舎

かつて「超高校級」ともてはやされたピッチャーだった大瀧鉄舟は、野球の道をあきらめ、人生そのものが停滞したまま 20 代半ばを迎えてしまった。そんな鉄舟が、ほんのりことから草野球チームを創設することになり…。

朝日新聞 2022/07/23

2022.6./ 374p
978-4-344-03970-4
¥1,760 [税込]



階段途中のビッグ・ノイズ(幻冬舎文庫)

越谷 オサム 著
幻冬舎

朝日新聞 2022/07/23

2010.5./ 341p
978-4-344-41475-4
¥660 [税込]



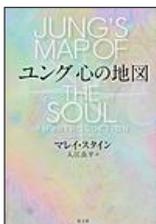
BTS、ユング、こころの地図~『MAP OF THE SOUL:7』の心理学~

マリー・スタイン/スティーヴン・ビュザー/レオナード・クルーズ 著
創元社

BTS のアルバム『MAP OF THE SOUL:7』ではいったい何が表現されているのか。そのコンセプトにインスピレーションを与えたとされる著者が、ユング派分析家という立場からアルバムを読み解く。

朝日新聞 2022/07/23

2022.5./ 214p
978-4-422-11775-1
¥2,200 [税込]



ユング心の地図 新装版

マレイ・スタイン、入江 良平 著
青土社

自らを、心の探検家にして地図製作者とみなしていたユング。彼の著作を丹念にたどり、理論の根底にある深いヴィジョンの統一性を明かす。ユング心理学の入門書。

朝日新聞 2022/07/23

2019.5./ 326p,9p
978-4-7917-7158-5
¥2,860 [税込]





貝と文明～螺旋の科学、新薬開発から足糸で織った絹の話まで～

ヘレン・スケールズ、林 裕美子 著

築地書館

数千年にわたって貝は、宝飾品、貨幣、権力と戦争、食材など、さまざまなことに利用されてきた。古代から現代までの貝と人間とのかかわり、軟体動物の生物史、そして今、海の世界で起こっていることを鮮やかに描き出す。

朝日新聞 2022/07/23

2016.11./ 365p 図版

8 枚

978-4-8067-1527-6

¥2,970〔税込〕



深海学～深海底希少金属と死んだクジラの教え～

ヘレン・スケールズ 著

築地書館

炭素の吸収源として人の暮らしや地球上の生物、気候・気象システムに大きな影響を与える深海の生態系。英国の海洋学者が最新の知見を基に、深海が地球上の生命にとっていかに重要かを語り、海の奥深くへの旅へと誘う。

朝日新聞 2022/07/23

2022.6./ 330p

978-4-8067-1635-8

¥3,300〔税込〕



村の公証人～近世フランスの家政書を読む～

ニコル・ルメートル 著

名古屋大学出版会

勤勉な農夫、貪欲な高利貸し、病を癒す魔術師…。宗教戦争を経て訪れたあらたな時代を記録した、近世フランスの家政書(経理の書)を調査研究。農村の公証人一族たちが生きた物質的・精神的世界とその変容を活写する。

朝日新聞 2022/07/23

2022.5./

10p,344p,17p

978-4-8158-1089-4

¥6,380〔税込〕



だいくとおにろく(こどものとも傑作集)

松居直 著

福音館書店

川に橋をかけようとする大工とその川に住む鬼のユーモラスなやりとり、民話の語り口を生かした文章、日本の伝統的な美しい絵、すべてが子どもを満足させます。

朝日新聞 2022/07/23

1967.2./ 27p

978-4-8340-0085-6

¥990〔税込〕



動物になる日

前田エマ 著

ミシマ社

小学校4年生の「私」はピアノ教室でひとりの少女に出会う。「好きな人はいますか?」という少女の問いかけに「私」が想像するのは、死んだネコを回収したゴミ収集車の男で。表題作に「うどん」を併録した著者初の小説集。

朝日新聞 2022/07/23

2022.6./ 197p

978-4-909394-68-2

¥2,420〔税込〕





ヨイ豊(講談社文庫 か 131-3)

梶 よう子 著
講談社

黒船来航から12年。豊国が亡くなって、歌川を誰が率いるのか。ひと回り歳が違う兄弟弟子の清太郎と八十八は、尊王攘夷の波が押し寄せる不穏な江戸で、一門と浮世絵を守り抜こうとする。浮世絵の終焉を描く歴史長編。

朝日新聞 2022/07/23、日本経済新聞 2022/07/23

2017.12./ 445p
978-4-06-293819-8

¥880〔税込〕



韓国の「街の本屋」の生存探究

ハン・ミファ 著
クオン

個人経営の小さな書店やブックカフェが続々と誕生している韓国。本屋巡りが定着するほど注目を集める一方で、日々どこかで本屋が店を閉じている。奮闘する街の本屋の姿を中心に、本の生態系を描いたノンフィクション。

朝日新聞 2022/07/23、毎日新聞 2022/07/23

2022.5./ 281p
978-4-910214-34-4

¥2,200〔税込〕



人種主義の歴史(岩波新書 新赤版 1930)

平野 千果子 著
岩波書店

ナショナリズムや植民地主義、反ユダヤ主義と結びつき、近代世界に計りしれぬ惨禍をもたらし、現代にも深い影を落している人種主義(レイシズム)。大航海時代から今日まで、その思想と実態を世界史的視座からとらえる入門書。

朝日新聞 2022/07/30

2022.5./ 2p,245p,21p
978-4-00-431930-6

¥1,034〔税込〕



カード師

中村文則 著
朝日新聞出版

占いを信じていない占い師、そして客を翻弄する違法カジノのディーラーでもある「僕」はある組織から依頼され、正体を隠して奇妙な資産家の顧問占い師になるが…。『朝日新聞』連載に加筆して単行本化。

朝日新聞 2022/07/30

2021.5./ 457p
978-4-02-251758-6

¥1,980〔税込〕



ゆく川の流れは、動的平衡

福岡伸一 著
朝日新聞出版

今日の私は昨日の私ではない。流れに委ねるしかない。自然、芸術、暮らし。日常に生起する感慨をスケッチし、生命の動的平衡と利他性のつながりを表す。2015年12月～2020年3月の『朝日新聞』連載を改題し書籍化。

朝日新聞 2022/07/30

2022.3./ 241p,6p
978-4-02-251814-9

¥1,870〔税込〕





ドリトル先生ガラパゴスを救う～新ドリトル先生物語～

福岡伸一 著
朝日新聞出版

本家「ドリトル先生」シリーズの世界観やキャラクターを土台に紡がれる、生物学者・福岡伸一によるオリジナルストーリー。冒険物語にして、少年スタビーズくんが自然や社会を知っていく成長物語。『朝日新聞』連載を加筆修正。

朝日新聞 2022/07/30

2022:7./ 405p
978-4-02-251826-2

¥1,650 [税込]



マジカルグランマ(朝日文庫 ゆ 9-2)

柚木麻子 著
朝日新聞出版

75歳を目前に再デビューした元女優の正子。しかし、夫の死により仮面夫婦であることがバレてしまい、さらに夫には多額の借金が…。正子の姿を痛快に描く老境エンターテインメント。

朝日新聞 2022/07/30

2022:7./ 375p
978-4-02-265051-1

¥814 [税込]



生物と無生物のあいだ(講談社現代新書)

福岡伸一 著
講談社

「生きている」とはどういうことか？ 分子生物学がたどりついた地平を、歴史の闇に沈んだ科学者たちに光を当てながら平易に明かす。ページをめくる手がとまらない極上の科学ミステリー。

朝日新聞 2022/07/30

2007:5./ 285p
978-4-06-149891-4

¥968 [税込]



あそぶためうまれてきたのさぼくはねこ～ねこのあいうえお～

石津ちひろ/山口マオ 著
講談社

「い」いつだっていでのようにはできている、「ふ」ふしぎだねあめのあとにはにじがでる、「り」りっぱでしょライオンみたいなぼくのひげ。ねこの習性や特徴を描いた、かるたのような絵本。

朝日新聞 2022/07/30

2022:6./ [79p]
978-4-06-528208-3

¥1,980 [税込]



カラー図説 生命の大進化 40億年史～生命はいかに誕生し、多様化したのか～<古生代編>(ブルーバックス B-2203)

土屋健 著
講談社

最初の生命とはどんなものだったのか？ カンブリア爆発とは何か？ 眼の誕生は何をもたらしたのか？ 生命の誕生から古生代末に至る生命進化の物語を、多数の化石やイラストとともに振り返る。

朝日新聞 2022/07/30

2022:6./ 334p
978-4-06-528228-1

¥1,760 [税込]





鯨の岬(集英社文庫 か79-1)

河崎 秋子 著
集英社

札幌の主婦奈津子は、ある鯨の動画を見ていて捕鯨の町にいた幼い頃の記憶が蘇り...。表題作「鯨の岬」をはじめ、北海道新聞文学賞受賞作「東陲遺事」を収録。喪失と向き合う人々の凄絶な大地の物語。

朝日新聞 2022/07/30

2022:6./ 214p
978-4-08-744404-9

¥627〔税込〕



* 9 7 8 4 0 8 7 4 4 4 0 4 9 *



ゴールデンカムイ<1>(ヤングジャンプコミックス)

野田 サトル 著
集英社

『不死身の杉元』日露戦争での鬼神の如き武功から、そう謳われた兵士は、ある目的の為に大金を欲し、かつてゴールドラッシュに沸いた北海道へ足を踏み入れる。そこにはアイヌが隠した莫大な埋蔵金への手掛かりが!? 立ち塞がる圧倒的な大自然と凶悪な死刑囚。そして、アイヌの少女、エゾ狼との出逢い。『黄金を巡る生存競争』開幕ッ!!!!

朝日新聞 2022/07/30

2015:1./ 1冊(ページ

付なし)

978-4-08-890082-7

¥594〔税込〕



* 9 7 8 4 0 8 8 9 0 0 8 2 7 *



逃げるが勝ち~脱走犯たちの告白~(小学館新書 425)

高橋 ユキ 著
小学館

自転車全国一周に扮した男、尾道水道を泳いで渡った男、昭和の脱獄王カルロス・ゴーン...。彼らはなぜ逃げたのか。なぜ逃げられたのか。調査報道サイト『SlowNews』連載に追加取材、加筆修正して書籍化。

朝日新聞 2022/07/30

2022:6./ 214p
978-4-09-825425-5

¥946〔税込〕



* 9 7 8 4 0 9 8 2 5 4 2 5 5 *



俘虜記 改版(新潮文庫 お6-1)

大岡 昇平 著
新潮社

朝日新聞 2022/07/30

2010:8./ 571p
978-4-10-106501-4

¥935〔税込〕



* 9 7 8 4 1 0 1 0 6 5 0 1 4 *



戦争と平和<1> 改版(新潮文庫)

トルストイ 著
新潮社

朝日新聞 2022/07/30

2005:8./ 677p
978-4-10-206013-1

¥1,045〔税込〕



* 9 7 8 4 1 0 2 0 6 0 1 3 1 *



スタッフロール

深緑 野分 著
文藝春秋

戦後ハリウッドで奮闘した特殊造形師・マチルダ。現代ロンドンのCGクリエイター、ヴィヴィアン。CGの嵐が吹き荒れるなか、映画に魅せられた2人の魂が時を越えて共鳴し…。『別冊文藝春秋』連載を加筆して単行本化。

朝日新聞 2022/07/30

2022:4./ 469p
978-4-16-391518-0

¥1,870〔税込〕



生命海流〜GALAPAGOS〜

福岡伸一 著
朝日出版社

「生命」「進化」とは何か。生物学者・福岡伸一がダーウィンの足跡をたどり、生命の本質に迫るガラパゴス航海記。絶海の孤島で繰り広げられる大自然の営みと進化の不思議を、ユーモア溢れる文章と美しい写真で描き出す。

朝日新聞 2022/07/30

2021:6./ 253p
978-4-255-01241-4

¥2,090〔税込〕



嫌いなら呼ぶなよ

綿矢 りさ 著
河出書房新社

妻の親友の家に招かれた僕。だが突然僕の行動をめぐってミニ裁判が始まり…。表題作をはじめ、心に潜む“明るすぎる闇”に迫る全4作を収録する。『すばる』『文藝』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

朝日新聞 2022/07/30

2022:7./ 207p
978-4-309-03048-7

¥1,540〔税込〕



インストール(河出文庫)

綿矢 りさ 著
河出書房新社

女子高生と小学生が風俗チャットでひともうけ。押入れのコンピューターから覗いたオトナの世界とは?! 史上最年少芥川賞受賞作家のデビュー作／第三十八回文藝賞受賞作。書き下ろし短篇「You can keep it.」併録。

朝日新聞 2022/07/30

2005:10./ 182p
978-4-309-40758-6

¥418〔税込〕



蹴りたい背中(河出文庫)

綿矢 りさ 著
河出書房新社

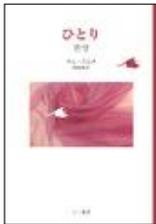
ハツとにな川はクラスの余り者同士。ある日ハツは、オリチャンというモデルのファンである彼の部屋に招待されるが……文学史上の事件となった百二十七万部のベストセラー、史上最年少十九歳での芥川賞受賞作。

朝日新聞 2022/07/30

2007:4./ 183p
978-4-309-40841-5

¥495〔税込〕





ひとり

キム スム、岡 裕美 著

三一書房

歴史の名のもとに破壊され、打ちのめされた、終わることのない痛み-。歳月が流れ、生存している旧日本軍慰安婦の被害者が、ただひとりになった日からはじまる、韓国の女性作家による長編小説。

朝日新聞 2022/07/30

2018:9./ 275p
978-4-380-18007-1

¥2,200〔税込〕



世界サブカルチャー史 欲望の系譜～アメリカ 70～90s「超大国」の憂鬱～

丸山俊一+NHK「世界サブカルチャー史」制作班 著

祥伝社

幻想、葛藤、そして喪失。1970年代から90年代に起きたアメリカの変化を、大衆の欲望が投影される象徴とも言うべき映画のスクリーンから主に読み取る。NHKのTV番組をもとに未公開部分も加え書籍化。

朝日新聞 2022/07/30

2022:6./ 217p
978-4-396-61782-0

¥1,760〔税込〕



富士山はいつ噴火するのか?～火山のしくみとその不思議～(ちくまプリマー新書 406)

万年 一剛 著

筑摩書房

日本の象徴である富士山。ここ300年ほど噴火していないが実はとても活発な火山だ。火山学者が富士山をどう考えているのか、そして、富士山についてどの程度わかっていて、何が問題になっているのかを紹介する。

朝日新聞 2022/07/30

2022:7./ 223p
978-4-480-68432-5

¥924〔税込〕



大丈夫な人(エクス・リブリス)

カン・ファギル 著

白水社

婚約者の彼は高収入の弁護士。質素な生活をしていた「私」を友人たちはあたかも運のいい人間のように言うけれど、実は数日前…。表題作をはじめ、他者の行動の裏に潜む悪意や、連鎖する不安を描いた全9作を収録した短篇集。

朝日新聞 2022/07/30

2022:6./ 281p
978-4-560-09073-2

¥2,200〔税込〕



フードバンクどろぼうをつかまえろ!～秘密の大作戦!～

オンジャリQ、ラウフ 著

あすなろ書房

お腹をすかせた人々を救ってきたフードバンク(食べ物銀行)が悪いやつらにねらわれている! 母親と妹の3人暮らしでフードバンクを利用しているネルソンは、友だちと協力して泥棒を捕まえようとして…。

朝日新聞 2022/07/30

2022:6./ 127p
978-4-7515-3077-1

¥1,540〔税込〕





そこにはいない男たちについて(ハルキ文庫 い19-3)

井上 荒野 著
角川春樹事務所

夫を突然亡くし、しばらく料理教室をお休みにしていた実日子。ようやく再開した教室に初めて参加したまりは、夫とうまくいっていないのだというが…。料理教室を舞台にしたふたりの「妻」の孤独と冒険の物語。

朝日新聞 2022/07/30

2022:7./ 219p
978-4-7584-4501-6

¥726〔税込〕



サンマデモクラシー〜復帰前の沖縄でオバーが起こしたビッグウェーブ〜

山里孫存 著
イースト・プレス

1963年、アメリカ統治下の沖縄。日本の味として食べていたサンマにアメリカが不当に税を課していることに怒った魚屋のオバーが裁判を起こす。「サンマ裁判」はいつしか沖縄全土を巻き込む民主主義をめぐる闘いとなり…。

朝日新聞 2022/07/30

2022:5./ 325p
978-4-7816-2078-7

¥1,650〔税込〕



さすらう地(韓国文学セレクション)

キム・スム 著
新泉社

スターリン体制下のソ連で突然、中央アジアへの移住を強いられた朝鮮半島出身者たち。行き先不明の貨車の中で語られる人々の声を物語に昇華させ、悲哀に満ちた時間を歩んできた「高麗人」の悲劇を繊細に描く。

朝日新聞 2022/07/30

2022:6./ 309p
978-4-7877-2221-8

¥2,530〔税込〕



5番レーン(鈴木出版の児童文学)

ウン・ソホル 著
鈴木出版

小6の女の子、カン・ナルは常勝を誇る水泳部のエースだが、最近ライバルに負け続け、悩んでいた。そして、ライバルの不正を疑ったことから、ある事件を引き起こしてしまい…。少女の成長する姿を描く青春ストーリー。

朝日新聞 2022/07/30

2022:6./ 252p
978-4-7902-3391-6

¥1,760〔税込〕



戦争プロパガンダ10の法則(草思社文庫 モ1-1)

アンヌ・モレリ 著
草思社

戦争を望んだのは彼らのほうだ。われわれは平和を愛する民である。いま世界のいたるところで飛び交っている主張。近代以降、紛争時に繰り返されてきたプロパガンダの実相を、ポンソンビー卿「戦時の嘘」をふまえて検証する。

朝日新聞 2022/07/30

2015:2./ 200p
978-4-7942-2106-3

¥880〔税込〕





動的平衡<1> 生命はなぜそこに宿るのか

福岡 伸一 著
木楽舎

生命とは、絶え間ない流れの中にある動的なものである。哲学する分子生物学者・福岡伸一が問う生命のなりたち、ふるまい、ありよう。10年におよぶ論考をすべて収録し、「生命の流れ」を流麗な文体で綴る。

朝日新聞 2022/07/30

2009:2./ 254p
978-4-86324-012-4
¥1,676〔税込〕



雨滴は続く

西村 賢太 著
文藝春秋

北町貫多が同人誌に発表した小説が、大手文芸誌「文豪界」に転載された。37年の人生において初めて訪れたチャンスをものにするべく、苦悩しながらも奮闘する作家前夜の日々を描く。『文學界』掲載の未完の遺作を書籍化。

東京・中日新聞 2022/07/03

2022:5./ 485p
978-4-16-391543-2
¥2,200〔税込〕



伝わるチカラ～「伝える」の先にある「伝わる」ということ～

井上 貴博 著
ダイヤモンド社

アナウンサーになろうとは思っていなかった著者が、どのようにテレビの一線で勝負する「伝わるチカラ」を培ってきたのか？自身の半生を振り返るとともに、自分の思いが相手に「伝わる」テクニックを公開する。

東京・中日新聞 2022/07/03

2022:5./ 303p
978-4-478-11535-0
¥1,540〔税込〕



そもそも民主主義ってなんですか？～知識ゼロからわかる!～

宇野 重規 著
東京新聞出版部

世の中が変わろうとしているいま、民主主義について考えてみませんか？政治のことを知らなくても身近なものとして考えることができるよう、イラストを用いながら、なるべくわかりやすく平易な言葉で説明します。

東京・中日新聞 2022/07/03

2022:6./ 159p
978-4-8083-1072-1
¥1,760〔税込〕



日米地位協定の現場に行く～「基地のある街」の現実～(岩波新書 新赤版 1928)

山本 章子／宮城 裕也 著
岩波書店

なぜ米軍による犯罪・事件を裁くことが難しいのか。なぜ騒音被害や環境汚染を止められないのか。「国の専管事項」である安全保障が日常を脅かしている実態と原因に迫る。

東京・中日新聞 2022/07/03、朝日新聞 2022/07/16

2022:5./ 13p,244p,6p
978-4-00-431928-3
¥990〔税込〕





猪木と馬場(集英社新書 1114)

斎藤 文彦 著
集英社

昭和の時代、誰もが熱狂したプロレスラー“燃える闘魂”アントニオ猪木と、“東洋の巨人”ジャイアント馬場の物語。力道山門下での同日デビューから独立を経て興行戦争、引退・晩年までを綴る。『週刊ポスト』連載に加筆修正。

東京・中日新聞 2022/07/10

2022:5./ 292p
978-4-08-721214-3

¥1,012〔税込〕



演奏する喜び、考える喜び

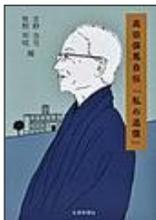
チャールズ・ローゼン／キャサリン・テマーソン 著
みすず書房

師匠ローゼンタールが驚異的な技巧でブラームスを振り向かせた話、演奏と楽譜の緊張関係…。世界的なピアニストで、音楽理論家としても活躍したローゼンが、友人テマーソンを聞き手に、縦横無尽に音楽の喜びを語る。

東京・中日新聞 2022/07/10

2022:5./ 159p,6p
978-4-622-09071-7

¥3,080〔税込〕



高田保馬自伝「私の追憶」

吉野浩司 著
佐賀新聞社

1957～58年にかけて『週刊エコノミスト』に連載された、日本の社会学・経済学が誇る最高の知性・高田保馬の自伝を書籍化。編者らによる解説の付論も掲載する。

東京・中日新聞 2022/07/10

2022:5./ 5p,290p,12p
978-4-88298-259-3

¥2,530〔税込〕



都市残酷

ワリス・ノカン 著
田畑書店

山で生きてきた。国家など不要だった。都市の残酷に呑みこまれても、獵人の魂は生き延びる。台湾原住民文学のリーダー的存在、ワリス・ノカンの2冊目の邦訳書。1980年から2007年にかけて発表された作品を収録。

東京・中日新聞 2022/07/10、毎日新聞 2022/07/23

2022:3./ 298p
978-4-8038-0393-8

¥3,080〔税込〕



気候民主主義～次世代の政治の動かし方～

三上 直之 著
岩波書店

無作為抽出型の気候市民会議、若者による気候ストライキなど、気候危機から脱するための新しい試みが欧州から広がっている。日本各地での取り組みも紹介しながら、持続可能な世界への手掛かりを探る。

東京・中日新聞 2022/07/17

2022:5./ 15p,184p,6p
978-4-00-061532-7

¥2,310〔税込〕





人口大逆転～高齢化、インフレの再来、不平等の縮小～

チャールズ・グッドハート／マノジ・プラダン 著
日経BP社

これから30年、本格的なインフレと金利上昇の時代がやってくる! 「グッドハートの法則」で知られる経済学者らが、高齢化とグローバル化の減速に伴い世界経済の構造が激的に変化することを骨太に説く。

東京・中日新聞 2022/07/17

2022:5./ 373p
978-4-296-11309-5

¥3,300〔税込〕



エクアドール

滝沢志郎 著
双葉社

大航海時代、愛する島と人を守るために命懸けの船旅に出た琉球人たちがいた-。日本に鉄砲が伝来する戦国期直前の時代を舞台に、男たちの熱き戦いと永遠の友情を描く歴史冒険小説。『小説推理』連載に加筆修正し単行本化。

東京・中日新聞 2022/07/17

2022:5./ 430p
978-4-575-24522-6

¥1,980〔税込〕



セルタンとリトラル～ブラジルの10年～

三砂ちづる／三砂ちづる 著
弦書房

独特の自然観を示す<キントウラ>とは何か。1980年代のおわりから2000年まで、ブラジル北東部(セルタンとリトラル)で暮らした公衆衛生研究者の眼がとらえた、土着文化のゆるがぬ「深さ」と「潔さ」を軽快に描く。

東京・中日新聞 2022/07/17

2022:4./ 290p
978-4-86329-249-9

¥2,200〔税込〕



私だったかもしれない～ある赤軍派女性兵士の25年～

江刺 昭子 著
インパクト出版会

1972年1月、極寒の山岳ベースで総括死させられた遠山美枝子。関係資料と周辺の人びとの語り、複雑な新左翼学生運動の構図、彼女が学んだ明治大学の学生運動と赤軍派の迷走を描きながら、彼女の生きた日々をたどる。

東京・中日新聞 2022/07/24

2022:6./ 313p
978-4-7554-0319-4

¥2,200〔税込〕



東宝空想特撮映画轟く 1954-1984(叢書・20世紀の芸術と文学)

小林 淳 著
アルファベータブックス

1954年「透明人間」から1984年「さよならジュピター」まで、30年間の東宝空想特撮映画50作を時間軸に沿って採り上げ、各作品を、音楽効果を中心に紹介。東宝空想特撮映画の軌跡を、その響きとともに追う。

東京・中日新聞 2022/07/24

2022:5./ 441p,21p
978-4-86598-094-3

¥4,180〔税込〕



日本の地下水～ちいさなメディアから～

鶴見 俊輔 著

編集グループ S U R E

東京・中日新聞 2022/07/31

2022:6./ 351p

1034776781

¥2,860〔税込〕



爆発物処理班の遭遇したスピン

佐藤 究 著

講談社

鹿児島市の小学校に、爆破予告が入る。今度は、鹿児島市の繁華街にあるホテルで酸素カプセルにも爆弾が。さらに同時刻、全く同じ爆弾が沖縄の米軍基地にも…。事件のカギとなるのは量子力学!? 異次元レベルの短編集。

東京・中日新聞 2022/07/31

2022:6./ 317p

978-4-06-527952-6

¥1,760〔税込〕



考証鎌倉殿をめぐる人びと(NHK 出版新書 679)

坂井 孝一 著

N H K 出版

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」時代考証チーフが、平安末期から鎌倉時代に活躍した人物たちの虚像と実像を徹底解説。政治・文化や武士の生活、戦いに関する最新研究と併せて、複雑な人間関係や出来事の背景がわかる。

東京・中日新聞 2022/07/31

2022:7./ 301p

978-4-14-088679-3

¥1,045〔税込〕



中学生から知りたいウクライナのこと(MSLive!BOOKS)

小山哲／藤原辰史 著

ミシマ社

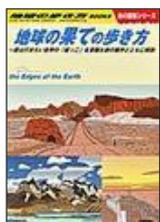
ロシアが絶対に許されない理由とは。西側諸国や日本が犯してきた罪とは。地域としてのウクライナの歴史や、小国を見過ごすことのない歴史の学び方などを、2人の歴史学者が語る。オンラインでの講義や対談などを書籍化。

東京・中日新聞 2022/07/31

2022:6./ 206p

978-4-909394-71-2

¥1,760〔税込〕



地球の果ての歩き方～一度は行きたい世界の「端っこ」を景観&旅の雑学とともに解説～(地球の歩き方 BOOKS 旅の図鑑シリーズ W15)

地球の歩き方編集室／地球の歩き方編集室／地球の歩き方編集室 編
学研

ものすごく距離が離れた場所、極端にアクセスしにくいところ、荒涼とした大地、厳しい気候の土地、時間とともに忘れ去られた人の存在の跡…。様々な地球の「果て」の地を紹介する。データ:2021年12月現在。

読売新聞 2022/07/03

2022:3./ 207p

978-4-05-801679-4

¥1,980〔税込〕





10分で名著(講談社現代新書 2659)

古市 憲寿 著
講談社

「神曲」「源氏物語」「失われた時を求めて」「相対性理論」…。手に取ってみたいけれど、挫折した難解な名著や古典 12 冊の読み方や読みどころをその道のプロが紹介。冒頭には各作品の基礎知識を収録する。

読売新聞 2022/07/03

2022:5./ 237p
978-4-06-528049-2
¥990〔税込〕



アタラクシア(集英社文庫 か 44-7)

金原 ひとみ 著
集英社

望んで結婚したはずなのに、どうしてこんなに苦しいのだろう。擦り切れた愛。暴力の気配。果てのない仕事。そして、新たな恋-。ままならない結婚生活の中、救いを求めてもがく男女を描いた長編。

読売新聞 2022/07/03

2022:5./ 366p
978-4-08-744383-7
¥836〔税込〕



咲かせて三升の團十郎

仁志 耕一郎 著
新潮社

悪女にはまり欲に負け、泥にまみれた晩年でも、芸を極め、最期まで人々に愛された波瀾万丈の役者、七代目市川團十郎。歌舞伎世界の光と影を濃厚に詰め込み、その人生を描いた本格時代小説。

読売新聞 2022/07/03

2022:4./ 409p
978-4-10-354521-7
¥2,640〔税込〕



鍵盤の天皇~井口基成とその血族~

中丸 美繪 著
中央公論新社

「井口一門にあらざれば、ピアニストにあらず」といわれ、日本音楽界に君臨した井口基成。情熱一途の“しごき”で、鬼教師はいかに多くの逸材を鍛えたのか。各界 130 人への取材をもとに、その破天荒な生涯を描く。

読売新聞 2022/07/03

2022:5./ 629p
978-4-12-005505-8
¥3,300〔税込〕



園芸家 12 カ月 新装版(中公文庫 ち 1-3)

カレル・チャペック 著
中央公論新社

われわれ園芸家は未来に生きているのだ-。草花をこよなく愛したチェコの作家、カレル・チャペックがユーモラスな筆致で描く、園芸愛好家の幸福な熱狂に満ちた 12 カ月。チェコ文学者・阿部賢一による新装版解説も収録。

読売新聞 2022/07/03

2020:8./ 236p
978-4-12-206930-5
¥770〔税込〕





人工知能で10億ゲットする完全犯罪マニュアル(ハヤカワ文庫 JA 1457)

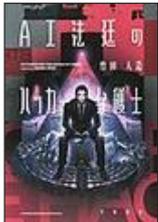
竹田 人造 著
早川書房

首都圏ビッグデータ保安システムが導入された近未来。AI 技術者の三ノ瀬は、親の借金で臓器を売られる瀬戸際だった。彼は AI の心を読み、認識を欺く技術のある男に見込まれ、自動運転現金輸送車の強奪に乗り出すが...

読売新聞 2022/07/03

2020:11./ 398p
978-4-15-031457-6

¥1,078 [税込]



AI 法廷のハッカー弁護士

竹田 人造 著
早川書房

複雑化していく訴訟社会にあって、AI 裁判官が導入された日本。法曹界が人の代替としての AI 裁判官を受け入れ始める中、不敗弁護士・機島雄弁は、あくまで機械としての裁判官を冷徹に分析し...。電腦法廷ミステリ。

読売新聞 2022/07/03

2022:5./ 314p
978-4-15-210138-9

¥2,310 [税込]



日本史を疑え(文春新書 1360)

本郷 和人 著
文藝春秋

丸暗記を脱却し、「時代の変化はなぜ起きたのか?」を考えると、歴史は何倍も面白くなる。自分の頭で歴史を考えたい人に向けて、「史料」の読み方から「史実」の確かめ方、「定説」「最新学説」の疑い方までを明快に語る。

読売新聞 2022/07/03

2022:5./ 239p
978-4-16-661360-1

¥924 [税込]



最後の防衛線～危機と日本銀行～

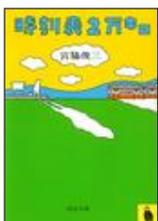
中曾 宏 著
日経 B P 社

何に悩み、考え、行動したか。1990 年代の日本の金融危機と、2008 年のリーマンブラザーズの破綻を挟む国際金融危機の最前線で指揮を執った前日本銀行副総裁が明かす戦いの記録。危機の現場と対応策の全てを語る。

読売新聞 2022/07/03

2022:5./ 736p
978-4-296-11307-1

¥4,620 [税込]



時刻表 2 万キロ(河出文庫)

宮脇 俊三 著
河出書房新社

時刻表を愛読すること四十余年の著者が、寸暇を割いて東奔西走、国鉄(現 JR)二百六十六線区、二万余キロ全線を乗り終えるまでの涙の物語。日本ノンフィクション賞、新評交通部門賞受賞。

読売新聞 2022/07/03

1980:6./ 262p
978-4-309-47001-6

¥880 [税込]





水車屋の美しい娘～シューベルトとミュラーと浄化の調べ～

梅津 時比古 著
春秋社

シューベルトの連作歌曲<水車屋の美しい娘>で歌われているのは、ある若者の恋愛模様だけだろうか。これまで見逃されてきた差別とエロスの視点で“水車屋の娘”の影を追いつつ、作品世界のより奥深い解釈へと導く。

読売新聞 2022/07/03

2022:5./ 7p,303p,41p
978-4-393-93224-7

¥2,420〔税込〕



天皇・コロナ・ポピュリズム～昭和史から見る現代日本～(ちくま新書 1648)

筒井 清忠、筒井 清忠 著
筑摩書房

議会制民主主義への懐疑、天皇をシンボルとしたポピュリズム…。昭和の戦争へ向かった時代に酷似している現代日本について、戦前のポピュリズムの過ちを教訓に考察する。『中央公論』等掲載をもとに書籍化。

読売新聞 2022/07/03

2022:4./ 220p
978-4-480-07477-5

¥880〔税込〕



人類対自然(エクス・リブリス)

ダイアン・クック 著
白水社

配偶者を亡くし自活できない男女が、収容先で再婚に向けて奇妙な再教育を受ける「前に進む」など、極限状況でもがく人々の孤独とかすかな希望を巧みに描く、ダークでシュール、可笑しくて哀しい全 12 篇を収録。

読売新聞 2022/07/03

2022:4./ 268p
978-4-560-09072-5

¥3,300〔税込〕



ジェンダーと歴史学 30周年版(平凡社ライブラリー 930)

ジョン.W.スコット 著
平凡社

「ジェンダー」を歴史の強力な分析手段として確立。権力が構築される過程で、性的差異がどのように利用されてきたかを明らかにし、歴史記述のみならず、歴史学そのもののあり方に決定的な変容をもたらした古典的名著。

読売新聞 2022/07/03

2022:5./ 527p
978-4-582-76930-2

¥2,420〔税込〕



救いの森(ハルキ文庫 こ 15-1)

小林 由香 著
角川春樹事務所

子どもがいじめや虐待、誘拐など命の危険を感じた時に起動させると、児童救命士がかけつける「ライフバンド」。その検査のため、新米児童救命士の長谷川は小学校に出向くが、そこでわざと警告音を鳴らす少年と出会い…。

読売新聞 2022/07/03

2022:5./ 304p
978-4-7584-4484-2

¥792〔税込〕





災害と復興天明三年浅間山大噴火

孺恋郷土資料館 編
新泉社

火山噴火の猛威と甚大な災害。被災を乗り越え、語り継ぎ、復興する人びと。火山噴火・地震・集中豪雨などにどう対処すべきかを、天明三年浅間山大噴火が巻き起こした災害の実相、そして地域の人びとによる救済と復興から学ぶ。

読売新聞 2022/07/03

2022:4./ 94p
978-4-7877-2201-0
¥1,980〔税込〕



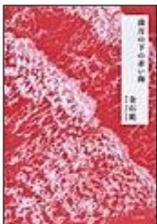
琉球文学大系<1> おもろさうし

名桜大学『琉球文学大系』編集刊行委員会 編
波照間永吉 著
ゆまに書房

古琉球の神祭りの世界で謡われた歌謡・オモロを収めた文献「おもろさうし」。上は、全22巻の第1～11巻を収録する。原文の上には語句などを説明する頭注、下には訳文、横には大意・解説を記す。

読売新聞 2022/07/03

2022:3./ 652p
978-4-8433-6239-6
¥5,940〔税込〕



満月の下の赤い海

金石範 著
クオン

韓国語と日本語のはざままで2つに割れた存在に苦しみつつ韓国舞踊を学び、島を想う在日女性との対話を描く「満月の下の赤い海」など3編の小説と対談を収録する。『すばる』掲載を書籍化。

読売新聞 2022/07/03

2022:7./ 341p
978-4-910214-37-5
¥3,300〔税込〕



マイホーム山谷

末並 俊司 著
小学館

東京・山谷にあるホームレスの人のためのホスピス施設「きぼうのいえ」。創設者で施設長だった山本雅基は、現在解任され介護を<受ける側>に。ドヤ街で「理想のケア」を追い求めた男の栄光と挫折を記したノンフィクション。

読売新聞 2022/07/03、毎日新聞 2022/07/30

2022:5./ 245p
978-4-09-388857-8
¥1,650〔税込〕



地獄変・邪宗門・好色・藪の中～他七篇～ 改版(岩波文庫)

芥川 龍之介 著
岩波書店
読売新聞 2022/07/10

1980:4./ 243p
978-4-00-310702-7
¥704〔税込〕





ペイルート 961 時間〜とそれに伴う 321 皿の料理〜

関口 涼子 著

講談社

戦争の傷跡が色濃く残る街で、わたしは人々に食べ物の話を聞く。多彩な声と仕草で語られる物語は、万華鏡のように街の肖像を描き出す。ペイルート、パリ、東京を往還しながら紡ぐ、多様性に満ちた「食」の思考。

読売新聞 2022/07/10

2022:4./ 278p
978-4-06-526077-7

¥1,760〔税込〕



命のクルーズ

高梨 ゆき子 著

講談社

豪華客船ダイヤモンド・プリンセス号から下船した乗客が新型コロナウイルス感染症を発症した。連日、乗客・乗員数十人の感染が判明。医師たちは感染と隣あわせで困難なミッションにあたる。生と死の極限ノンフィクション。

読売新聞 2022/07/10

2022:4./ 301p
978-4-06-527813-0

¥1,980〔税込〕



噤みの家(小学館文庫 カ3-4)

リサ・ガードナー 著

小学館

夫を銃殺した容疑で逮捕された妊娠中の妻。容疑を否認するが、彼女には16年前に父親を誤って射殺した過去が。一方、472日間にわたる監禁事件の女性生還者は、事件の報道で監禁中に被害者の男に会っていたことを知り...

読売新聞 2022/07/10

2022:4./ 569p
978-4-09-406884-9

¥1,342〔税込〕



焰(新潮文庫 ほ-15-3)

星野 智幸 著

新潮社

近隣諸国と武力衝突の危険性が高まるなか、奇妙な踊りに取りつかれる「ピンク」。突然泣き出す不思議な病が大流行する「眼魚」...。謎の災いから生き残った者たちが、祈りや驚嘆、希望を込めて語る9つの物語。

読売新聞 2022/07/10

2022:6./ 323p
978-4-10-116453-3

¥693〔税込〕



キッチン(新潮文庫)

吉本 ばなな 著

新潮社

読売新聞 2022/07/10

2002:6./ 197p
978-4-10-135913-7

¥473〔税込〕



白河夜船(新潮文庫)

吉本 ばなな 著

新潮社

読売新聞 2022/07/10

2002:9./ 194p
978-4-10-135917-5

¥539〔税込〕





ミトンとふびん

吉本 ばなな 著

新潮社

たいせつなひとの死、癒えることのない喪失を抱えて生きていく。今日もまわりつづける地球上でめぐりゆく出会いと、ちいさな光に照らされた人生のよろこびを描いた短篇集。『新潮』等掲載を単行本化。

読売新聞 2022/07/10

2021:12./ 253p
978-4-10-383412-0

¥1,760〔税込〕



経済安全保障～異形の大国、中国を直視せよ～

北村 滋／大藪 剛史 著

中央公論新社

無防備な「スパイ天国」から脱却せよ。中国の野心に目を凝らせ。前国家安全保障局長が、軍備を拡張し、一方的な現状変更も辞さない中国の野望と戦略を分析。日本を守る指針を提示し、最新の経済安全保障事情を解き明かす。

読売新聞 2022/07/10

2022:5./ 325p
978-4-12-005539-3

¥2,200〔税込〕



つぐみ(中公文庫)

吉本 ばなな 著

中央公論新社

読売新聞 2022/07/10

2000:4./ 245p
978-4-12-201883-9

¥660〔税込〕



脳は世界をどう見ているのか～知能の謎を解く「1000の脳」理論～

ジェフ・ホーキンス 著

早川書房

細胞の塊にすぎない脳に、なぜ知能が生じるのか。ビジネスと研究、AIと神経科学を行き来する異端児が、脳と人工知能の理解に革命を起こす「1000の脳」理論を解説する。

読売新聞 2022/07/10

2022:4./ 323p
978-4-15-210127-3

¥2,860〔税込〕



フェミニズムってなんですか?(文春新書 1361)

清水 晶子 著

文藝春秋

フェミニズムとは何か。フェミニズムは何を主張し、何をしてきたのか。性と身体、性暴力、結婚、スポーツ、インターセクショナルリティなど様々なトピックで考える。

Web サイト『VOGUE CHANGE』連載を加筆修正。

読売新聞 2022/07/10

2022:5./ 251p
978-4-16-661361-8

¥1,078〔税込〕



十二世紀のアニメーション～国宝絵巻物に見る映画的・アニメ的なるもの～

高畑 勲 著
徳間書店

アニメーション監督の眼が明かす、平安時代の絵巻物「信貴山縁起絵巻」「伴大納言絵詞」「鳥獣人物戯画」などの驚くべき動きの魔術。さまざまな奇想、遊び、動きにあふれる伝統絵画に現在の日本アニメの隆盛のルーツをさぐる。

読売新聞 2022/07/10

1999:3/ 151p
978-4-19-860971-9
¥3,960〔税込〕



ソーシャルX～企業と自治体でつくる「楽しい仕事」～

伊藤 大貴／伊佐治 幸泰／棚野 憲克 著
日経B P社

山積みする社会課題の解決手段が分からない行政と、解決手段は持っていても社会課題が分からない企業。官民共創の現在と未来、そして官民共創をどのように成功に導くのかについて、具体的な事例を基に解説する。

読売新聞 2022/07/10

2022:4/ 352p
978-4-296-11229-6
¥1,980〔税込〕



私と街たち<ほぼ自伝>

吉本 ばなな 著
河出書房新社

街に自分だけの歴史が積み重なり、深い色になっていく。子どもの頃に遊んだ街、父の死を見送った道…。東京の「街」から時代を描き出す、吉本ばななの自伝的エッセイ集。『新潮』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

読売新聞 2022/07/10

2022:6/ 147p
978-4-309-03043-2
¥1,650〔税込〕



信じよう信じまいと

R・L・リプレー 著
河出書房新社

人食いハマグリ、生涯立ちつづける男、71年間一睡もしなかった法律家…。笑えるものから背筋が凍る不思議なものまで、世界中から集めた「嘘のような本当の話」をユニークなイラストとともに紹介する。

読売新聞 2022/07/10

2022:6/ 188p
978-4-309-20857-2
¥1,870〔税込〕



紺青のわかれ(河出文庫 つ2-2)

塚本 邦雄 著
河出書房新社

秘めやかな愛に身を捧げ、儂い最期を迎える男たち。同じ男に想いを寄せた美術家姉弟の悲劇の物語「月蝕」、師と共に蒼の世界を求めた青年に忍び寄る悪意を描く「紺青のわかれ」など、全10篇を収録した短篇集。

読売新聞 2022/07/10

2022:6/ 300p
978-4-309-41893-3
¥1,078〔税込〕



魔女図鑑～魔女になるための11のレッスン～

マルカム・バード、岡部 史 著
金の星社
読売新聞 2022/07/10

1992:8./ 95p
978-4-323-01254-4
¥2,486〔税込〕



実家じまい終わらせました!～大赤字を出した私が専門家ととり着いた家とお墓のしまい方～

松本 明子 著
祥伝社

突然の相続、予想外の出費に慌てないために-。実家の始末を先延ばしにし、大赤字を出した松本明子が自身の体験を語るとともに、3人の専門家に「空き家になった実家の後始末」「家財や遺品の整理」「墓じまい」について聞く。

2022:6./ 252p
978-4-396-61786-8
¥1,650〔税込〕



読売新聞 2022/07/10



子育て世代のための快適移住マニュアル～知っておきたい、田舎でできる仕事・お金・子育て・地域のおつきあい～

金丸 知弘 著
誠文堂新光社

東京から和歌山の山奥の村に、妻と娘の3人で移住した著者が、自身の快適移住ライフや移住前に知っておきたいこと、失敗しない移住の手続きとお金について解説。田舎暮らしを楽しむ達人たちのケースも紹介する。

2022:5./ 223p
978-4-416-52210-3
¥1,760〔税込〕



読売新聞 2022/07/10



報道記録東京2020オリンピック・パラリンピック

読売新聞取材班 編
読売新聞東京本社

東京2020オリンピック・パラリンピックを振り返るとともに、アスリートや関係者たちのエピソードなどを紹介する。『読売新聞』が報じた記事の紙面画像、浅田次郎・重松清の特別寄稿も掲載。

2022:6./ 565p
978-4-643-22007-0
¥2,750〔税込〕



読売新聞 2022/07/10



攻撃される知識の歴史～なぜ図書館とアーカイブは破壊され続けるのか～

リチャード オヴェンデン 著
柏書房

土に埋もれた粘土板のかけら、焚きつけにされたパピルス、2度焼かれた図書館…。過去に起きた図書館や公文書館の破壊だけでなく、ライブラリアンやアーキビストがそれにどう立ち向かったか、彼らの功績を取り上げる。

2022:4./ 392p
978-4-7601-5442-5
¥3,300〔税込〕



読売新聞 2022/07/10



ゆるふわカエル図鑑～迷子のオタマジャクシが出会った不思議なカエルたち～

じゅえき太郎 著
彩図社

雨を予知できるアマガエル、強力などくをもつヒキガエル、日本一美しいイシカワガエル、木の上に住むモリアオガエル…。日本各地に暮らすカエルたちを、フルカラーの漫画で紹介する。

読売新聞 2022/07/10

2022:4./ 125p
978-4-8013-0600-4
¥1,320〔税込〕



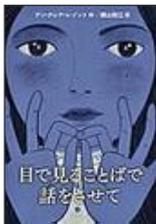
キャッチ・アンド・キル

ローナン・ファロー 著
文藝春秋

キャッチ・アンド・キル(捕えて殺す)とは何か。スパイの暗躍、大手メディアの裏切り。ハーヴェイ・ワインスタインの性的虐待疑惑をスクープした著者が、政界・司法界に及ぶアメリカの巨大な闇を暴いたノンフィクション。

読売新聞 2022/07/10、東京・中日新聞 2022/07/24

2022:4./ 493p
978-4-16-391526-5
¥2,530〔税込〕



目で見ることばで話をさせて

アン・クレア・レゾット 著
岩波書店

11歳の少女メアリーは、島のだれとでも手話で話し、いきいきと暮らしている。ある日傲慢な科学者に誘拐され、ことばと自由を奪われて…。かつてだれもが手話で話したという実在の島を舞台にした歴史フィクション。

読売新聞 2022/07/17

2022:4./ 309p
978-4-00-116032-1
¥2,310〔税込〕



画聖雪舟の素顔～天橋立図に隠された謎～(朝日新書 860)

島尾新 著
朝日新聞出版

雪舟が最晩年に描いた「天橋立図」は“諜報”の最高傑作!? 禅宗の世界と五山文学から、政治史、芸能、中世神話、日明交渉史や中国の地方誌・寺誌まで、さまざまな情報をもとに雪舟の人生と国宝の一幅の謎を読み解く。

読売新聞 2022/07/17

2022:4./ 263p
978-4-02-295166-3
¥935〔税込〕



忍者とは何か～忍法・手裏剣・黒装束～(角川選書 661)

吉丸 雄哉 著
KADOKAWA

忍者はいつから黒装束・黒覆面で、手裏剣を投げるようになったのか? 忍者文学研究の第一人者が、“作られたイメージ”の謎を追う。小説、漫画、マンガ、ドラマなどに描かれた「虚像」の変遷を通史的に解き明かす。

読売新聞 2022/07/17

2022:4./ 470p
978-4-04-703623-9
¥2,640〔税込〕





水中翼船炎上中

穂村 弘 著

講談社

全員がアトムとウランの髪型の入学式よ光るはなびら 真夜中のスマートフォンに囁いている基地からの距離を知るため 子ども時代、昭和の終焉、母の死、そして現在…。

328 首を収めた 17 年ぶり、4 冊目の個人歌集。

読売新聞 2022/07/17

2018:5./ 202p
978-4-06-221056-0

¥2,530〔税込〕



シンジケート 新装版

穂村 弘 著

講談社

「風の夜初めて火をみる猫の目の君がかぶりを振る十二月」 水滴が雪になるようにことばが結晶化して歌になる。そんなピカピカの恋を詠んだ、現代短歌を代表する穂村弘のデビュー歌集。本体は背表紙なし糸綴じ。

読売新聞 2022/07/17

2021:5./ 139p
978-4-06-523212-5

¥2,530〔税込〕



私たちが声を上げるとき〜アメリカを変えた 10 の問い〜(集英社新書 1118)

和泉 真澄／坂下 史子／土屋 和代／三牧 聖子／吉原 真里 著

集英社

大坂なおみ、ステイシー・エイブラムス、ルース・ベイダー・ギンズバーグ…。勇気をもって声を上げた女性たちの 10 の“瞬間”を取り上げ、「声を上げる」ことで何が起きたのかなどを 5 人の女性アメリカ研究者が分析する。

読売新聞 2022/07/17

2022:6./ 286p
978-4-08-721218-1

¥1,100〔税込〕



ホテルロイヤル(集英社文庫 さ 59-1)

桜木 紫乃 著

集英社

北国の湿原を背にするラブホテル。生活に諦念や倦怠を感じる男と女は“非日常”を求めてその扉を開く。ささやかな昂揚の後、彼らは安らぎと寂しさを手に、部屋を出て行く…。人生の一瞬の煌めきを鮮やかに描く全 7 編。

読売新聞 2022/07/17

2015:6./ 217p
978-4-08-745325-6

¥550〔税込〕



家族じまい

桜木 紫乃 著

集英社

認知症の母と、齢を重ねても横暴な父。両親の老いに姉妹は戸惑い、それぞれ夫との仲も揺れて…。大人の諦観と慈愛に満ちた長編小説。『小説すばる』掲載を加筆し単行本化。

読売新聞 2022/07/17

2020:6./ 271p
978-4-08-771714-3

¥1,760〔税込〕





ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー～The Real British Secondary School Days～(新潮文庫 ふ-57-2)

ブレイディ みかこ 著

新潮社

優等生の「ぼく」が通い始めたのは、人種も貧富もごちゃまぜの「元・底辺中学校」。世界の縮図のような日常を、思春期真っ只中の「ぼく」と著者である母は、ともに考え悩み乗り越え…。

読売新聞 2022/07/17

2021:7./ 332p
978-4-10-101752-5

¥693〔税込〕



緋の河(新潮文庫 さ-82-5)

桜木 紫乃 著

新潮社

昭和の釧路。色白小柄で幼少期から「女になりかけ」とからかわれた秀男は、自分が自分らしく生きるため、逆境に立ち向かい、やがて札幌、東京、大阪の夜の街、そして芸能界へ道を切り拓き…。カルーセル麻紀を題材にした物語。

読売新聞 2022/07/17

2022:4./ 638p
978-4-10-125485-2

¥1,045〔税込〕



孤蝶の城

桜木 紫乃 著

新潮社

秀男はモロッコで手術を受け、日本で初めて「女の体」を手に入れるが、やがて追い詰められていき…。自己と闘う思春期を描いた『緋の河』に続き、世間と闘う激動期を活写する。『小説新潮』連載を書籍化。

読売新聞 2022/07/17

2022:5./ 472p
978-4-10-327726-2

¥2,090〔税込〕



掃除機探偵の推理と冒険(ハヤカワ文庫 JA 1523)

そえだ 信 著

早川書房

札幌方面西方警察署刑事課勤務の勢太は、交通事故に遭い、目覚めると…ロボット掃除機となっていた。しかもそばには中年男性の死体が。こんな姿になっても義父からDVを受けて勢太が保護した姪を護らねば! 掃除機ミステリ。

読売新聞 2022/07/17

2022:5./ 377p
978-4-15-031523-8

¥1,078〔税込〕



氷平線(文春文庫 さ 56-1)

桜木 紫乃 著

文藝春秋

真っ白に海が凍るオホーツク沿岸の町で、静かに再会した男と女の凄烈な愛を描いた表題作、酪農の地を継ぐ者たちの悲しみと希望を牧草匂う交歓の裏に映し出した「雪虫」など、全6編を収録。

読売新聞 2022/07/17

2012:4./ 262p
978-4-16-783601-6

¥682〔税込〕





大衆の狂気～ジェンダー・人種・アイデンティティ～

ダグラス・マレー 著

徳間書店

LGBT、フェミニズム、反レイシズムなどをめぐる同調圧力と矛盾、激化するマイノリティ間の新たな対立。「差別主義者」というレッテル張りで異論を封殺、行き過ぎた「多様性尊重」がもたらした社会分断と憎悪の実態に迫る。

読売新聞 2022/07/17

2022:3./ 500p
978-4-19-865446-7

¥3,080〔税込〕



図説江戸のカルチャー 教養書・実用書の世界

深光 富士男 著

河出書房新社

出版文化が開いた江戸時代。美容書、図案集、買物案内から百科事典まで、ありとあらゆる「役立つ本」が作られた。当時の読者に頼りにされた絵入り教養書・実用書の数々をビジュアルたっぷりに紹介する。

読売新聞 2022/07/17

2022:3./ 127p
978-4-309-22850-1

¥3,080〔税込〕



短歌の友人(河出文庫 ほ 6-2)

穂村 弘 著

河出書房新社

現代短歌はどこから来てどこへ行く？ 短歌の「面白さ」から世界の「面白さ」へ——酸欠世界のオデッセイ。伊藤整文学賞受賞作。

読売新聞 2022/07/17

2011:2./ 269p
978-4-309-41065-4

¥759〔税込〕



独裁者のデザイン～ヒトラー、ムッソリーニ、スターリン、毛沢東の手法～ (河出文庫 ま 23-1)

松田 行正 著

河出書房新社

デザインは運用の仕方によって希望にも刃にもなる。ヒトラーを中心に、独裁者たちがプロパガンダを駆使してどのように大衆を踊らせ、抑圧していったかを、デザインの観点から見直す。図版も多数収録。

読売新聞 2022/07/17

2022:6./ 395p
978-4-309-41894-0

¥1,650〔税込〕



トキワ荘青春日記～+プラス+まんが道～

藤子不二雄A 著

光文社

漫画家という職業を選んだひとりの青年の、夢と希望、不安と苦しみ、そして仲間たちとの温かな交流をつづった「トキワ荘青春日記」を、自伝的漫画「まんが道」を挿絵として新装復刊。

読売新聞 2022/07/17

2022:6./ 302p
978-4-334-95279-2

¥2,475〔税込〕





禅僧たちの生涯～唐代の禅～

小川 隆 著
春秋社

出家、受戒、行脚、安居、開悟…。唐代の禅僧たちの生涯の順序をたどりながら、どんな生活空間や制度・習慣の下、どんな思考や情緒とともに生きていたのか、彼らの生き方や言葉のまま描き出す。『大法輪』連載を書籍化。

2022:4./ 9p,304p
978-4-393-13806-9
¥2,640〔税込〕



読売新聞 2022/07/17



中国禅宗史～「禅の語録」導読～(ちくま学芸文庫 オ 31-1)

小川 隆 著
筑摩書房

伝灯、清規、問答、語録…。「禅」は、こうして「禅宗」となった! 「禅宗」の特徴と歴史を、「禅の語録」の解説に基づきつつ、簡明に描き出す中国禅宗概論。「語録」の世界へ踏み込むための、格好の案内書。

2020:4./ 376p,21p
978-4-480-09964-8
¥1,430〔税込〕



読売新聞 2022/07/17



西洋の自死～移民・アイデンティティ・イスラム～

ダグラス・マレー、町田 敦夫 著
東洋経済新報社

シリア難民・移民問題をめぐり当事者、賛成派、反対派などを徹底取材した英国の新進気鋭ジャーナリストが、欧州と西洋文明の終焉を予測。移民の受け入れによって、欧州の社会や文化が壊死しつつある姿を克明に描く。

2018:12./ 512p,14p
978-4-492-44450-4
¥3,080〔税込〕



読売新聞 2022/07/17



忍者の誕生

山田 雄司 編
勉誠出版

現代における「忍者像」はどのように形成され、中国・韓国でどう受容されているのか。忍術書・忍具、アジア圏の忍者の小説・漫画などから、忍者の戦術・精神性を解明する。2014年開催の国際シンポジウムをもとに書籍化。

2017:3./
10p,305p,15p
978-4-585-22151-7
¥3,960〔税込〕



読売新聞 2022/07/17



両手にトカレフ

ブレイディみかこ 著
ポプラ社

14歳のミアは、学校では自分の重い現実を誰にも話せなかった。けれど、同級生のウィルにラップのリリックを書いてほしいと頼まれたことで、「世界」が少しずつ変わり始めて…。『asta*』他連載を加筆修正。

2022:6./ 265p
978-4-591-17399-2
¥1,650〔税込〕



読売新聞 2022/07/17



子どもたちの階級闘争〜ブローケン・ブリテンの無料託児所から〜

ブレイディみかこ 著
みすず書房

地べたのポリティクスとは生きることであり、暮らすことだ。在英 20 年余の保育士ライターが、移民問題をはじめ、英国と EU 圏が抱える重層的な課題を背景に、保育の現場から格差と分断の情景をミクروسコピックに描き出す。

読売新聞 2022/07/17

2017:4./ 285p
978-4-622-08603-1

¥2,640 [税込]



生きつづける民家〜保存と再生の建築史〜(歴史文化ライブラリー 548)

中村 琢巳 著
吉川弘文館

庶民の住宅=民家は、いかにして今日まで受け継がれてきたのか。メンテナンスを繰り返し、部材がリサイクルされる民家の特性を解明し、間取りや構造、自然素材、伝統技術などからも、秘められた価値を見つめ直す。

読売新聞 2022/07/17

2022:5./ 8p,243p
978-4-642-05948-0

¥1,980 [税込]



チェコに学ぶ「作る」の魔力

あまの さくや 著
かもがわ出版

絵はんこ作家が、愛するチェコの文化や人びととの出会いを通して、チェコに息づく「作る」ことの根源的な魅力と不思議なパワーを探る。写真・絵はんこ・マンガも多数収録し、絵はんこの彫り方も掲載する。

読売新聞 2022/07/17

2022:5./ 185p
978-4-7803-1221-8

¥1,760 [税込]



いずれすべては海の中に(竹書房文庫 ぴ2-2)

サラ・ピンスカー 著
竹書房

最新の義手が道路と繋がった男の話「一筋に伸びる二車線のハイウェイ」、世代間宇宙船の中で受け継がれる記憶と歴史と音楽「風はさまよう」など全 13 篇を収録する。静かな筆致で描かれる、不思議で愛おしい、奇想短篇集。

読売新聞 2022/07/17

2022:6./ 454p
978-4-8019-3117-6

¥1,760 [税込]



近世民家普請と資源保全

中村 琢巳 著
中央公論美術出版

江戸時代後期から明治期に至る「19 世紀」における民家を対象とし、その生涯が辿る様々な局面に着目することで、古い建物を廃棄することなく使い続けていた建築活動を把握する。飛騨地方の民家絵図集も収録。

読売新聞 2022/07/17

2015:2./ 308p
978-4-8055-0730-8

¥11,000 [税込]





アンネ・フランクはひとりじゃなかった～アムステルダムの小さな広場 1933-1945～

リアン・フェルーフエン 著
みすず書房

隠れ家に潜むまで、アンネ・フランクは親友たちと広場を闊歩していた。しかし戦争でみんなの運命は引き裂かれる。ユダヤ人住民の日常、祭り、迫害、密告、抵抗の一部始終を、元住民へのインタビューや史料の渉猟から再現する。

読売新聞 2022/07/17、産経新聞 2022/07/24、日本経済新聞 2022/07/30

2022:6./ 6p,365p,35p
978-4-622-09090-8

¥4,620〔税込〕



アンネの日記 増補新訂版

アンネ・フランク 著
文藝春秋

新しい冗談とか悪戯などを思いつく張本人。いつもお山の大将で、不機嫌になることがなく、けっしてめそめそ泣いたりしない。等身大のアンネがよみがえる。未発表の日記を追加し、ルビを増やして中学生から読める、増補新訂版。

読売新聞 2022/07/17、日本経済新聞 2022/07/30

2003:4./ 600p
978-4-16-359610-5

¥2,090〔税込〕



ブッデンブローク 家の人びと<上>(岩波文庫 赤 433-1)

トーマス・マン 著
岩波書店
読売新聞 2022/07/24

1969:9./ 357p
978-4-00-324331-2

¥1,012〔税込〕



ブッデンブローク 家の人びと<中>(岩波文庫 赤 433-2)

トーマス・マン 著
岩波書店
読売新聞 2022/07/24

1969:10./ 373p
978-4-00-324332-9

¥1,067〔税込〕



ブッデンブローク 家の人びと<下>(岩波文庫 赤 433-3)

トーマス・マン 著
岩波書店
読売新聞 2022/07/24

1969:11./ 367p
978-4-00-324333-6

¥1,067〔税込〕



ヴェニスに死す 改版(岩波文庫)

マン, T. (トーマス) 著
岩波書店
マンの代表作を名訳の改版にておくる

読売新聞 2022/07/24

2000:5./ 167p
978-4-00-324341-1

¥572〔税込〕



ファウスト博士<上>(岩波文庫)

トーマス・マン 著
岩波書店
読売新聞 2022/07/24

1996:3./ 304p
978-4-00-324344-2

¥858〔税込〕



ファウスト博士<中>(岩波文庫)

トーマス・マン 著

岩波書店

読売新聞 2022/07/24

1996:3./ 325p
978-4-00-324345-9

¥858 [税込]



ファウスト博士<下>(岩波文庫)

トーマス・マン 著

岩波書店

読売新聞 2022/07/24

1996:3./ 291p
978-4-00-324346-6

¥792 [税込]



森と木と建築の日本史(岩波新書 新赤版 1926)

海野 聡 著

岩波書店

日本の歴史とは、木とともに歩んだ歴史である。森のめぐみを楽しんだ先史時代から、森との共生をみざす現代まで、建築のみならず流通にも着目し、考古・民俗・技術などの知見も駆使して、人びとが育んだ「木の文化」を描く。

読売新聞 2022/07/24

2022:4./ 3p,255p,2p
978-4-00-431926-9

¥990 [税込]



おそろし〜三島屋変調百物語事始〜(角川文庫 み 28-51)

宮部 みゆき 著

角川書店

17歳のおちかは、ある事件をきっかけに心を閉ざしてしまった。ある日、叔父はおちかに客を任せて出かけてしまう。おそろおそろ客と会ったおちかだったが、次第に客たちの話に引き込まれ…。哀切にして不可思議な「百物語」。

読売新聞 2022/07/24

2012:4./ 489p
978-4-04-100281-0

¥792 [税込]



ガラス玉遊戯<上巻>(角川文庫)

ヘルマン・ヘッセ、井手貢夫 著

角川書店

読売新聞 2022/07/24

1990:11./ 327p
978-4-04-207913-2

¥630 [税込]



草木とともに〜牧野富太郎自伝〜(角川ソフィア文庫 L207-1)

牧野 富太郎 著

KADOKAWA

独学で植物学をおさめ、数多くの新種を発見した近代植物分類学の権威、牧野富太郎。94年にわたる生涯すべてを植物研究に捧げた彼の人生に沿って編んだ随筆集。いとうせいこうの解説も収録。

読売新聞 2022/07/24

2022:6./ 276p
978-4-04-400709-6

¥880 [税込]



玩具(集英社文庫)

津村 節子 著

集英社

読売新聞 2022/07/24

1997:6./ 284p
978-4-08-750182-7

¥586 [税込]





かくも甘き果実

モニク・トゥルン／吉田 恭子 著
集英社

ラファディオ・ハーンの生みの母ローザ・アントニア・カシマチ、最初の妻アリシア・フォーリー、2番目の妻小泉セツ。ハーンを愛した3人の女性たちの「声」を、繊細かつ鮮やかに描いた伝記的フィクション。

読売新聞 2022/07/24

2022:4./ 317p
978-4-08-773517-8

¥2,640〔税込〕



破獄 改版(新潮文庫 よ-5-21)

吉村 昭 著
新潮社

読売新聞 2022/07/24

2011:11./ 442p
978-4-10-111721-8

¥781〔税込〕



長英逃亡<上> 改版(新潮文庫 よ-5-25)

吉村 昭 著
新潮社

読売新聞 2022/07/24

2011:11./ 467p
978-4-10-111725-6

¥781〔税込〕



長英逃亡<下> 改版(新潮文庫 よ-5-26)

吉村 昭 著
新潮社

読売新聞 2022/07/24

2011:11./ 475p
978-4-10-111726-3

¥781〔税込〕



桜田門外ノ変<下巻>(新潮文庫)

吉村 昭 著
新潮社

読売新聞 2022/07/24

1995:4./ 371p
978-4-10-111734-8

¥737〔税込〕



彰義隊(新潮文庫)

吉村 昭 著
新潮社

読売新聞 2022/07/24

2008:12./ 468p
978-4-10-111750-8

¥825〔税込〕



데미안 改版(新潮文庫)

ヘルマン・ヘッセ 著
新潮社

読売新聞 2022/07/24

2007:5./ 254p
978-4-10-200102-8

¥572〔税込〕





車輪の下(新潮文庫 新潮文庫 へ-1-3)

ヘルマン・ヘッセ 著

新潮社

ひたむきな自然児であるだけに傷つきやすい少年ハンスは、勉強にうちこみ、神学校の入学試験に通るが、そこでの生活は少年の心理を踏みにじる規則づくめなものだった。彼は学校を去って見習い工として出なおそうとし…。

読売新聞 2022/07/24

1951:11./ 304p
978-4-10-200103-5

¥440〔税込〕



トニオ・クレーゲル ヴェニスに死す 改版(新潮文庫)

トーマス・マン 著

新潮社

読売新聞 2022/07/24

1995:12./ 228p
978-4-10-202201-6

¥572〔税込〕



魔の山<上巻> 改版(新潮文庫)

トーマス・マン 著

新潮社

読売新聞 2022/07/24

2005:6./ 710p
978-4-10-202202-3

¥1,100〔税込〕



魔の山<下巻> 改版(新潮文庫)

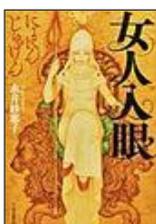
トーマス・マン 著

新潮社

読売新聞 2022/07/24

2005:6./ 806p
978-4-10-202203-0

¥1,155〔税込〕



女人入眼

永井 紗耶子 著

中央公論新社

京の六条殿に仕える女房・周子は、源頼朝と北条政子の娘・大姫を入内させるという命を受けて鎌倉へ。繊細な心を持つ大姫と、目的のためには手段を選ばない政子。周子が辿り着いた、母子の間に横たわる悲しき過去とは-

読売新聞 2022/07/24

2022:4./ 307p
978-4-12-005522-5

¥1,870〔税込〕



残像に口紅を 復刻版

筒井 康隆 著

中央公論新社

「あ」が使えなくなると、「愛」も「あなた」も消えてしまった-。言葉が消滅していくなかで、執筆し、飲食し、講演し、交情する小説家を描いた実験的長篇小説を袋綴じごと完全復刻。本文の後半部分が袋綴じ。

読売新聞 2022/07/24

2022:7./ 236p
978-4-12-005552-2

¥1,980〔税込〕





聯合艦隊～「海軍の象徴」の実像～(中公選書 127)

木村 聡 著
中央公論新社

臨時組織に過ぎなかった聯合艦隊は日露戦争の栄光で常置される。だが、「精兵主義」「海上本位主義」は現実と合わなくなり、陸海軍の作戦始動の分裂原因となり…。聯合艦隊を政治史や外交史、社会との関わりに注目して描く。

読売新聞 2022/07/24

2022:5./ 10p,236p
978-4-12-110127-3

¥1,870〔税込〕



あとは切手を、一枚貼るだけ(中公文庫 お51-7)

小川 洋子／堀江 敏幸 著
中央公論新社

かつて愛し合い、今は離ればなれに生きる「私」と「ぼく」。2人を隔てた、取りかえしのつかない出来事。14通の手紙に編み込まれた哀しい秘密とは…。小川洋子と堀江敏幸の対談も収録。

読売新聞 2022/07/24

2022:6./ 309p
978-4-12-207215-2

¥770〔税込〕



香君<上> 西から来た少女

上橋 菜穂子 著
文藝春秋

奇跡の稲、オアレ稲をもたらし、香りで万象を知るといふ活神<香君>の庇護のもと、帝国は発展を続けてきた。あるとき、オアレ稲に虫害が発生する。人並外れた嗅覚をもつ少女アイシャは、オアレ稲に秘められた謎と向き合い…。

読売新聞 2022/07/24

2022:3./ 435p
978-4-16-391515-9

¥1,870〔税込〕



香君<下> 遙かな道

上橋 菜穂子 著
文藝春秋

オアレ稲に依存してきた帝国に危機が訪れる。次々と災いの連鎖が起きていくなかで、アイシャは、仲間たちとともに、必死に飢餓を回避しようとするのだが…。異郷から風が吹くとき、アイシャたちの運命は大きく動きはじめる。

読売新聞 2022/07/24

2022:3./ 460p
978-4-16-391516-6

¥1,870〔税込〕



バイロイトのフルトヴェングラー～バルバラ・フレーメル夫人の独白～

眞峯 紀一郎／中山 実 編
バルバラ フレーメル 著

音楽之友社

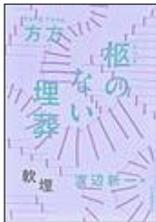
1931年にバイロイト音楽祭に出演したフルトヴェングラーが滞在所として選んだフォイステル家。その次女バルバラによる貴重な証言と手紙、写真を多数収録し、素顔のフルトヴェングラーに迫る。『音楽の友』連載を書籍化。

読売新聞 2022/07/24

2022:4./ 143p
978-4-276-21703-4

¥2,200〔税込〕





柩のない埋葬

方方 著
河出書房新社

中華人民共和国成立後の土地改革によって翻弄され、記憶を失った一人の女。その波乱の人生の秘密が明かされたとき、浮かび上がる「人が生きる意味」とは-。中国本国で発禁処分になった長編小説。

読売新聞 2022/07/24

2022:4./ 373p
978-4-309-20849-7
¥3,025〔税込〕



ペーター・カーメンツィント(光文社古典新訳文庫 KA へ3-3)

ヘッセ 著
光文社

文筆家を目指し都会に出たペーター。友を得、恋もしたが、都会生活の虚しさから異郷を放浪した末、生まれ故郷に戻り…。青春の苦悩、故郷への思いを、孤独な魂を抱えて生きてきた初老の独身男性の半生として綴ったデビュー作。

読売新聞 2022/07/24

2019:6./ 304p
978-4-334-75404-4
¥924〔税込〕



ベートーヴェン症候群～音楽を自伝として聴く～

マーク・エヴァン・ボンズ 著
春秋社

ベートーヴェンの交響曲に彼の「人生の苦悩」を、モーツァルトのソナタに「母を喪った悲しみ」を…。音楽に作曲家の人生を読み取ろうとする「症候群」。あらゆる音楽の聴取に大きな影響を及ぼしてきたその実態を解き明かす。

読売新聞 2022/07/24

2022:4./ 8p,351p,61p
978-4-393-93222-3
¥3,850〔税込〕



よみぐすり

坂口 恭平 著
東京書籍

一つ楽しめることを知ると、一つ人に優しくなれるよ-。自身の携帯電話の番号を公表し、“死にたい人”の話を聞き続けている著者が、Twitter に書き残してきた膨大な「死にたい」に代わる言葉を厳選して収録する。

読売新聞 2022/07/24

2022:6./ 157p
978-4-487-81609-5
¥1,100〔税込〕



古建築を復元する～過去と現在の架け橋～(歴史文化ライブラリー 444)

海野 聡 著
吉川弘文館

当時の姿を思い描くことができる、各地の遺跡の復元建物。その設計はどのように行われているのか。発掘遺構や遺物、現存する古代建築、絵画資料など、あらゆるピースを組み合わせて完成する復元の世界の魅力に迫る。

読売新聞 2022/07/24

2017:3./ 5p,259p
978-4-642-05844-5
¥1,980〔税込〕





「平和宣言」全文を読む～ナガサキの願い～(早稲田新書 012)

早稲田大学出版部 編
早稲田大学出版部

8月9日に長崎市長が読み上げる「長崎平和宣言」を、2021年から1948年へと時代を遡って掲載する。現長崎市長・田上富久のインタビュー、長崎大学核兵器廃絶研究センター長・吉田文彦の解説も収録。

読売新聞 2022/07/24

2022:6./ 260p
978-4-657-22007-3
¥990〔税込〕



日本建築史講義～木造建築がひもとく技術と社会～

海野 聡 著
学芸出版社

なぜその時代に、その材料が、技術が変化したのか？歴史資料をベースに、日本の木造建築の成り立ちを政治・経済・宗教など社会背景とともに語る。2019～2020年度に行われた東京大学での講義をまとめる。

読売新聞 2022/07/24

2022:5./ 447p
978-4-7615-2816-4
¥3,300〔税込〕



メンタルクリニックの社会学～雑居する精神医療とところを診てもらう人々～

榎原克哉 著
青土社

生きづらさをかかえる人びとに寄り添う社会学。メンタルクリニックへの接近と離反を繰り返す患者、そしてそれに寄り添うスタッフへのインタビューを主軸に、現代の自己変容のかたちを紐解く。

読売新聞 2022/07/24

2022:6./ 309p,22p
978-4-7917-7482-1
¥2,640〔税込〕



子どもに言った言葉は必ず親に返ってくる～思春期の子が素直になる話し方～(草思社文庫 ギ1-2)

ハイム・G・ギノット 著
草思社

思春期の子にとって、親の助けは干渉、心配は子ども扱い、忠告は親のエゴ。思春期の子が反発しない親の聞き方、話し方を教えます。「子どもの話にどんな返事をしますか？」の思春期版。

読売新聞 2022/07/24

2022:4./ 244p
978-4-7942-2574-0
¥990〔税込〕



紅色のあじさい～津村節子自選作品集～

津村 節子 著
鳥影社

『季刊文科』に掲載されたエッセイを中心に、夫・吉村昭の没後に追悼企画として収録された大河内昭爾との対談、自身の半生を語った中沢けいとの対談などを掲載。多くの作家が競い合った文業華やかな時代へと誘う自選作品集。

読売新聞 2022/07/24

2022:6./ 279p
978-4-86265-953-8
¥1,980〔税込〕





酒の『徒然草』～ほろ酔いばなし～

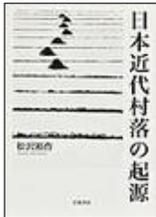
横田 弘幸 著
敬文舎

心して「徒然草」を読めば、酒を嗜み、人生の一瞬をいとおしむ人間・兼好の姿が見えてくる。「徒然草」から酒に関する話を取り上げ、酒の呑み方と楽しみ方、心構えを伝える。「酒の日本文化史」の姉妹編。

読売新聞 2022/07/24

2022:5./ 255p
978-4-906822-48-5

¥1,760〔税込〕



日本近代村落の起源

松沢 裕作 著
岩波書店

村請制に支えられてきた秩序を崩壊させた地租改正による近世村落の解体。人々は力を持たない政府の裁定を仰ぎ、相互監視の規約を改めて交わした。近世・近代移行期における日本社会の根本的な変容を描く。

読売新聞 2022/07/31

2022:5./ 13p,317p,8p
978-4-00-061534-1

¥8,580〔税込〕



魔女の宅急便<1> 新装版(角川文庫 か61-1)

角野 栄子 著
KADOKAWA

満月の夜、黒猫のジジを相棒にほうきで空に飛び立った13歳の魔女・キキは、コリコという海辺の町で宅急便屋さんを開くことに…。落ち込んだり励まされたりしながら、健やかに成長していくキキの姿を描く。

読売新聞 2022/07/31

2015:6./ 241p
978-4-04-103185-8

¥616〔税込〕



バッテリー(角川文庫)

あさの あつこ 著
角川書店

岡山県境の地方都市・新田に引っ越してきた12歳の原田巧。天才ピッチャーとしての強い自負を持つ巧の前に、彼とバッテリーを組むことを熱望する同級生の永倉豪が現れる。刊行当初より子供から大人まで圧倒的な支持を得て、数々のメディア化されたあさのあつこの傑作『バッテリー』。シリーズ累計1000万部に及ぶ大ヒットシリーズの、伝説の第一作！

読売新聞 2022/07/31

2003:12./ 262p
978-4-04-372101-6

¥572〔税込〕



弾丸メシ(集英社文庫 と23-19)

堂場 瞬一 著
集英社

必ず日帰り、食事は1時間以内、絶対に残さない。3つの掟をもとに弾丸旅行でご当地名物を食べに行くグルメエッセイ。平松洋子との対談も収録。「番外編2 京都学生メシ」を加え文庫化。

読売新聞 2022/07/31

2022:6./ 234p
978-4-08-744400-1

¥638〔税込〕





おれのおばさん(集英社文庫 さ 52-1)

佐川 光晴 著
集英社

東京の名門校に通うエリート中学生・陽介は、父の逮捕によって生活が一変。母の姉で元女優の変わり者のおばさんが営む札幌の養護施設で暮らすことに…。ときに繊細で、たくましい少年たちの成長を描いた青春小説。

読売新聞 2022/07/31

2013:3./ 216p
978-4-08-745050-7
¥495〔税込〕



オーダーメイド殺人クラブ(集英社文庫 つ 21-1)

辻村 深月 著
集英社

中学2年の4月、突然友人たちから無視されるようになったアンは、同級生の「イケてない男子」徳川の言葉をきっかけに仲直りする。しかし、絶望感を抱いたアンは、徳川に自分を殺してと頼み…。

読売新聞 2022/07/31

2015:5./ 472p
978-4-08-745313-3
¥924〔税込〕



Masato(集英社文庫 い 77-1)

岩城 けい 著
集英社

父親の転勤とともに、家族全員でオーストラリアに引越し、現地の小学校に通うことになった真人。言語の壁を乗り越え逞しく成長するが…。少年とその家族の<故郷の物語>。

読売新聞 2022/07/31

2017:10./ 238p
978-4-08-745648-6
¥550〔税込〕



写真家白洲次郎の眼～愛機ライカで切り取った1930年代～

渡辺 倫明 編
牧山桂子 著
小学館

第2の故郷・英国、欧米各地で交流を結んだ紳士たち、妻・正子。若き日に心震わせた風景や人物が鮮やかに甦る。30代の白洲次郎が愛機ライカで撮影した写真を収録。旅行用トランクやゴルフクラブなど、次郎の愛用品も紹介。

読売新聞 2022/07/31

2022:5./ 192p
978-4-09-682401-6
¥3,520〔税込〕



ぶらんこ乗り(新潮文庫)

いしい しんじ 著
新潮社

読売新聞 2022/07/31

2004:7./ 269p
978-4-10-106921-0
¥605〔税込〕





本屋さんのダイアナ(新潮文庫 ゆ-14-2)

柚木 麻子 著
新潮社

「大穴(ダイアナ)」という名前、金色に染めた髪、行方知れずの父親。孤独なダイアナに本の世界と同級生の彩子だけが光を与えてくれた…。少女から大人への輝ける瞬間を描く。

読売新聞 2022/07/31

2016:7./ 386p
978-4-10-120242-6
¥693〔税込〕



西の魔女が死んだ(新潮文庫)

梨木 香歩 著
新潮社

読売新聞 2022/07/31

2001:7./ 226p
978-4-10-125332-9
¥605〔税込〕



夏の庭～The friends～ 改版(新潮文庫)

湯本 香樹実 著
新潮社

読売新聞 2022/07/31

2001:5./ 218p
978-4-10-131511-9
¥572〔税込〕



桑田佳祐論(新潮新書 954)

スージー鈴木 著
新潮社

「勝手にシンドバッド」「いとしのエリー」「真夜中のダンディー」…。日本語を巧みにビートに乗せ、独創的な言葉を紡いできた桑田佳祐ははたして何を歌ってきたのか。サザンからソロまで26の楽曲の歌詞を徹底分析する。

読売新聞 2022/07/31

2022:6./ 269p
978-4-10-610954-6
¥946〔税込〕



川の光(中公文庫 ま 49-1)

松浦 寿輝 著
中央公論新社

せせらぎに守られた川辺の暮らしは、突然の工事で終わりを告げる。新天地を求めて旅に出たネズミー家は、やがて大冒険をすることに。足元で脈動する世界に優しいまなざしを向け、柔らかい魂の手触りを伝える物語。

読売新聞 2022/07/31

2018:5./ 459p
978-4-12-206582-6
¥836〔税込〕



般若心経～生まれ変わる～(中公文庫 ひ 19-6)

ひろさちや 著
中央公論新社

「いい加減」「デタラメ」「あきらめ」、般若心経はこの三つの言葉こそ仏教の根本精神だと説いている。Q&A形式で般若心経の世界をわかりやすく解説し、こころ豊かに生きる極意を教える。

読売新聞 2022/07/31

2022:6./ 225p
978-4-12-207221-3
¥858〔税込〕





明治地方自治体制の起源～近世社会の危機と制度変容～

松沢 裕作 著
東京大学出版会

近世後期から明治初年にいたる新政策の変遷によって、諸個人と権力との関係がいかに生み出され、地方自治体制が成立したのか。近世・近代移行期における政治権力の本質を解明する。

読売新聞 2022/07/31

2009:2./ 4 2 9, 8
p
978-4-13-026219-4
¥9,570〔税込〕



ドリフターズとその時代(文春新書 1364)

笹山 敬輔 著
文藝春秋

視聴率 50%を超えたおかげ番組「全員集合」はどのように生まれたのか。“完璧主義者”いかりや長介の演出術、喜劇王・志村けん...。気鋭の演劇研究者が、国民的グループ「ザ・ドリフターズ」を舞台・演劇の視点から読み解く。

読売新聞 2022/07/31

2022:6./ 302p
978-4-16-661364-9
¥968〔税込〕



カラフル(文春文庫)

森 絵都 著
文藝春秋

生前の罪で輪廻サイクルから外されたぼく。だが天使業界の抽選に当たり、自殺を図った少年の体へホームステイ。新生活が始まった。

読売新聞 2022/07/31

2007:9./ 259p
978-4-16-774101-3
¥715〔税込〕



岸辺の旅(文春文庫 ゆ 7-2)

湯本 香樹実 著
文藝春秋

3年間失踪中の夫がある夜ふいに帰ってくる。ただしその身は遠い水底で蟹に喰われたという。妻は、彼とともに死後の軌跡をさかのぼる旅に出る。永久に失われたものへの愛の強さに心震える、魂の再生の物語。

読売新聞 2022/07/31

2012:8./ 232p
978-4-16-783811-9
¥660〔税込〕



昭和芸人七人の最期(文春文庫 さ 67-1)

笹山 敬輔 著
文藝春秋

笑いの裏側にある悲哀の晩年。「同情されたらおしまい」が口癖のエノケン、浴びせられる悪口を日記に残すロッパ、コンビ再結成を夢みたエンタツなど、頂点を極めた七人の晩年に迫った芸人列伝。伊東四朗インタビューも収録。

読売新聞 2022/07/31

2016:5./ 249p
978-4-16-790625-2
¥682〔税込〕





そして、バトンは渡された(文春文庫 せ 8-3)

瀬尾 まいこ 著

文藝春秋

血の繋がらない親の間をリレーされ、4回も名字が変わった優子、17歳。父親が3人、母親が2人。だけどいつでも両親を愛し、愛されていた。身近な人が愛おしくなる、優しい物語。

読売新聞 2022/07/31

2020:9./ 425p
978-4-16-791554-4

¥814〔税込〕



家計簿からみる中国今ほんとうの姿(日経プレミアシリーズ 475)

青樹 明子 著

日経BP社

急騰する住居費・教育費に、埋められない格差、アイドルやペットに流れ出す個人資産、巨大規模のおひとりさま経済に、押し寄せる超高齢化の波…。中国中間層の家計簿を紐解き、凄まじいスピードで変化する大国の光と闇に迫る。

読売新聞 2022/07/31

2022:5./ 253p
978-4-296-11336-1

¥990〔税込〕



くまとやまねこ

湯本 香樹実 著

河出書房新社

突然、最愛の友だちのこたまりを亡くしてしまった、くま。暗く閉め切った部屋に閉じこもっていたが、ある日やまねここと出会った。やまねこは、くまのためにバイオリンを弾いてくれて…。

読売新聞 2022/07/31

2008:4./ 1冊 (ページ付なし)

978-4-309-27007-4

¥1,430〔税込〕



ただ、一緒に生きている

坂本美雨 著

光文社

子育てについて書くことは、自分を見つめることでした。2016年5月から2022年2月までの日記を、写真を添えてまとめる。『東京新聞』連載に、自らの生い立ちなど書き下ろしを加えて書籍化。佐治晴夫との対談も収録。

読売新聞 2022/07/31

2022:6./ 239p
978-4-334-95312-6

¥1,760〔税込〕



リスクを考える～「専門家まかせ」からの脱却～(ちくま新書 1661)

吉川 肇子 著

筑摩書房

日々新たなリスクが登場し、その対処に迫られる現代社会にあって、もっとも重要なのはリスクをきちんと伝え、話し合い、共有すること。社会のリスクについてコミュニケーションの視点から、心理学の研究成果をもとに解説する。

読売新聞 2022/07/31

2022:6./ 237p
978-4-480-07489-8

¥946〔税込〕





ジンセイハ、オンガクデアル(ちくま文庫 ふ 52-2)

ブレイディ みかこ 著

筑摩書房

貧窮、移民差別、DV…。社会の歪みの中で育つ、破天荒で忘れがたい子どもたち。英国の貧困層の子どもたちが集まる「底辺託児所」保育士時代を綴った初期エッセイを収録。映画・アルバム評、書評も掲載。

読売新聞 2022/07/31

2022:6./ 334p
978-4-480-43808-9

¥858〔税込〕



米露諜報秘録 1945-2020～冷戦からプーチンの謀略まで～

ティム・ワイナー 著

白水社

インターネットとソーシャルメディアを駆使したプーチンの「政治戦」とは。第二次大戦後の諜報活動と外交の深層からサイバー攻撃の脅威まで、ピューリッツァー賞受賞作家が機密解除文書を検証する。

読売新聞 2022/07/31

2022:7./ 324p,60p
978-4-560-09436-5

¥3,300〔税込〕



指輪物語<1> 新版 旅の仲間 上(1)(評論社文庫)

J.R.R.トールキン 著

評論社

読売新聞 2022/07/31

1992:7./ 252p
978-4-566-02362-8

¥770〔税込〕



きみはいい子(ポプラ文庫 な 9-1)

中脇 初枝 著

ポプラ社

17時まで帰ってくるなど言われ校庭で待つ児童と彼を見つめる新任教師、娘に手を上げてしまう母親とママ友…。同じ町、同じ雨の日の午後を描く5篇からなる連作短篇集。家族が抱える傷とそこに射すたしかな光を描き出す。

読売新聞 2022/07/31

2014:4./ 329p
978-4-591-13975-2

¥726〔税込〕



ルイジンニョ少年～ブラジルをたずねて～

かどの えいこ、福原 幸男 著

ポプラ社

ポルトガル語を教えてくれたルイジンニョ少年、多様な人々との生き生きした交流…。1959年に自費移民としてブラジルに渡航し、2年間滞在した経験を、みずみずしい筆致で描く。書き下ろしエッセイも収録。

読売新聞 2022/07/31

2019:1./ 132p
978-4-591-16118-0

¥1,980〔税込〕





おばけのアッチあかちゃんはドドン!(アッチ・コッチ・ソッチの小さなおばけ シリーズ 45)

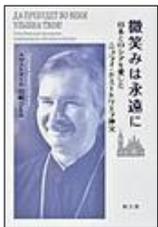
角野 栄子 著
ポプラ社

レストランがお休みの朝早く、ドララちゃんとなぞなぞモンスターの娘・マリちゃんがアッチを訪ねてきました。マリちゃんの弟のドドンのせいでドラキュラのお城が壊れそうなので、アッチに助けてほしいと言い…。

読売新聞 2022/07/31

2022:3./ 76p
978-4-591-17337-4

¥1,210〔税込〕



微笑みは永遠に~日本とロシアを愛したニコライ・ドミートリエフ神父~

スヴェトラナ山崎ひとみ 著
教文館

レニングラード神学校で出会った日本人女性と結婚し、ペレストロイカ、ソ連崩壊を経て日本へ移住したニコライ・ドミートリエフ。神父として函館ハリストス正教会で日露の文化交流に尽力するも 59 歳で逝去したその生涯を描く。

読売新聞 2022/07/31

2022:7./ 228p
978-4-7642-9995-5

¥1,650〔税込〕



ヘルパーと高齢者のちょっと素敵な時間

向山 久美 著
ドメス出版

ヘルパーとして出会った高齢者とのいろいろなできごとを、「要介護者と介護者」という関係でなく、同じ時間を共有するパートナーとしての視点から綴る。自身の「ヘルパー心得」も収録。

読売新聞 2022/07/31

2022:4./ 204p
978-4-8107-0860-8

¥1,650〔税込〕



ラジオと憲法

角田龍平 著
三オブックス

元漫才師の弁護士が出会った芸人、作家、歌手、女優、裁判官にプロレスラー。彼らから学んだ仕事への向き合い方、人生において役立つ知恵などを、エピソードを交えて紹介。『労働新聞』連載のコラムと書評を書籍化。

読売新聞 2022/07/31

2022:7./ 223p
978-4-86673-217-6

¥1,540〔税込〕



人間と宗教あるいは日本人の心の基軸

寺島 実郎 著
岩波書店

物質的繁栄を最優先し、「宗教なき社会」を築いた戦後日本。しかし 20 世紀型の工業生産力モデルは力を失い、コロナ禍の下、日本の埋没は著しい。日本人の精神性とは何か、世界を歩いてきた経済人がいま問い返す。

日本経済新聞 2022/07/02

2021:11./ 20p,276p
978-4-00-061505-1

¥2,200〔税込〕





職業としての官僚(岩波新書 新赤版 1927)

嶋田 博子 著
岩波書店

職業としての官僚が国民や政治に対して担うべき役割、あるべき官僚像に近づける方途を、政官関係の歴史の変遷、各国比較などを交えながら考察。メディアでのバッシングに満足せず、我が事として官僚を見つめる必要を説く。

日本経済新聞 2022/07/02

2022:5./
18p,246p,20p
978-4-00-431927-6
¥1,034〔税込〕



野性の経営～極限のリーダーシップが未来を変える～

野中 郁次郎／川田 英樹／川田 弓子 著
KADOKAWA

混迷深まる社会では「野生」を発揮して生き抜く必要がある。「経営」でも例外ではない。これからの未来をつくるリーダーが知っておくべき「野生の経営」を、タイ王国における実践例を紹介しながら伝授する。

日本経済新聞 2022/07/02

2022:4./ 372p
978-4-04-604981-0
¥1,980〔税込〕



塩狩峠 改版(新潮文庫)

三浦 綾子 著
新潮社

日本経済新聞 2022/07/02

2005:2./ 459p
978-4-10-116201-0
¥825〔税込〕



指揮官たちの第二次大戦～素顔の将帥列伝～(新潮選書)

大木 毅 著
新潮社

南雲、デーニッツ、パットン、ジューコフ…。第二次世界大戦をリードしてきた指揮官たちにつきまとう「評価」は、果たして本当に正しいものなのか。6カ国12人の知られざる言動と意外な横顔を綴った評伝。

日本経済新聞 2022/07/02

2022:5./ 219p
978-4-10-603880-8
¥1,650〔税込〕



日中戦争研究の現在～歴史と歴史認識問題～

川島 真／岩谷 将 編
東京大学出版会

日中戦争史に関わるさまざまな既成概念に対して、新たな史料や新たな視角から疑義を呈し、新たな日中戦争史像を描く論文集。「戦争遺留問題」と対日新思考」「日本の国家総動員体制の動揺」などを収録。

日本経済新聞 2022/07/02

2022:4./ 6p,342p
978-4-13-026268-2
¥5,720〔税込〕





土を育てる～自然をよみがえらせる土壌革命～

ゲイブ・ブラウン 著

NHK出版

有効な温暖化対策「カーボン・ファームिंग」として注目されている環境再生型農業。その第一人者が、4年連続の凶作を乗り越えた末に、自然から学んだ「土を変える5原則」を伝授する。

日本経済新聞 2022/07/02

2022:5./ 277p
978-4-14-081900-5

¥2,420〔税込〕



2084年のSF(ハヤカワ文庫 JA 1522)

日本SF作家クラブ 編

早川書房

ハヤカワSFコンテスト、創元SF短編賞受賞作家たち、本屋大賞受賞の逢坂冬馬、多ジャンルで活躍する斜線堂有紀など、23名の作家たちが、2084年の世界を描く書き下ろしSFアンソロジー。

日本経済新聞 2022/07/02

2022:5./ 631p
978-4-15-031522-1

¥1,320〔税込〕



サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<上>

ユヴァル・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

アフリカでほそそと暮らしていたホモ・サピエンスが、食物連鎖の頂点に立ち、文明を築いたのはなぜか。その答えを解く鍵は「虚構」にある。人類史全体をたどることで、我々はどのような存在なのかを明らかにする。

日本経済新聞 2022/07/02

2016:9./ 267p
978-4-309-22671-2

¥2,090〔税込〕



サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<下>

ユヴァル・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

なぜ文明は爆発的な進歩を遂げ、ヨーロッパは世界の覇権を握ったのか?その答えは「帝国、科学、資本」のフィードバック・ループにあった。人類史全体をたどることで、我々はどのような存在なのかを明らかにする。

日本経済新聞 2022/07/02

2016:9./ 294p
978-4-309-22672-9

¥2,090〔税込〕



ホモ・デウス～テクノロジーとサピエンスの未来～<上>

ユヴァル・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

人類は不死と幸福、神性を目指し、神のヒト「ホモ・デウス」へと自らをアップグレードする。そのとき、富む者と貧しい者との格差は、創造を絶するものとなる。人類の未来を、かつてないスケールで描く。

日本経済新聞 2022/07/02

2018:9./ 265p
978-4-309-22736-8

¥2,090〔税込〕





ホモ・デウス～テクノロジーとサピエンスの未来～<下>

ユヴァル・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

生物はただのアルゴリズムであり、コンピューターが人類のすべてを把握する。生物工学と情報工学の発達によって、資本主義や民主主義、自由主義は崩壊し…。人類の未来を、かつてないスケールで描く。

日本経済新聞 2022/07/02

2018:9./ 284p
978-4-309-22737-5

¥2,090〔税込〕



ジャカルタ・メソッド～反共産主義十字軍と世界をつくりかえた虐殺作戦～

ヴィンセント・ベヴィンス 著

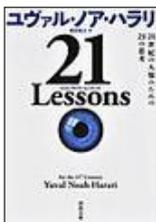
河出書房新社

冷戦下に起きたインドネシア大虐殺の裏には、「ジャカルタ・メソッド」と呼ばれる、米国政府の共産主義者「絶滅」作戦があった。機密解除された文書や膨大な資料、12か国での取材によってその全容を解明する。

日本経済新聞 2022/07/02

2022:4./ 413p
978-4-309-22849-5

¥4,180〔税込〕



21 Lessons～21世紀の人類のための21の思考～(河出文庫 ハ15-1)

ユヴァル・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

“知の巨人”が、テクノロジーや政治をめぐる難題から、この世界における真実、そして人生の意味まで、人類が直面している21の重要テーマを厳選。正解の見えない今の時代に、どのように思考し行動すべきかを問う。

日本経済新聞 2022/07/02

2021:11./ 573p
978-4-309-46745-0

¥1,320〔税込〕



カラマーゾフの兄弟<1>(光文社古典新訳文庫)

ドストエフスキー 著

光文社

世界の深みにずっと入り込める翻訳をめざして……。流れ、勢いこそ『カラマーゾフ』の神髄だ。自分の課題として受けとめた今回の亀山郁夫訳は、作者の壮絶な「二枚舌」を摘出する。

日本経済新聞 2022/07/02

2006:9./ 443p
978-4-334-75106-7

¥796〔税込〕



カラマーゾフの兄弟<2>(光文社古典新訳文庫)

ドストエフスキー 著

光文社

死の床にあるゾシマ長老が残す、輝く言葉の数々。長老の驚くべき過去が、明らかにされる。イワンが語る物語詩「大審問官」の本当の意味。少女の一滴の涙は、世界の救済と引き換えにできるか。

日本経済新聞 2022/07/02

2006:11./ 501p
978-4-334-75117-3

¥859〔税込〕





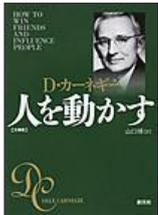
呼び出し

ヘルタ・ミュラー 著
三修社

独裁政権下のルーマニア。とあるアパレル縫製工場で働く「私」は、国外逃亡の嫌疑をかけられた。毎回 10 時きっかりの少佐の呼び出しに向かう路面電車の中で、「私」の意識に過去の出来事が浮かび上がり…。

日本経済新聞 2022/07/02

2022:5./ 315p
978-4-384-05984-7
¥3,080〔税込〕



人を動かす

D.カーネギー、山口 博 著
創元社

「人を動かす三原則」「人に好かれる六原則」「人を説得する十二原則」など、社会人として身につけるべき人間関係の原則を具体的に明示する。多くの人々を励ましつづけてきた名著の文庫版。

日本経済新聞 2022/07/02

2016:2./ 318p
978-4-422-10098-2
¥715〔税込〕



哲学と宗教全史

出口 治明 著
ダイヤモンド社

ライフネット生命創業者で、立命館アジア太平洋大学学長の出口治明が、日本人最大の弱点「哲学と宗教」を世界史を背景に解説する。100点以上の哲学者・宗教家の肖像も掲載。折込みの年表付き。

日本経済新聞 2022/07/02

2019:8./ 465p
978-4-478-10187-2
¥2,640〔税込〕



拡張の世紀～テクノロジーによる破壊と創造～

ブレット・キング、上野 博 著
東洋経済新報社

来るべき世界に適応するには？ デジタルテクノロジーの最前線で何が起きているのか、そしてそれらが医療・交通・金融・都市・教育といった分野に及ぼす影響について、テーマ別に実例を挙げつつ具体的に解説する。

日本経済新聞 2022/07/02

2018:3./ 565p
978-4-492-76242-4
¥2,640〔税込〕



エレクトリック・シティ～フォードとエジソンが夢見たユートピア～

トーマス・ヘイガー 著
白水社

巨大ダムによる水力発電、最先端の家電品、自家用車に幹線道路…。1920年代、アラバマ州の田舎町を舞台にフォードが主導した「テクノ・ユートピア構想」と、それを取り巻く濃密な人間模様を描いたノンフィクション。

日本経済新聞 2022/07/02

2022:5./ 305p,15p
978-4-560-09885-1
¥2,860〔税込〕





ミッテラン社会党の転換～社会主義から欧州統合へ～(サピエンティア)

吉田 徹 著
法政大学出版局

フランスは、なぜ社会主義の追求から欧州統合の促進へ路線を変えたのか？ ミッテラン大統領、フランス社会党派閥首領、政権獲得後のサブ・リーダーたちとの相互作用から生じるリーダーシップに焦点を据えて解明する。

日本経済新聞 2022/07/02

2008:11./ 404p
978-4-588-60302-0
¥4,400〔税込〕



戦争をやめた人たち～1914年のクリスマス休戦～

鈴木 まもる 著
あすなる書房

第一次世界大戦がはじまった5か月後の、12月24日の夜。敵対するドイツ軍とイギリス軍との最前線で、銃声の代わりに「クリスマスキャロル」の歌声が流れ…。戦場でほんとうにあった奇跡のようなお話。

日本経済新聞 2022/07/02

2022:5./ 1冊(ページ付なし)
978-4-7515-3113-6
¥1,650〔税込〕



本屋という仕事

三砂 慶明 編
世界思想社

本と人が集い、直接触れあえる場所、本屋。書店員は仕事に何を求め、自分の個性をどう生かし、どんな仕事をつくってきたのか。18人の書店員が本屋の仕事を語る。鼎談、ブックリスト、書店マップも収録。

日本経済新聞 2022/07/02

2021:6./ 215p
978-4-7907-1770-6
¥1,870〔税込〕



歴史を変えた10の薬

トーマス・ヘイガー 著
すばる舎リンケージ

イギリスはお茶がほしくてインドで栽培していたアヘンを中国に大輸出!? ヘロインはモルヒネ中毒者の置換薬として期待された!? 薬の歴史を紐解きながら医療制度の変遷や創薬の仕組みまでをわかりやすく簡潔に解説する。

日本経済新聞 2022/07/02

2020:1./ 389p
978-4-7991-0871-0
¥2,420〔税込〕



知命と立命(人間学講話)

安岡 正篤 著
プレジデント社

財政官界の指南役・安岡正篤による講話などをまとめたもの。「人間学とは何か」「東洋哲学の精粹」「達人の人生哲学」といった、昭和30～40年におこなった講演・講義を収録。

日本経済新聞 2022/07/02

2015:8./ 286p
978-4-8334-2142-3
¥1,870〔税込〕





てぶくろ〜ウクライナ民話〜(傑作絵本劇場 ロシアの絵本)

エウゲーニー・M.ラチョフ、うちだ りさこ 著
福音館書店

雪の降り積もる森で、おじいさんがてぶくろを片方落としました。すると、ねずみ、かえる、うさぎたちが、てぶくろの中に次々ともぐりこみ…。ウクライナの昔話を迫力のある絵で楽しめる大型絵本。読み聞かせ用テキスト付き。

日本経済新聞 2022/07/02

2020:1./ 15p
978-4-8340-8529-7
¥10,560〔税込〕



戦争が町にやってくる

ロマナ・ロマニーシン／アンドリー・レシヴ 著
ブロンズ新社

美しい町・ロンドで、人々は花を育て、鳥や草木に話しかけながら、楽しく暮らしていました。ところが、ある日突然「戦争」がやってきて…。ウクライナの作家が子どもたちに向けて描いた平和と戦争の絵本。

日本経済新聞 2022/07/02

2022:6./ 1冊(ページ
付なし)
978-4-89309-709-5
¥1,760〔税込〕



般若心経、私は歌う

薬師寺寛邦 著
ワック

「僧侶ボーカリスト」薬師寺寛邦が、自身のこれまでの半生を赤裸々に記し、厳しい仏門修行時代や、般若心経の魅力とその効能、メッセージ性を紹介。般若心経を声に出して読んだり聴いたりすることのメリットと方法も伝える。

日本経済新聞 2022/07/02

2022:4./ 236p
978-4-89831-955-0
¥1,430〔税込〕



業火の市(ハーパーBOOKS M・ウ3・6)

ドン・ウィンズロウ 著
ハーパーコリンズ・ジャパン

1986年アメリカ東海岸。アイルランド系マフィア・ファミリーの片隅に身を置くダニーは仲間と平穏に暮らしていた。だがある日、共存共栄してきたイタリア系マフィア・ファミリーとの間に諍いが起き、歯車が狂い始め…。

日本経済新聞 2022/07/02、産経新聞 2022/07/10

2022:5./ 588p
978-4-596-42927-8
¥1,439〔税込〕



戦後日本の安全保障～日米同盟、憲法9条からNSCまで～(中公新書 2697)

千々和 泰明 著
中央公論新社

危機の時代にふさわしい防衛の姿とは。日米安保条約、憲法第9条、防衛大綱、ガイドライン、NSC(国家安全保障会議)という重要トピックの知られざる歴史をたどり、日本の安全保障の「常識」を問い直す。

日本経済新聞 2022/07/02、読売新聞 2022/07/31

2022:5./ 6p,279p
978-4-12-102697-2
¥990〔税込〕





低空飛行～この国のかたちへ～

原 研哉 著
岩波書店

日本各地をみずからの足で歩く。そしてデザイナーの目で、さながら高い解像度をもって自然に迫る。そこに発見されたのは、世界に開かれるべき日本の新たな価値である。自身のブログを加筆し書籍化。

日本経済新聞 2022/07/09

2022:4./ 15p,221p
978-4-00-024064-2

¥2,530〔税込〕



「学びほぐし」が会社を再生する～企業とファンドの組織変革物語～

安嶋 明 著
岩波書店

企業はどのように再生するのか。組織特有の「思考の枠」をどう学びほぐしていくのか。著者ら「事業再生ファンド」が日常的に向き合っている企業現場での実践の記録を通して、中小企業の試行錯誤を描き出す。

日本経済新聞 2022/07/09

2022:4./ 7p,172p
978-4-00-024834-1

¥2,200〔税込〕



お金の未来(講談社現代新書 2662)

山本 康正/ジェリー・チー 著
講談社

お金の世界で何が起きているのか。お金の役割とは何か。お金の地殻変動の基本部分から、ビットコイン、暗号資産、NFTやメタバース、ブロックチェーンの仕組みまで、お金とテクノロジーのプロが語り尽くす。

日本経済新聞 2022/07/09

2022:5./ 165p
978-4-06-528297-7

¥902〔税込〕



Yuming Tribute Stories(新潮文庫 し-21-31)

小池 真理子/桐野 夏生/江國 香織/綿矢 りさ/柚木 麻子/川上 弘美 著
新潮社

松任谷由実のデビュー50周年を記念したオリジナル小説集。ユーミンを愛する6人の女性作家が、「あの日にかえりたい」「DESTINY」「青春のリグレット」など自身が選んだ曲にそれぞれの思いをのせて綴る。

日本経済新聞 2022/07/09

2022:7./ 279p
978-4-10-133963-4

¥649〔税込〕



変異ウイルスとの闘い～コロナ治療薬とワクチン～(中公新書 2698)

黒木 登志夫 著
中央公論新社

比類なきスピードで開発された mRNA ワクチン、変異株のゲノム解析、全症状に対応する治療薬。コロナ禍「終幕」へのシナリオは着々と描かれている。最新の研究成果を一望し、コロナ危機からの出口戦略を探る。

日本経済新聞 2022/07/09

2022:5./ 9p,279p
978-4-12-102698-9

¥1,034〔税込〕





グリーン・ジャイアント〜脱炭素ビジネスが世界経済を動かす〜(文春新書 1327)

森川 潤 著
文藝春秋

新たなエネルギー業界の盟主「グリーン・ジャイアント」は、いかに台頭してきたのか。「脱炭素」の最前線を、あらゆる角度から丁寧に読み解き、出遅れる日本の現状を斬る。

日本経済新聞 2022/07/09

2021:9./ 246p
978-4-16-661327-4

¥1,012 [税込]



延びすぎた寿命〜健康の歴史と未来〜

ジャン=ダヴィド・ゼトゥン 著
河出書房新社

250年以上前から寿命を延ばし続けてきた人類。しかし、もはやこれ以上の長生きは難しい。寿命の引き延ばしの歴史を振り返りながら、生物学、医学、環境、行動の4つの角度から寿命と健康について検証する。

日本経済新聞 2022/07/09

2022:4./ 330p
978-4-309-22853-2

¥3,190 [税込]



写真はわからない〜撮る・読む・伝える-「体験的」写真論〜(光文社新書 1193)

小林紀晴 著
光文社

初心者からプロまでに向けての写真論。「いい写真」とは何か、人物・風景をどう撮るか、自分の「思い」をどう伝えるか、自身の「撮る者」としての体験や写真教育に携わった経験を踏まえて語る。

日本経済新聞 2022/07/09

2022:4./ 264p
978-4-334-04601-9

¥1,078 [税込]



渋沢栄一〜日本のインフラを創った民間経済の巨人〜(ちくま新書 1516)

木村 昌人 著
筑摩書房

論語・算盤・「民主化」というキーワードをもとに、東アジアの伝統と文化の中で育まれた渋沢栄一の精神を解明。渋沢の構想した「英米資本主義」を超える日本発の新しいグローバル資本主義を考察しながら、その足跡を紹介する。

日本経済新聞 2022/07/09

2020:9./ 357p,6p
978-4-480-07318-1

¥1,210 [税込]



期待と回想(ちくま文庫 つ2-6)

鶴見 俊輔 著
筑摩書房

15歳で留学したアメリカでの新しい哲学運動との出会いや、軍属として体験した戦争。戦後の「思想の科学」「平連」での活動、同時代の知識人について等を対話形式で語りつくした、哲学者による思索的自伝。

日本経済新聞 2022/07/09

2022:2./ 615p,48p
978-4-480-43792-1

¥1,870 [税込]





21 世紀の社会契約

ミノーシュ・シャフィク 著
東洋経済新報社

生きづらさ、働きにくさ、地球の危機...人間がつくった社会契約は、人間が作り直すことができる。世界でもっとも影響力のある女性経済学者が、誰もが支えあえる世界に向けて提言する。

日本経済新聞 2022/07/09

2022:4./ 230p,60p
978-4-492-31541-5

¥2,640〔税込〕



花びら供養

石牟礼 道子 著
平凡社

「石牟礼道子全集」未収録の、主に 2000 年以後に書かれた珠玉のエッセイを集成。3 部構成で、個人的な書簡、短編小説など交えながら、水俣からのメッセージを伝える。

日本経済新聞 2022/07/09

2017:8./ 294p
978-4-582-83764-3

¥2,750〔税込〕



酒～日本に独特なもの～

ニコラ・ポーメール 著
晃洋書房

日本酒とは何か。フランス人地理学博士が、日本の歴史とアイデンティティの中に深く刻み込まれた「酒」をワイン文化と比較しながら紐解き、今後取り組まれるべき課題とともに、日本酒の魅力を語り尽くす。

日本経済新聞 2022/07/09

2022:5./ 10p,276p
978-4-7710-3621-5

¥4,180〔税込〕



コーヒーに砂糖は入れない

松下育男 著
思潮社

コーヒーに砂糖は 入れない もうなにも これ以上あまくしたくないから 目が覚めたら窓の外にはもう しずかに雨が降っていた(「コーヒーに砂糖は入れない」より) 詩集。

日本経済新聞 2022/07/09

2021:6./ 108p
978-4-7837-3751-3

¥2,640〔税込〕



これから詩を読み、書くひとのための詩の教室

松下育男 著
思潮社

定年後、横浜と東京で小さくてあたたかな「詩の教室」を始めた。新型コロナが蔓延してからはネットでの通信教室に切り替えて、今も続けている。2017～20 年に語られた講義の記録。

日本経済新聞 2022/07/09

2022:4./ 429p
978-4-7837-3826-8

¥3,520〔税込〕





核兵器禁止条約は日本を守れるか～「新しい現実」への正念場～

佐野 利男／佐野 利男 著
信山社出版

核軍縮・軍備管理をめぐるこれまでの歩みを振り返りながら、核の廃絶と主権国家が抱えている安全保障上の要求との相剋について、外交官の視点から分析。今後取るべきアプローチについて見解を述べ、提言を行う。

日本経済新聞 2022/07/09

2022:4./ 12p,191p
978-4-7972-8153-8
¥2,200〔税込〕



思想の流儀と原則

鶴見 俊輔／吉本 隆明 著
中央公論新社

2人の戦後思想家、鶴見俊輔と吉本隆明のそれぞれの思想的な立場が、相互に照らしあうような言及の中で明晰に浮かび上がってくる論考と、直接的な対論3篇を収録。対談や大澤真幸の解説も掲載する。

日本経済新聞 2022/07/09、朝日新聞 2022/07/16

2022:6./ 297p
978-4-12-005544-7
¥2,970〔税込〕



ボストン美術館富田幸次郎の50年～たとえ国賊と呼ばれても～

橋 しづゑ 著
彩流社

東洋美術コレクションで名高いボストン美術館のアジア部長を、戦前から戦後まで32年間勤めた富田幸次郎。生い立ちや、アメリカに渡った経緯などを探りながら、その人物像に迫る。富田幸次郎略年譜なども収録。

日本経済新聞 2022/07/09、読売新聞 2022/07/31

2022:4./ 232p,30p
978-4-7791-2824-0
¥3,080〔税込〕



「ネコひねり問題」を超一流の科学者たちが全力で考えてみた～「ネコの空中立ち直り反射」という驚くべき謎に迫る～

グレゴリー・J・グバー 著
ダイヤモンド社

猫はなぜ高いところから落ちて足から着地できるのか？数多くの天才が、物理、光学、数学、神経科学などのアプローチからその驚くべき謎に迫った。猫を偏愛する物理学者が、学者たちの真摯かつ愉快的研究エピソードを紹介。

日本経済新聞 2022/07/09、毎日新聞 2022/07/16

2022:5./ 486p
978-4-478-10937-3
¥1,980〔税込〕



日本思想の道しるべ

鶴見 俊輔 著
中央公論新社

日本思想の可能性とは何か。田中正造から戦後の平和思想まで、世界思想史の中で日本近代を捉え直した初の鶴見流日本思想案内。丸山眞男との対談「普遍的原理の立場」も収録。生誕100年記念出版。

日本経済新聞 2022/07/09、毎日新聞 2022/07/23

2022:6./ 324p
978-4-12-005543-0
¥2,970〔税込〕





童謡の近代～メディアの変容と子ども文化～(岩波現代全書 076)

周東 美材 著
岩波書店

近代日本で子どもはいかに文化の担い手となったのか。「童謡」を大衆文化へと発展させた北原白秋、鈴木三重吉らの活動を追い、歌声文化の魅力と変容を、雑誌『赤い鳥』とその周辺のメディア産業に探る。

日本経済新聞 2022/07/16

2015:10./ 8p,277p
978-4-00-029176-7

¥2,750〔税込〕



F ショパンとリスト(集英社文庫 た 97-1)

高野 麻衣 著
集英社

19世紀、パリ。ピアノの神童として注目されていたショパンとリストは出会ってすぐに無二の親友となった。だが、故国を追われたショパンは誰にも明かせない秘密を胸に秘めており…。天才音楽家たちの友情と波乱の生涯を描く。

日本経済新聞 2022/07/16

2022:6./ 203p
978-4-08-744405-6

¥594〔税込〕



メアリ・ヴェントゥーラと第九王国～シルヴィア・プラス短篇集～

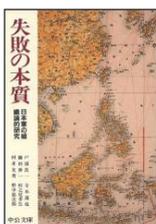
シルヴィア・プラス 著
集英社

赤いネオンの点滅する駐車場で、少女は両親に促されるまま、行先の分からない列車にひとり乗り込み…。没後50年以上を経て発見され、2019年に刊行された表題作を収めるシルヴィア・プラスの短篇集。全8篇を収録する。

日本経済新聞 2022/07/16

2022:5./ 213p
978-4-08-773519-2

¥2,310〔税込〕



失敗の本質～日本軍の組織論的研究～(中公文庫)

戸部 良一 著
中央公論新社

大東亜戦争での諸作戦の失敗を、組織としての日本軍の失敗ととらえ直し、これを現代の組織一般にとっての教訓とした戦史の初めての社会科学的分析。

日本経済新聞 2022/07/16

2000:4./ 413p
978-4-12-201833-4

¥838〔税込〕



天、共に在り～アフガニスタン三十年の闘い～

中村 哲 著
NHK出版

1984年よりパキスタン、アフガニスタンで支援活動続ける医師・中村哲。彼はなぜ1600本もの井戸を掘り、25.5キロにもおよぶ用水路を拓くに至ったのか。「天」と「縁」をキーワードに、その数奇な半生をつづる。

日本経済新聞 2022/07/16

2013:10./ 252p
978-4-14-081615-8

¥1,760〔税込〕





進化を超える進化～サピエンスに人類を超越させた4つの秘密～

ガイア・ヴィンス 著
文藝春秋

人間は自分たちを創造した環境を自ら作り変え、生物進化を超え、超人類になろうとしている-。「文化進化」というかつてない切り口で人類史を論じる。2020年英国王立協会サイエンス・ブック賞最終候補作。

日本経済新聞 2022/07/16

2022:6./ 404p
978-4-16-391553-1
¥2,750〔税込〕



インベンション～僕は未来を創意する～

ジェームズ・ダイソン 著
日経BP社

成功の陰に、5126回の失敗あり-。サイクロン式掃除機で知られるダイソン社創業者が、生い立ちから自分の会社を設立し、世界で最も独創的なテクノロジー企業の一社となるまでの経緯を綴る。写真や図も豊富に収録。

日本経済新聞 2022/07/16

2022:5./ 434p 図版
24p
978-4-296-11306-4
¥2,420〔税込〕



愛するということ

エーリッヒ・フロム 著
紀伊國屋書店出版部

愛とは、孤独な人間が孤独を癒そうとする営みであり、愛こそが現実の社会生活の中で、より幸福に生きるための最高の技術である-。愛の理論と実践の習得をすすめた世界的ベストセラーを改訳。

日本経済新聞 2022/07/16

2020:8./ 209p
978-4-314-01177-8
¥1,430〔税込〕



魔法少女はなぜ変身するのか～ポップカルチャーのなかの宗教～

石井 研士 著
春秋社

魔法少女、巫女・神社、異世界・転生...。アニメやマンガにあふれる神秘は何に由来し、人々のどんな心性に訴えるのか。昔懐かしい作品から大ヒットした近年の作品までを多数分析し、現代人と宗教の繊細な関係と変容を考察する。

日本経済新聞 2022/07/16

2022:6./ 7p,308p
978-4-393-29162-7
¥2,640〔税込〕



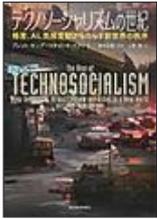
真実の瞬間～SASのサービス戦略はなぜ成功したか～

ヤン・カールソン 著
ダイヤモンド社

日本経済新聞 2022/07/16

1990:3./ 208p
978-4-478-33024-1
¥1,388〔税込〕





テクノソーシャルイズムの世紀～格差、AI、気候変動がもたらす新世界の秩序～

ブレット・キング／リチャード・ペテイ 著

東洋経済新報社

産業革命以後の世界の、政治・経済・社会を支配してきた価値体系のグレートリセットが始まる！世界的テクノロジスト&未来学者が、資本主義・民主主義のデジタル・トランスフォーメーションを提唱する。

日本経済新聞 2022/07/16

2022:6./ 579p
978-4-492-76260-8

¥2,640〔税込〕



新中国論～台湾・香港と習近平体制～(平凡社新書 1005)

野嶋 剛 著

平凡社

台湾と香港に対する中国の強硬な対応は我々の世界に何をもちたしているのか、そして、中国はなぜそのような行動をとるのか。中国という国家の本質を香港・台湾を通して探る、新しい中国論。

日本経済新聞 2022/07/16

2022:5./ 283p
978-4-582-86005-4

¥1,056〔税込〕



暮らしの哲学

池田 晶子 著

毎日新聞出版

めぐる季節の中で、暮らしの中で、問い続けた存在の謎。考えるとはどういうことかを日常の言葉で語る「哲学エッセイ」を確立し、2007年2月に急逝した哲学者の最後の一年間。『サンデー毎日』連載を単行本化。

日本経済新聞 2022/07/16

2007:7./ 243p
978-4-620-31820-2

¥1,466〔税込〕



おおきな木

シェル・シルヴァスタイン 著

あすなろ書房

いつでもそこにあるりんごの木。成長し変わっていく少年。それでも木は、少年に惜しみなく愛を与え続けた。世界で読み継がれているロングセラー絵本を村上春樹が新訳。

日本経済新聞 2022/07/16

2010:9./ 1冊(ペー
ジ付なし)

978-4-7515-2540-1

¥1,320〔税込〕



災害とトイレ～緊急事態に備えた対応～(進化するトイレ)

日本トイレ協会 編

柏書房

災害が起きるとトイレはどうなるのか？災害大国・日本に暮らすうえで知っておきたい緊急時のトイレ問題について、第一線でのリアルな経験から得られた生きた教訓をあますところなく紹介する。

日本経済新聞 2022/07/16

2022:6./ 245p
978-4-7601-5466-1

¥3,300〔税込〕





シン・論～おたくとアヴァンギャルド～

大塚 英志 著
太田出版

庵野秀明の「シン・」シリーズは、「おたく」周辺の歴史的教養を踏まえた、あるべき形へのある程度自覚的な「つくり直し」である。その方法と美学の出自を探る、挑発的芸術論。

日本経済新聞 2022/07/16

2022:5./ 256p
978-4-7783-1813-0

¥2,530〔税込〕



ハーバードのフランチャイズ組織論

ジェフリー L. ブラダック、河野 昭三 著
文真堂

現代組織のゴーイング・コンサーン化に必須な自己補正力と自己再生力は如何に創出されるか。米国レストラン・チェーン産業のマネジメントの実態を調査・解明し、複合形態論を主張する。具体的な事例を豊富に展開した経営書。

日本経済新聞 2022/07/16

2006:1./ 341p
978-4-8309-4535-9

¥3,080〔税込〕



企業参謀～戦略的思考とはなにか～

大前 研一 著
プレジデント社

いまこそ戦略的志向が必要だ。手本と解答がない今、成功へのプロセスは自らが考え出さなければならない。オピニオンリーダーとして、常に最先端で活躍を続ける著者が最善解を導き出す思考法を全公開。75、77年刊の合本。

日本経済新聞 2022/07/16

1999:11./ 406p
978-4-8334-1694-8

¥2,200〔税込〕



トヨタ「家元組織」革命～世界が学ぶ永続企業の「思想・技・所作」～

阿部修平 著
プレジデント社

逆風でも最高益。「トヨタ一強の秘密」は、日本の伝統的組織づくりにあった! 世界の自動車会社であるトヨタ自動車の社長、豊田章男の経営とリーダーシップについて検証を試みる。

日本経済新聞 2022/07/16

2022:6./ 295p
978-4-8334-4130-8

¥2,530〔税込〕



OPEN～「開く」ことができる人・組織・国家だけが生き残る～

ヨハン・ノルベリ 著
ニューズピックス

「閉じた」時代を終わらせよう! 1万年の人類史からオープン性を妨害し発展を停滞と退行に追い込んだ要因を検討し、人類が進むべき「オープン」な未来への道筋を提示する。

日本経済新聞 2022/07/16

2022:4./ 485p
978-4-910063-20-1

¥2,640〔税込〕





「未熟さ」の系譜～宝塚からジャニーズまで～(新潮選書)

周東 美材 著
新潮社

アイドル、ジャニーズ、宝塚少女歌劇…。成長途上ゆえの可愛らしさやアマチュア性が愛好される芸能様式は、いかに成立したのか。近代家族と大衆メディアの結びつきが生んだ「お茶の間の願望」を浮き彫りにする。

日本経済新聞 2022/07/16、毎日新聞 2022/07/23

2022:5./ 279p
978-4-10-603879-2
¥1,705〔税込〕



コトラーのマーケティング 5.0～デジタル・テクノロジー時代の革新戦略～

フィリップ・コトラー／ヘルマワン・カルタジャヤ／イワン・セティアワン 著
朝日新聞出版

マーケターはZ世代とアルファ世代にどう対応する必要があるか。「マーケティング 3.0」の人間中心の原則を「マーケティング 4.0」の5Aモデルに基づきテクノロジーの力で実現させる最新戦略を、コトラーが提言する。

日本経済新聞 2022/07/23

2022:4./ 341p
978-4-02-251818-7
¥2,750〔税込〕



三秒間の死角<上>(角川文庫 ル 4-1)

アンデシュ・ルースlund／ベリエ・ヘルストレム 著
KADOKAWA

犯罪組織に潜入したスウェーデン警察のパウラは、組織のため、政府上層部のお墨付きを得て、刑務所内で麻薬密売を始める。だが、彼の正体を知らないグレース警部の追及の手が迫ると、政府上層部は非情な決断を下し…。

日本経済新聞 2022/07/23

2013:10./ 451p
978-4-04-101073-0
¥924〔税込〕



三秒間の死角<下>(角川文庫 ル 4-2)

アンデシュ・ルースlund／ベリエ・ヘルストレム 著
KADOKAWA

スウェーデン警察の潜入捜査員であることを刑務所内に暴露されたパウラ。裏切り者に対する容赦ない攻撃が始まり、彼は入所前に準備した計画を発動させることに。それは誰にも想像さえつかない、綿密かつ大胆なものだった!

日本経済新聞 2022/07/23

2013:10./ 459p
978-4-04-101074-7
¥924〔税込〕



吾妻おもかげ

梶 よう子 著
KADOKAWA

絵師を志すも挫折を味わい、吉原と芝居小屋に入り浸る菱川吉兵衛。だが、つらい憂き世をあえて楽しもうとする遊女たちの心意気に励まされ…。最初の浮世絵師・菱川師宣の波瀾万丈の生涯を描く。『小説野性時代』掲載を書籍化。

日本経済新聞 2022/07/23

2021:11./ 331p
978-4-04-112001-9
¥1,980〔税込〕





北斎まんだら(講談社文庫 か 131-5)

梶 よう子 著
講談社

葛飾北斎の弟子になるため江戸へやって来た三九郎。だが、娘のお栄に火事見物につき合わされたり、枕絵のモデルをやらされたり。そんな折、北斎の枕絵の贋作が出回っていることがわかり…。

日本経済新聞 2022/07/23

2019:8./ 381p
978-4-06-516836-3
¥814〔税込〕



予測不能の1秒先も濁流みたいに愛してる

黒木 渚 著
講談社

好きな音楽はパンク、好きなバンドはクラッシュ。軽音部に入った高2のシッポが、片思いの男子のために用意した「設定」だけど、少しずつ彼女の中にあった「音楽の光」が追い越していき…。自身の楽曲をモチーフにした小説。

日本経済新聞 2022/07/23

2022:6./ 174p
978-4-06-527933-5
¥2,145〔税込〕



フィンランド幸せのメソッド(集英社新書 1115)

堀内 都喜子 著
集英社

2018年から5年連続で「幸福度ランキング世界一」を達成したフィンランド。子育て支援や教育など、立場を問わず全ての国民が平等に、そして幸福に暮らすことを可能にする、驚きの仕組みの全貌を紹介する。

日本経済新聞 2022/07/23

2022:5./ 249p
978-4-08-721215-0
¥946〔税込〕



三分間の空隙<上>(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 439-9)

アンデシュ・ルースランド／ベリエ・ヘルストレム 著
早川書房

麻薬取締局に雇われたひとりの男が、コロンビアの麻薬犯罪ゲリラ PRC に潜入していた。任務は PRC の情報を米国に提供すること。しかし米国下院議長が PRC に拉致されたとき、事態は思いもよらぬ急変を遂げ…。

日本経済新聞 2022/07/23

2020:8./ 462p
978-4-15-182159-2
¥1,276〔税込〕



三分間の空隙<下>(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 439-10)

アンデシュ・ルースランド／ベリエ・ヘルストレム 著
早川書房

激化するアメリカと PRC との戦いの中で窮地に立たされた潜入捜査員。絶体絶命の状況下で起死回生を図る捜査員が見出したのは、わずか三分間の空隙。その驚くべき計画の全容とは-

日本経済新聞 2022/07/23

2020:8./ 463p
978-4-15-182160-8
¥1,276〔税込〕





三時間の導線<上>(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 439-11)

アンデシュ・ルースルンド 著

早川書房

ストックホルムの遺体安置所で発見された「あるはずのない」男の死体。アフリカ出身と思われる以外、素性は知れない。グレース警部は調査を始めるが...。「三分間の空隙」につづく<グレース警部>シリーズ。

日本経済新聞 2022/07/23

2021:4./ 342p
978-4-15-182161-5

¥1,144 [税込]



三時間の導線<下>(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 439-12)

アンデシュ・ルースルンド 著

早川書房

西アフリカ。現在は民間警備会社に所属する「その男」のもとに、グレース警部が来訪する。ストックホルムの奇怪な大量殺人事件の間を暴くことは彼にしかできず...。「三分間の空隙」につづく<グレース警部>シリーズ。

日本経済新聞 2022/07/23

2021:4./ 348p
978-4-15-182162-2

¥1,144 [税込]



三日間の隔絶<上>(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 439-13)

アンデシュ・ルースルンド 著

早川書房

一家惨殺事件の生き残りの少女は、グレース警部に保護された。17年後、当時の事件の容疑者が殺され、元潜入捜査員のピート・ホフマンが脅迫を受ける。どちらも警察の者の犯行なのか? <グレース警部>シリーズ。

日本経済新聞 2022/07/23

2022:5./ 383p
978-4-15-182163-9

¥1,540 [税込]



三日間の隔絶<下>(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 439-14)

アンデシュ・ルースルンド 著

早川書房

自分を脅迫する人物を明らかにするため、ホフマンはグレース警部に警察への潜入捜査を依頼するが、交換条件を出される。背中を預けあうグレースとホフマン。彼らに残された時間は三日間で...。<グレース警部>シリーズ。

日本経済新聞 2022/07/23

2022:5./ 398p
978-4-15-182164-6

¥1,540 [税込]



パーゼルより～子どもと本を結ぶ人たちへ～

美智子 著

文藝春秋

私は私の中に今もすむ小さな女の子に誘われて、ここに来たのかもしれませんが。2002年9月、スイスのパーゼル市にて開かれた国際児童図書評議会創立50周年記念大会での美智子皇后のスピーチを日本語と英語で収録する。

日本経済新聞 2022/07/23

2012:4./ 42p,23p
978-4-16-375320-1

¥1,980 [税込]





推しエコノミー～「仮想一等地」が変えるエンタメの未来～

中山 淳雄 著

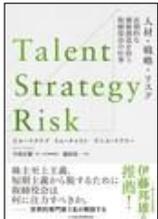
日経 B P 社

「萌え」から「推し」へと変容した、キャラクターやタレントのファンの行動を基軸に、「鬼滅の刃」「ウマ娘」などを取り上げてアニメ・ゲームなどオタク経済圏の最新動向を解説し、マーケティングの新しい視点を提示する。

日本経済新聞 2022/07/23

2021:10./ 277p
978-4-296-00035-7

¥1,980〔税込〕



Talent/Strategy/Risk～人材・戦略・リスク～

ビル・マクナブ／ラム・チャラン／デニス・ケアリー 著

日経 B P 社

株式至上主義、短期主義から脱却するために取締役会はどこに注力すべきか。TSR(人材・戦略・リスク)によって経営の方向性を転換し、長期的成長を生み出す新しいリーダーシップを、世界的専門家3名が解説する。

日本経済新聞 2022/07/23

2022:5./ 315p
978-4-296-11351-4

¥2,640〔税込〕



どうにもとまらない歌謡曲～七〇年代のジェンダー～(ちくま文庫 せ 14-1)

舌津 智之 著

筑摩書房

1970年代の歌謡曲の歌詞に表れた理想の恋愛像を明らかにし、それらの社会での影響についてを論じていく。文学や社会学の領域を越え、当時の文化論としても読むことができるダイナミックな試み。

日本経済新聞 2022/07/23

2022:6./ 327p
978-4-480-43821-8

¥902〔税込〕



BIGHIT～K-POPの世界戦略を解き明かす5つのシグナル～

ユン・ソンミ 著

ハーパーコリンズ・ジャパン

BTS、BLACKPINK、NCT...世界を動かすK-POPのアーティストはどのように生み出されるのか? JYP出身の著者が、韓国エンタメ業界の最先端の仕組みを解説し、大ヒットの秘密を解き明かす。

日本経済新聞 2022/07/23

2022:5./ 245p
978-4-596-42933-9

¥1,870〔税込〕



人類にとって「推し」とは何なのか、イケメン俳優オタクの僕が本気出して考えてみた

横川良明 著

サンマーク出版

アイドル、アーティスト、俳優、芸人、スポーツ選手、アニメキャラ...どんな推しも等しく尊い。「推し」と出会ったことで人生が劇的に楽しくなったイケメン俳優オタクが、「推し」のいる生活の喜びやちょっとした暗部を語る。

日本経済新聞 2022/07/23

2021:1./ 255p
978-4-7631-3872-9

¥1,540〔税込〕





**ポケモンGOの社会学～フィールドワーク×観光×デジタル空間～(KGUP
série 社会文化理論研究)**

圓田 浩二 著

関西学院大学出版会

没入型のメタバースではなく現実とデジタルの世界を接続する接続型のメタバースを目指す「ポケモンGO」。社会現象を生み出した「ポケモンGO」を題材に、ネット社会での時間と空間の有り様の変化を分析する。

日本経済新聞 2022/07/23

2022:6./ 259p
978-4-86283-340-2

¥3,960〔税込〕



旅館おかみの誕生

後藤 知美 著

藤原書店

日本旅館できめ細やかなおもてなしをしてくれるのは、なぜ女性の「おかみ」なのか。旅行番組や旅雑誌等のメディアにつくられたおかみイメージに迫りつつ、女性の仕事としての旅館のおかみの実態を聞き取りをもとに追究する。

日本経済新聞 2022/07/23

2022:5./ 414p
978-4-86578-340-7

¥4,180〔税込〕



バッティングピッチャー～背番号三桁のエースたち～(集英社文庫 さ 60-3)

澤宮 優 著

集英社

王貞治、長嶋茂雄、落合博満、松井秀喜、イチローといった天才打者の活躍を支えたバッティングピッチャーたち。彼らの存在なくして、今の球界の盛り上がりはありえない。バッティングピッチャーたちの知られざる姿に迫る。

日本経済新聞 2022/07/30

2020:3./ 314p
978-4-08-744089-8

¥726〔税込〕



究極のブランディング～美意識と経営を融合する～

長沢 伸也／得能 摩利子／石塚 千賀子 著

中央公論新社

真に強いブランドには、デザイン的な審美性の高さだけでなく、美意識が経営判断に織り込まれている。その融合を欧州のラグジュアリーブランドを題材にひもとき、強いブランドの作り方や考え方、戦略などを具体的に指南する。

日本経済新聞 2022/07/30

2022:3./ 235p
978-4-12-005519-5

¥1,760〔税込〕



ミュージカルの歴史～なぜ突然歌いだすのか～(中公新書 2702)

宮本 直美 著

中央公論新社

19世紀アメリカで誕生したミュージカル。ブロードウェイへの音楽供給から、2.5次元まで、その本質を音楽に注目し歴史を辿りつつ、「なぜ突然歌いだすのか」という最大の謎に迫る。

日本経済新聞 2022/07/30

2022:6./ 7p,217p
978-4-12-102702-3

¥924〔税込〕





世紀の落球～「戦犯」と呼ばれた男たちのその後～(中公新書ラクレ 697)

澤宮 優 著
中央公論新社

大試合や大事な場面で落球した野球選手たちは、そこからどのように立ち上がったのだろうか。G.G.佐藤、加藤直樹、池田純一…。たった1つのプレーで人生を狂わされた男たちの「その後」を追う。

日本経済新聞 2022/07/30

2020:8./ 190p
978-4-12-150697-9
¥880〔税込〕



ブランディング・ファースト<メソッド編> 成否は走り出す前の準備にかかっている

宮村 岳志 著
クロスメディア・パブリッシング

ブランディングは、中小企業が抱える問題点を解決する“経営戦略”。その成否は、走り出す前の準備にかかっている。マネジメント層のセットアップから社員の巻き込み方、具体的な手順まで、実践のノウハウを公開する。

日本経済新聞 2022/07/30

2022:5./ 238p
978-4-295-40675-4
¥1,848〔税込〕



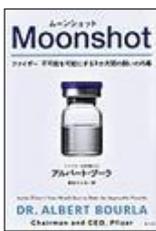
終わらないフェミニズム～「働く」女たちの言葉と欲望～

日本ヴァージニア・ウルフ協会／河野 真太郎／麻生 えりか／秦 邦生／松永 典子 編
研究社

ポストフェミニズム/第三波フェミニズム、新自由主義、ケア労働、ワーク・ライフ・バランス、シングルマザー、貧困といった最前線のテーマから、これまでのフェミニズムとその文学・文化を再検討する。

日本経済新聞 2022/07/30

2016:8./ 18p,346p
978-4-327-47233-7
¥4,070〔税込〕



Moonshot～ファイザー不可能を可能にする9か月間の闘いの内幕～

アルバート・ブーラ 著
光文社

民間企業が成し遂げた史上最大級の偉業ともいえる、新型コロナウイルスワクチン開発。ワクチンの開発、治験、製造という従来であれば何年もかかるプロセスをわずか9か月間で達成した舞台裏を、ファイザーCEOが自ら語る。

日本経済新聞 2022/07/30

2022:6./ 278p
978-4-334-96256-2
¥1,870〔税込〕



ブランディングが9割<ケーススタディ編> Q&A でよくわかる!ブランドづくりのツボと具体策

乙幡満男 著
青春出版社

「強み」を押し出したのに売れないのはなぜ? 非難があっても売れるが勝ち? 小規模事業のポジション取りの秘訣は? ブランドづくりでありがちな課題を、状況別に解説。考察のヒントやとるべき行動を具体的に指南する。

日本経済新聞 2022/07/30

2022:6./ 172p
978-4-413-23257-9
¥1,474〔税込〕





「考古学エレジー」の唄が聞こえる～発掘にかけた青春哀歌～

澤宮 優 著

東海大学出版部

昭和のある時代、全国各地の考古学の調査・発掘現場で歌われた「考古学エレジー」。唄の誕生から、考古学を志す者のテーマソングとなり、平成の到来ともに消えていくまでを検証する。『西日本新聞』連載に加筆して単行本化。

日本経済新聞 2022/07/30

2016:7./ 317p
978-4-486-03799-6

¥2,530〔税込〕



* 9 7 8 4 4 8 6 0 3 7 9 9 6 *

生態民俗学序説

野本寛一 著

白水社

日本経済新聞 2022/07/30

1987:3./ 613,
978-4-560-04050-8

¥13,200〔税込〕



* 9 7 8 4 5 6 0 0 4 0 5 0 8 *



<図説>台湾の妖怪伝説

何 敬堯 著

原書房

死んだ人間、異能を得た動物、土地に根付く霊的存在など、台湾にも妖怪は存在する。異なる民族間の交流によって生まれた妖怪たちの伝承や歴史を、フィールドワークによって得られた資料をもとに辿る。カラー図版も多数掲載。

日本経済新聞 2022/07/30

2022:6./ 333p
978-4-562-07184-5

¥3,520〔税込〕



* 9 7 8 4 5 6 2 0 7 1 8 4 5 *



生きる～17歳の生命誌～(中村桂子コレクション いのち愛づる生命誌 6)

中村 桂子 著

藤原書店

生命科学をやさしく語り、美しく表現する思想を“生命誌研究館”として実現した中村桂子の多岐にわたる仕事を集大成。6は、「生きること」を中心とする社会をめざして、17歳とともに考える。伊東豊雄の解説も収録。

日本経済新聞 2022/07/30

2020:5./ 355p
978-4-86578-269-1

¥3,080〔税込〕



* 9 7 8 4 8 6 5 7 8 2 6 9 1 *



井上靖の原郷～伏流する民俗世界～

野本 寛一 著

七月社

稀代のストーリーテラー井上靖は、郷里・伊豆の風土から何を承けとったのか。「自伝風小説」を中心とした精緻な読みと、フィールドワークの成果から、作家の深奥に伏流する民俗世界に迫る。『伝書鳩』連載に書き下ろしを追加。

日本経済新聞 2022/07/30

2021:2./ 219p
978-4-909544-15-5

¥2,750〔税込〕



* 9 7 8 4 9 0 9 5 4 4 1 5 5 *



麦の記憶～民俗学のまなざしから～

野本 寛一 著

七月社

多様な農耕環境の中で裏作に組み込まれ、米を主役にすえた日本人の食生活を、陰ながら支えてきた麦。現在では失われてしまった、多岐に及ぶ栽培・加工方法、食法、麦にまつわる民俗を、長年のフィールドワークにより蘇らせる。

日本経済新聞 2022/07/30

2022:6./ 349p
978-4-909544-25-4

¥3,300〔税込〕



新しい声を聞くぼくたち

河野 真太郎 著

講談社

変わっていく世界と、ぼくたちのいらだち。与えられた剣と鎧はどうやって手放したらいい？ 近年のフェミニズムの興隆の中で男性はどう生きるべきかを、映画や漫画など様々なコンテンツから読み解く。

日本経済新聞 2022/07/30、毎日新聞 2022/07/30

2022:5./ 347p
978-4-06-527742-3

¥1,980〔税込〕



ロシア・インテリゲンツィヤの誕生～他五篇～(岩波文庫 33-684-4)

バーリン、桑野 隆 著

岩波書店

ゲルツェン、ベリンスキー、トゥルゲーネフ。個人の自由を徹底して擁護した19世紀ロシアの思想家の人物像を、バーリンが深い共感をこめて描き出す。

毎日新聞 2022/07/02

2022:5./ 379p,13p
978-4-00-336844-2

¥1,111〔税込〕



世の中に悪い人はいない

ウォン・ジェフン 著

KADOKAWA

心のいちばん奥にしまった「あのとき」「あのひと」のこと。表題作の他、「手応えを感じる」「爪楊枝」など小さなエピソードをまとめた、記憶の断片をやさしく包む短編集。

毎日新聞 2022/07/02

2022:5./ 263p
978-4-04-681272-8

¥1,540〔税込〕



シャドーハウス 1

ソウマトウ 著

集英社

貴族の真似事をする、顔のない一族「シャドー」。その“顔”として仕える世話係の「生き人形」。来客のない奇妙な館には、今日も煤と黄色い声が、舞う――。

毎日新聞 2022/07/02

2019:1./ 160p
978-4-08-891184-7

¥693〔税込〕





幽霊〜或る幼年と青春の物語〜 改版(新潮文庫 き-4-2)

北 杜夫 著
新潮社

昆虫採集に興ずる少年の心をふとよぎる幼い日に去った母親のイメージ、美しい少女に寄せる思慕。過去の希望と不安が、敗戦前後の高校生の胸に甦る…。過去を見つめ、隠された幼児期の記憶を求めて深層意識の中に遡る。

毎日新聞 2022/07/02

2014:2./ 272p
978-4-10-113102-3
¥572〔税込〕



そのビジネス課題、最新の経済学で「すでに解決」しています。～仕事の「直感」「場当たりの」「劣化コピー」「根性論」を終わらせる～

今井 誠/坂井 豊貴/上野 雄史/星野 崇宏/安田 洋祐/山口 真一 著
日経BP社

「経済学のビジネス実装」第一人者の経済学者&実務家が贈る、現場で使えるビジネス教養。ビジネスパーソンの「武器」としての経済学、利益を最大化するツール「FSP-D」モデルの基礎知識などを解説する。

毎日新聞 2022/07/02

2022:4./ 243p
978-4-296-00066-1
¥1,760〔税込〕



ヴェネチア・ビエンナーレと日本

三上 豊 ほか 編
平凡社

世界最大級の現代アート展覧会、ヴェネチア・ビエンナーレ美術展の日本公式参加 70周年を記念し、約 180 名の日本の作家とその作品を、2022 年展から過去へと遡る逆編年体の形式で紹介する。

毎日新聞 2022/07/02

2022:5./ 325p
978-4-582-20650-0
¥2,970〔税込〕



涼しき無〜第三句集〜

高柳克弘 著
ふらんす堂

しやぼん玉肌のぬくみをきらひけり ぶらんこを押してぼんやり父である 子にほほえむ母にすべては涼しき無 はや尽きし児童手当や桜餅 ハンカチを敷くやひとりの花筵
2016～2022 年の作品を収めた第 3 句集。

毎日新聞 2022/07/02

2022:5./ 178p
978-4-7814-1458-4
¥2,200〔税込〕



天使突抜おぼえ帖

通崎 睦美/通崎 睦美 著
集英社インターナショナル

お仏花はうちに回ってきてくださる「白川女」から買っていた。そんな京都の風物も見られなくなり…。京都に実在する「天使突抜 1 丁目」に暮らす中で、聞いたこと、体験したこと、さまざまな人たちとの出会いと別れを綴る。

毎日新聞 2022/07/02

2022:4./ 379p
978-4-7976-7410-1
¥2,200〔税込〕





Lの運動靴

キム・スム 著
アストラハウス

1987年、韓国の民主抗争に参加していた大学生のL=李韓烈は、警官の発砲した催涙弾を後頭部に受けて亡くなった。その時にLが履いていたボロボロの運動靴を、大切に保存すべく修復に動いた人びとの物語を描く。

毎日新聞 2022/07/02、朝日新聞 2022/07/30

2022:6./ 237p
978-4-908184-34-5

¥1,980〔税込〕



歴史とは何か 新版

E. H. カー 著
岩波書店

歴史は現在と過去のあいだの対話である。名フレーズで知られる歴史と歴史学入門の古典的名著。初版の本文のほか、「第2版への序文」を新たに訳出し、晩年の自叙伝、略年譜なども加えた新版。

毎日新聞 2022/07/02、読売新聞 2022/07/10

2022:5./
21p,371p,17p
978-4-00-025674-2

¥2,640〔税込〕



#真相をお話します

結城 真一郎 著
新潮社

家庭教師の仲介営業マンをする大学生、マッチングアプリに勤しむ中年男、精子提供を始めた夫婦…。でも、何かがおかしい。緻密で大胆な構成と容赦ない「どんでん返し」の新感覚ミステリ短篇集。『小説新潮』掲載を書籍化。

毎日新聞 2022/07/02、読売新聞 2022/07/17、朝日新聞 2022/07/30

2022:6./ 218p
978-4-10-352234-8

¥1,705〔税込〕



築地市場の人々～最後の二年間を撮る～

山下倫一 著
国書刊行会

魚を捌く職人、セリ場、買い出しに来るプロとのやり取り。築地で働く人の顔には誇りと自信があった。築地が閉場するまでの二年間を追い、その熱気、情熱、雰囲気、ふれあい、生きる力の魅力を描写した写真集。

毎日新聞 2022/07/02、読売新聞 2022/07/24

2022:5./ 178p
978-4-336-07369-3

¥4,620〔税込〕



音声学者、娘とことばの不思議に飛び込む～プリチュワからカピチュウ、おっけーぐるぐるまで～

川原繁人 著
朝日出版社

プリキュアごっこ、ポケモン、しんだ、しまない、しむ…。子どもの言語発達からことばの原理が学べる！言語学が専門の大学教員による、子育てエピソード満載の音声学の入門書。ゴスペラーズ・北山陽一との対談も掲載する。

毎日新聞 2022/07/02、日本経済新聞 2022/07/09

2022:5./ 276p
978-4-255-01275-9

¥1,925〔税込〕





朝日新聞政治部

鮫島 浩 著

講談社

朝日新聞はどこで、何を間違えたのか？ 崩壊する大新聞の中核で何が起きていたのか？ 「吉田調書事件」の当事者となった元エース記者が、登場人物すべてを实名で綴る内部告発ノンフィクション。

毎日新聞 2022/07/09

2022:5./ 303p
978-4-06-528034-8

¥1,980〔税込〕



異邦人 改版(新潮文庫 カ-2-1)

カミュ 著

新潮社

母の死の翌日海水浴に行き、女と関係を結び、映画を見て笑いころげ、人を殺害し、動機について「太陽のせい」と答える…。通常の論理的な一貫性が失われている男を主人公に、不条理の認識を極度に追求したカミュの代表作。

毎日新聞 2022/07/09

2014:6./ 179p
978-4-10-211401-8

¥605〔税込〕



花散る里の病棟

帯木 蓬生 著

新潮社

大正時代、蛔虫退治で評判を取った初代。軍医の二代目。高齢者を見る三代目。そして肥満治療を手がける四代目の僕はコロナ禍で…。地方に生きる医師の家を通じて、近現代日本の医療現場を描く。『小説新潮』掲載を単行本化。

毎日新聞 2022/07/09

2022:4./ 361p
978-4-10-331426-4

¥1,980〔税込〕



気候変動の真実～科学は何を語り、何を語っていないか？～

スティーブン・E・クーニン 著

日経BP社

なぜ気候科学はねじ曲げられて伝えられるのか？ 社会が気候科学に対して抱く重要な疑問について、公式の評価報告書で示された事実をもとに答える。またそれらの気候変化に対して社会がとり得る対応について述べる。

毎日新聞 2022/07/09

2022:3./ 372p
978-4-296-00062-3

¥2,420〔税込〕



この国の戦争～太平洋戦争をどう読むか～(河出新書 050)

奥泉 光/加藤 陽子 著

河出書房新社

なぜ始めたのか？ なぜ止められなかったのか？ 戦争を知り尽くした小説家と歴史家が、必読史料や文芸作品を読み解きながら語り合い、太平洋戦争を徹底考察する。

毎日新聞 2022/07/09

2022:6./ 282p
978-4-309-63150-9

¥968〔税込〕





あしながおじさん(光文社古典新訳文庫 KA ウ7-1)

ウェブスター 著

光文社

孤児のジュディは文才を認められ、ある匿名の紳士の援助を受けて大学に通わせてもらえることに。ジュディは「あしながおじさん」と名付けたその紳士に、お茶目な手紙をせっせと書き送るが…。世界中で愛読される名作の新訳。

毎日新聞 2022/07/09

2015.7./ 334p
978-4-334-75313-9

¥858〔税込〕



建築家の解体(ちくま新書 1660)

松村 淳 著

筑摩書房

ブルデューの理論を用いて、建築家という職業がつくられていくプロセスを描写するとともに、解体していく建築家像の軌跡をたどる。フィールドワークの知見を盛り込み、「街場の建築家」という今後の可能性も示す。

毎日新聞 2022/07/09

2022.6./ 316p
978-4-480-07488-1

¥1,078〔税込〕



琉球の富(ちくま学芸文庫 ヤ22-4)

柳 宗悦 著

筑摩書房

1938年に琉球王国を訪れ、工芸品、建物、人、暮らしぶりの全てが美しい島々に魅了された柳宗悦。沖縄のすばらしさや人々への想いを綴った論考を収録する。失われた風景を記録した貴重な写真も多数掲載。文庫オリジナル。

毎日新聞 2022/07/09

2022.5./ 381p
978-4-480-51121-8

¥1,320〔税込〕



教養としての神道～生きのびる神々～

島菌 進 著

東洋経済新報社

神道1300年の歴史は日本人の必須教養。今を生きる日本人の精神文化形成に「神道」がいかに関わってきたのかを、第一人者がその起源から解き明かす。NPO法人東京自由大学で行われたセミナーをもとに書籍化。

毎日新聞 2022/07/09

2022.5./ 356p
978-4-492-22403-8

¥1,980〔税込〕



昭和、記憶の端っこで～本橋成一の写真を読む～

村石 保 著

かもがわ出版

路地と紙芝居、種を蒔くひと、傾いた日の丸…。本橋成一の写真を通して、昭和から現代までの「時代」を、ときに鋭く、ときに切なく読み解く。信州発の雑誌『たあくらたあ』連載をもとに加筆し書籍化。

毎日新聞 2022/07/09

2022.6./ 159p
978-4-7803-1229-4

¥2,200〔税込〕





運河の家 人殺し(ルリユール叢書)

ジョルジュ・シムノン 著
幻戯書房

<メグレ警視>シリーズの作家が、人間であることの病いをどこまでも灰色に、ほろ苦く描いた「純文学」志向の<硬い小説>の傑作を初邦訳。小説家・瀬名秀明による解説も収録する。

毎日新聞 2022/07/09

2022:5./ 413p
978-4-86488-246-0
¥3,520〔税込〕



日影のこえ〜メディアが伝えない重大事件のもう一つの真実〜

高木瑞穂&YouTube「日影のこえ」取材班 著
鉄人社

中野劇団員殺人事件、千葉小3 女児殺人事件、大阪 21 歳女性刺殺事件、京都アニメーション放火殺人事件、目黒 5 歳女児虐待死事件…。重大事件のその後を追い、決してマスメディアが伝えない「名もなき人たち」の声を伝える。

毎日新聞 2022/07/09

2022:6./ 269p
978-4-86537-241-0
¥1,650〔税込〕



谷川健一と谷川雁〜精神の空洞化に抗して〜

前田速夫 著
富山房インターナショナル

民俗学者、歌人、安易な地名変更に反対した兄・健一。詩人、思想家、安保闘争の指導者として名を馳せた弟・雁。お仕着せの民主主義に抗したふたりは、何を思い、何と格闘したのか。最後の戦中派がたどった戦後 70 年の軌跡。

毎日新聞 2022/07/09

2022:4./ 372p
978-4-86600-107-4
¥3,080〔税込〕



信仰

村田 沙耶香 著
文藝春秋

「なあ、俺と、新しくカルト始めない？」 現実こそ正義、好きな言葉は「原価いくら？」の私が、カルト商法を始めようと誘われ…。信じることの危うさと切実さに痺れる、短篇&エッセイ集。『文学界』等掲載を単行本化。

毎日新聞 2022/07/09、産経新聞 2022/07/31

2022:6./ 155p
978-4-16-391550-0
¥1,320〔税込〕



ひげの殿下日記

寛仁 親王 著
小学館

日常の些細なできごと、ご友人、宮家職員、警察官とのエピソード、公式行事のこと、闘病のこと…。“ひげの殿下”として愛された三笠宮寛仁親王のコラムをまとめる。福祉団体の会報誌『ザ・トド』掲載を再構成し書籍化。

毎日新聞 2022/07/09、毎日新聞 2022/07/16

2022:6./ 580p 図版
16p
978-4-09-388859-2
¥4,400〔税込〕





亜鉛の少年たち～アフガン帰還兵の証言～ 増補版

スヴェトラーナ・アレクシエーヴィチ 著
岩波書店

「国際友好の義務を果たす」という政府の方針でアフガニスタンへ送り出されたソ連の若者たちは、亜鉛の棺に納められて帰国し、生きて戻った者も鉛のような心を抱えて苦しんでいた…。帰還兵、戦没者の家族らの肉声を綴る。

毎日新聞 2022/07/16

2022:6./ 7p,434p
978-4-00-061303-3

¥3,520〔税込〕



戦争は女の顔をしていない(岩波現代文庫 社会 295)

スヴェトラーナ・アレクシエーヴィチ 著
岩波書店

ソ連では第二次世界大戦で百万人をこえる女性が従軍し、看護婦や軍医としてのみならず兵士として武器を手にして戦った。五百人以上の従軍女性から聞き取りをおこなった戦争の真実を明らかにした、ノーベル文学賞作家の主著。

毎日新聞 2022/07/16

2016:2./ 6p,498p
978-4-00-603295-1

¥1,540〔税込〕



かれが最後に書いた本

津野 海太郎 著
新潮社

はじめての塾居の日々。友だちは、あっちの世界に仲間入り。でも、本を開けばまた会うことができる。希代の本読みによる読書案内。『考える人』連載をもとに書籍化。

毎日新聞 2022/07/16

2022:3./ 282p
978-4-10-318534-5

¥2,310〔税込〕



やりなおし世界文学

津村 記久子 著
新潮社

「ボヴァリー夫人」は前代未聞のだめな女? 「ねじの回転」は家具の組み立ての話? 古今東西の92作を取り上げ、物語の味わいを凝縮した世界文学案内。『本の時間』連載などに書下ろしを加えて単行本化。

毎日新聞 2022/07/16

2022:5./ 331p
978-4-10-331983-2

¥1,980〔税込〕



核兵器について、本音で話そう(新潮新書 945)

太田 昌克、兼原 信克、高見澤 将林、番匠 幸一郎 著
新潮社

日本を射程に収める核ミサイルは中朝露で計数千発。核廃絶を望むならば、東アジアの現状を踏まえたありうべき国家戦略を日本自身が構想しなければならない。核政策に深くコミットしてきた専門家4人が、本音で語り合う。

毎日新聞 2022/07/16

2022:3./ 271p
978-4-10-610945-4

¥946〔税込〕





第三次世界大戦はもう始まっている(文春新書 1367)

エマニュエル・トッド 著

文藝春秋

本来避けられたウクライナ戦争の原因と責任はプーチンではなく米国と NATO にある。事実上、米露の軍事衝突が始まり「世界大戦化」した。歴史家エマニュエル・トッドがウクライナ戦争と米露欧の状況を冷静に読み解く。

毎日新聞 2022/07/16

2022:6./ 206p
978-4-16-661367-0

¥858 [税込]



わたしたち

落合 恵子 著

河出書房新社

希美学園で中・高を共に過ごした「わたしたち」。少女たちは友情を紡ぎながら、それぞれの「わたし」を生き抜いていく…。4人の女たちの1958～2021年を描く。『文藝』連載に加筆修正し単行本化。

毎日新聞 2022/07/16

2022:6./ 251p
978-4-309-03044-9

¥1,870 [税込]



折口信夫「まれびと」の発見～おもてなしの日本文化はどこから来たのか?～

上野 誠 著

幻冬舎

稀にやって来る人、まれびと。日本文化というものは、そういう客をもてなす文化から生まれた。日本人の魂のありようを見つめ直した知の巨人・折口信夫の「魂の古代学」を、万葉集の研究者・上野誠がわかりやすく解説する。

毎日新聞 2022/07/16

2022:4./ 242p
978-4-344-03955-1

¥1,540 [税込]



もっと早く言ってよ。～50代の私から20代の私に伝えたいこと～

一田 憲子 著

扶桑社

「今」を楽しむことをサボっちゃダメ、お金は自分を自由にするもの、「コツコツ」は必ず報われる。50歳を超えた今の自分だから学びとり、あきらめ、昇華できたことを20歳の頃の“私”に向けて綴ったエッセイ集。

毎日新聞 2022/07/16

2022:6./ 191p
978-4-594-09130-9

¥1,650 [税込]



道慈(人物叢書 新装版 通巻 312)

曾根 正人 著

吉川弘文館

奈良時代前期の南都学問僧、道慈。入唐して多様な新仏教をもたらし、制度・技術・文化・思想の諸方面で日本仏教構築を主導。晩年は半隠棲の修行生活を送り、仏教批判も行った。事蹟、信仰に光を当て、その生涯を描く。

毎日新聞 2022/07/16

2022:5./ 15p,185p
978-4-642-05305-1

¥2,090 [税込]





ねらわれた星(星新一ショートショートセレクション)

星 新一、和田 誠 著
理論社

S F 短編の名手星新一の千を超える作品の中から、ヤングアダルト向きのものを厳選して編むシリーズ第1巻。「おいででこーい」など19編をおさめる。「朝の読書」に最適。

毎日新聞 2022/07/16

2001:11./ 199p
978-4-652-02081-4

¥1,430〔税込〕



海のものごたり〜海藻押し葉で紡ぐいのち〜

ヘレン・アポンシリ／リリー・マレー 著
化学同人

サンゴが彩る海中都市には虹色のうろこをきらめかせた魚たちが群れをなし、クジラたちが歌をうたいながら広大な海を泳いでいる。さまざまな海の世界をとりあげ、押し葉にした海藻や海辺の植物で海の世界を生き生きと描く。

毎日新聞 2022/07/16

2022:7./ 60p
978-4-7598-2257-1

¥2,420〔税込〕



ONE LIFE〜ミーガン・ラピノー自伝〜

ミーガン・ラピノー、栗木 さつき 著
海と月社

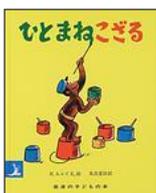
同性愛者であることをカミングアウトしたプロサッカー選手ミーガン・ラピノーの自伝。ずば抜けたプレーと戦績、自由なファッションと恋愛、平等を求める日々、そして挫折…。世界中で愛されるサッカー選手がすべてを語る。

毎日新聞 2022/07/16

2022:6./ 291p 図版

16p
978-4-903212-77-7

¥1,760〔税込〕



ひとまねこざる 改版(岩波の子どもの本)

H. A. レイ 著
岩波書店

動物園でたのしく暮らしていたじょーじでしたが、動物園の外の様子が知りたくてたまりません。ついにオリを抜け出して街の中へ飛び出しました。でもジャングルが懐しくて…。ロングセラー絵本の改版。

毎日新聞 2022/07/23

1998:2./ 47p
978-4-00-115145-9

¥880〔税込〕



暗い夜の私(P+D BOOKS)

野口 富士男 著
小学館

文芸雑誌『行動』の編集者だった時代を描いた「浮きつつ遠く」、戦時中の文人たちの姿を活写した「暗い夜の私」など、昭和10年代から戦後までの文壇の様子や作家の生の姿が垣間見える秀作短篇集。全7篇を収録する。

毎日新聞 2022/07/23

2022:4./ 252p
978-4-09-352437-7

¥770〔税込〕





チ。〜地球の運動について〜<第1集>(ビッグコミックス スピリッツ)

魚豊 著
小学館

動かせ 歴史を 心を 運命を ——星を。 舞台は 15 世紀のヨーロッパ。異端思想がガンガン火あぶりに処せられていた時代。主人公の神童・ラファウは飛び級で入学する予定の大学において、当時一番重要とされていた神学の専攻を皆に期待されていた。合理性を最も重んじるラファウにとってもそれは当然の選択であり、合理性に従っている限り世界は“チョロい”はずだった。しかし、ある日ラファウの元に現れた謎の男が研究していたのは、異端思想ド真中の「ある真理」だった—— 命を捨てても曲げられない信念があるか？ 世界を敵に回しても貫きたい美学はあるか？ アツい人間を描かせたら敵ナシの『ひやくえむ。』魚豊が描く、歴史上最もアツい人々の物語！！ ページを捲るたび血が沸き立つのを感じるはず。面白い漫画を読む喜びに打ち震えろ！！ 【編集担当からのおすすめ情報】 読み終わって「やべえな」と小さく息を吐いて、Twitter や LINE で知り合いに「これ読んだ？ やばくない？」って伝えるような漫画があると思うんですが、この漫画はそれです。ぜひそうしていただけますと幸いです。

2020.12./ 155p
978-4-09-860778-5
¥650〔税込〕



毎日新聞 2022/07/23



裏横浜〜グレーな世界とその痕跡〜(ちくま新書 1654)

八木澤 高明 著
筑摩書房

都会的なイメージの横浜の裏側には、悪臭漂う船の宿、革命家の隠れ家など猥雑で混沌としたものが隠されている。横浜で生まれ育った著者が、街の歴史を掘り起こし、実体験を織り交ぜながらその真の姿を語る。

2022.5./ 267p
978-4-480-07480-5
¥946〔税込〕



毎日新聞 2022/07/23



人間関係を半分降りる〜気楽なつながりの作り方〜

鶴見 済 著
筑摩書房

人間は醜い。だから少し離れてつながろう！「完全自殺マニュアル」の著者が、悲痛な体験から生きづらさの最終的な解決法=優しい人間関係の作り方を伝授する。

2022.6./ 221p
978-4-480-84324-1
¥1,540〔税込〕



毎日新聞 2022/07/23



かいけつゾロリにんじゃおばけあらわる!(かいけつゾロリシリーズ 71)

原 ゆたか/原 京子 著
ポプラ社

忍者にあこがれるおばけの子を、本物の忍者に会わせてあげようとするゾロリたち。だが、忍者を探し回っているうちに、なぜかお笑い芸人をめざすことになってしまい…。

2022.7./ 103p
978-4-591-17446-3
¥1,100〔税込〕



毎日新聞 2022/07/23



帝国のフロンティアをもとめて～日本人の環太平洋移動と入植者植民地主義～

東 栄一郎 著

名古屋大学出版会

環太平洋で展開した日本人移民の相互関係を、入植者植民地主義の概念を用いて把握。移民排斥を受けた日系アメリカ人によって移転された人流、知識、技術などを捉え、見過ごされたグローバルな帝国の連鎖を浮かび上がらせる。

毎日新聞 2022/07/23

2022:6./ 5p,345p,76p
978-4-8158-1092-4

¥5,940〔税込〕



完全自殺マニュアル

鶴見済 著

太田出版

世紀末を生きる我々が最後に頼れるのは生命保険でも年金制度でもない。その気になればいつでも死ぬるといふ安心感だ。...薬局で買えるクスリから、最も安楽に死ぬる方法まで、聖書より役立つ、コトバによる自殺装置。

毎日新聞 2022/07/23

1993:7./ 198p

978-4-87233-126-4

¥1,281〔税込〕



湖畔通信～写真集～

福家 俊彦 編

中島 省三 著

サンライズ出版

琵琶湖、大津の街、変貌する風景...。55年間琵琶湖の映像を撮り続けている著者が、総本山三井寺の長吏・福家俊彦に宛てたフォトレター「湖畔通信」を集成する。

毎日新聞 2022/07/23

2022:5./ 190p

978-4-88325-761-4

¥2,200〔税込〕



某月某日～シネマのある日常～

山田 稔 著

編集工房ノア

甦るあの日、この日のたたずまい、それを彩るスクリーンの夢、忘れえぬ名画の数々...。「シネマのある風景」に続く極私的シネマ日誌。1992～1996年の映画の感想と日記を収録。同人誌『VIKING』連載を大幅に加筆。

毎日新聞 2022/07/23、読売新聞 2022/07/24

2022:6./ 322p

978-4-89271-355-2

¥2,530〔税込〕



或る「小倉日記」伝 改版(角川文庫 ま 1-43)

松本 清張 著

角川書店

史実に残らない小倉在住時代の森鷗外の足跡を、歳月をかけひたむきに調査する田上とその母の苦難。芥川賞受賞の表題作の他、「父系の指」「菊枕」「笛壺」「石の骨」「断碑」の、代表作計6編を収録。

毎日新聞 2022/07/30

2009:5./ 268p

978-4-04-122701-5

¥616〔税込〕



父の帽子(講談社文芸文庫)

森 茉莉 著
講談社

東京・駒込千駄木観潮楼。森鷗外の長女として生まれた著者は、父鷗外の愛を一身に受けて成長する。日常の中の小さな出来事を題材にして鷗外に纏わる様々なこと、母のことなど、半生の思い出を繊細鋭利な筆致で見事に記す回想記。「父の帽子」「『半日』」「明舟町の家」「父と私」「晩年の母」「夢」ほか 16 篇収録。日本エッセイストクラブ賞受賞。

毎日新聞 2022/07/30

1991:11./ 2 2 5 p
978-4-06-196151-7
¥1,320〔税込〕



地図と拳

小川 哲 著
集英社

ひとつの都市が現われ、そして消えた-。日露戦争前夜から第2次大戦までの半世紀、満洲の名もない都市で知略と殺戮が繰り広げられ…。日本 SF 界の新星が放つ歴史×空想巨編。『小説すばる』掲載に加筆修正し単行本化。

毎日新聞 2022/07/30

2022:6./ 633p
978-4-08-771801-0
¥2,420〔税込〕



こころ 改版(新潮文庫)

夏目 漱石 著
新潮社

毎日新聞 2022/07/30

1987:1./ 301p
978-4-10-101013-7
¥407〔税込〕



楽しく読むだけでアタマがキレッキレになる奇跡の経済教室<大論争編>

中野 剛志 著
ベストセラーズ

コロナ禍以後の混沌とした世の中を生きる上で必須の経済知識を学びながら、ものごとを「考える力」を身に付けられる。「目からウロコが落ちる奇跡の経済教室」「全国民が読んだら歴史が変わる奇跡の経済教室」の続編。

毎日新聞 2022/07/30

2022:3./ 376p
978-4-584-13983-7
¥1,870〔税込〕



歴史と向き合う〜日韓問題-対立から対話へ〜

朴 裕河 著
毎日新聞出版

なぜ日本の謝罪は、韓国に届かないのか-。慰安婦問題と元徴用工問題を取り上げ、日韓の対立の原因や背景を分析し、関係改善を提言する。『毎日新聞デジタル』連載を補足・修正。

毎日新聞 2022/07/30

2022:7./ 317p
978-4-620-32745-7
¥2,090〔税込〕





口語訳即興詩人

アンデルセン、森 鷗外、安野 光雅 著

山川出版社

文学史上最後の文語文と言われている森鷗外の雅文「即興詩人」。画家・安野光雅が5年の歳月をかけて、口語訳として現代によみがえらせる、19世紀の恋と青春の物語。

毎日新聞 2022/07/30

2010.11./ 600p

978-4-634-15010-2

¥2,090〔税込〕



* 9 7 8 4 6 3 4 1 5 0 1 0 2 *



ギターから見た近代日本の西洋音楽受容史(1冊でわかるポケット教養シリーズ)

竹内 貴久雄 著

ヤマハミュージックメディア

黒船とともにやってきた西洋の響き。花開いたニッポンのギター音楽! 「西洋音楽」という未知の世界に日本人が触れ、それを少しずつ自分たちのものにしてきた歴史を「ギター音楽」を軸に追う。

毎日新聞 2022/07/30

2022.5./ 220p,9p

978-4-636-10330-4

¥1,045〔税込〕



* 9 7 8 4 6 3 6 1 0 3 3 0 4 *



挿絵でよみとくグリム童話(早稲田大学学術叢書 057)

西口 拓子 著

早稲田大学出版部

19世紀初頭～1940年代にドイツや日本で刊行されたグリム童話の絵本を対象に、そこに掲載された多数の挿絵を分析。西洋の挿絵と日本の挿絵、グリム童話と森鷗外などの意外な関係性を明らかにする。

毎日新聞 2022/07/30

2022.6./ 382p

978-4-657-22701-0

¥4,400〔税込〕



* 9 7 8 4 6 5 7 2 2 7 0 1 0 *



忘れられた日本憲法～私擬憲法から見る幕末明治～

畑中 章宏 著

亜紀書房

大日本帝国憲法の発布以前に作成された憲法草案である「私擬憲法」には、民間の個人やグループが作成したものもある。民間人が草した多種多様な私擬憲法を貴重な民俗文化と捉え、その意味を考察する。

毎日新聞 2022/07/30

2022.6./ 187p

978-4-7505-1743-8

¥1,980〔税込〕



* 9 7 8 4 7 5 0 5 1 7 4 3 8 *



わたしの心のレンズ～現場の記憶を紡ぐ～(インターナショナル新書 101)

大石 芳野 著

集英社インターナショナル

ベトナム、アウシュヴィッツ、広島、長崎、沖縄…。戦争の悲劇に襲われた地で撮影・取材を続け、各地の生活を見てきた著者が、戦争、差別をもたらす「何か」と、それを超えた共存と共生への道を考える。著者撮影の写真も満載。

毎日新聞 2022/07/30

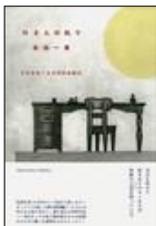
2022.6./ 261p

978-4-7976-8101-7

¥990〔税込〕



* 9 7 8 4 7 9 7 6 8 1 0 1 7 *



Nさんの机で～ものをめぐる文学的自叙伝～

佐伯 一麦 著

田畑書店

作家生活 30 年目にして初めて持ったオーダーメイドの机。山形の家具職人・N さんの手になる机に向かい、振り返る文学的半生。当代きっての私小説作家が、ものの記憶にからめて綴ったエッセイ。『山形新聞』連載を書籍化。

毎日新聞 2022/07/30

2022:4./ 301p
978-4-8038-0397-6

¥2,420 [税込]



* 9 7 8 4 8 0 3 8 0 3 9 7 6 *



楽劇サロメ(オペラ対訳×分析ハンドブック)

広瀬 大介 著

アルテスパブリッシング

リヒャルト・シュトラウスの楽劇「サロメ」の台本と音楽の流れを同時に楽しめるオペラ・ガイド。左ページに歌詞の原文・対訳、右ページに音楽分析を収録する。作品解説のほか、おすすめ CD・DVD、コラムも掲載。

毎日新聞 2022/07/30

2022:6./ 102p
978-4-86559-260-3

¥2,200 [税込]



* 9 7 8 4 8 6 5 5 9 2 6 0 3 *